建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY●VOL.51

社団法人　日本建築協会
昭和45年12月25日発行　第51輯第12号
毎月1回25日発行
昭和24年3月19日第3種郵便物認可

特集
山陽・山陰からの報告

1970
昭和45年

12

山陽・山陰の新建築

広域生活圏
中国地方広域生活圏構想
中国地方中枢管理都市を中心とした構想

新幹線と縦貫道路
山陽新幹線と中国縦貫道路の計画
中国地方開発における山陽新幹線および中国縦貫道

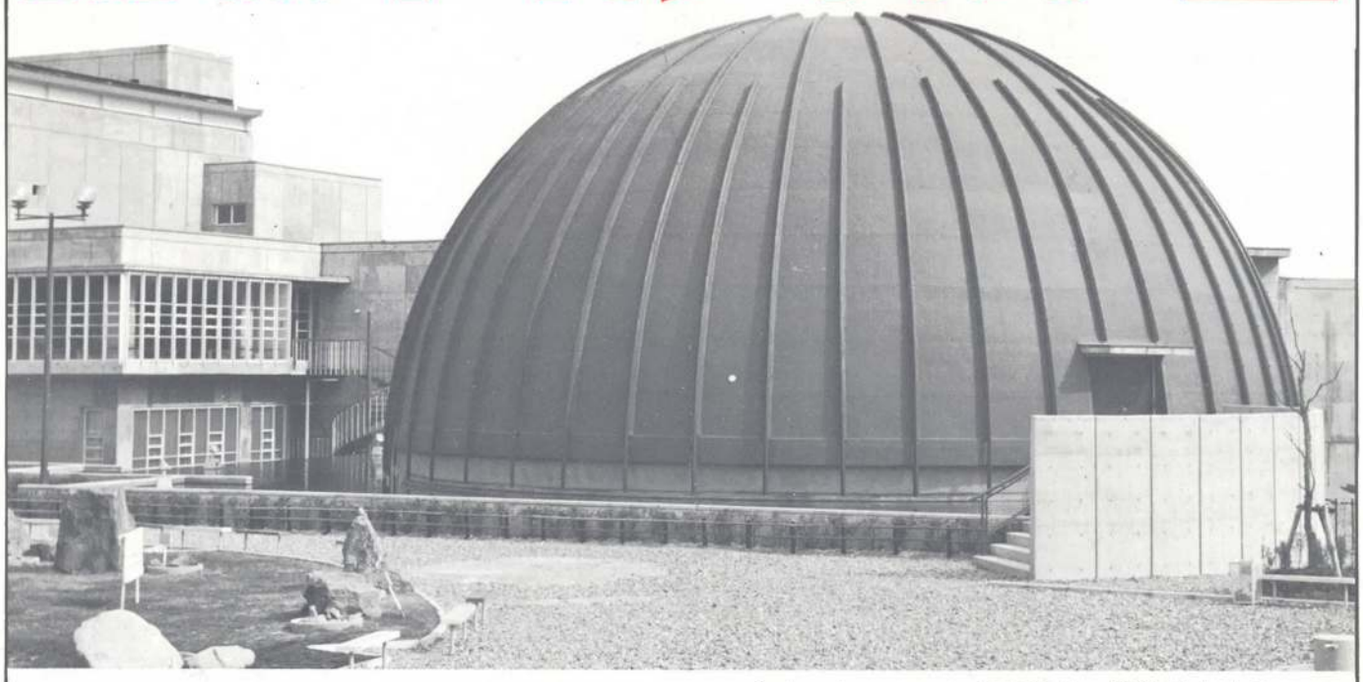


屋根防水/地下防水/橋梁防水に

E・P・Tゴム完全防水シート

万国博〈みどり館〉に出展

三ツ星ベルト ネオ・ルーフィング EB



ご用命はネオ・ルーフィング工業会

札幌	(株)浜建	TEL(0122)26－5676代
仙台	日新建工(株)仙台支店	TEL(0222)25－5431代
東京	高山工業(株)	TEL(03) 251－0161代
東京	(株)三柏商会	TEL(03) 251－7517～9
東京	金岡工業(株)	TEL(03) 363－4341代
東京	桑原建材(株)	TEL(03) 368－6973・8794
群馬	石田建材工業(株)	TEL(0273)22－3301代
埼玉	石田建材工業(株)大宮支店	TEL(0488)31－1225
栃木	石田建材工業(株)宇都宮出張所	TEL(0286)33－7697
茨木	(株)奈良屋商店	TEL(0292)31－0171～6
茨城	(株)奈良屋商店日立支店	TEL(0294)22－1155
静岡	(株)三井工業所	TEL(0542)85－9151
富士	(株)三井工業所富士営業所	TEL(0545)61－1688
山形	(株)山形建材	TEL(02362)2－8161,3－0175
名古屋	中央建材工業(株)	TEL(052)251－3541代
金沢	北川瀝青工業(株)	TEL(0762)41－1131代
福井	北川瀝青工業(株)福井営業所	TEL(0776)23－8847
富山	北川瀝青工業(株)富山営業所	TEL(0764)41－3261～2
新潟	北川瀝青工業(株)新潟営業所	TEL(0252)45－7688～9
長野	五十鈴建材(株)	TEL(02657)2－7181代
大阪	(株)久保商店	TEL(06) 364－0206代
大阪	(株)木下謹三商店	TEL(06) 443－0115代
大阪	高山工業(株)大阪営業所	TEL(06) 364－9015
大阪	ネオ・ルーフィング防水(株)	TEL(06) 372－5608・4571
神戸	(株)中出商会	TEL(078) 51－4501
神戸	太平特殊工業(株)	TEL(078) 56－4073
高松	ネオ・ルーフィング防水(株)高松出張所	TEL(0878)31－6332
松山	(株)山本商会	TEL(0899)31－6261
広島	青盛建材(株)	TEL(0822)21－2281～6
岡山	青盛建材(株)岡山営業所	TEL(0862)23－8285～7
松江	青盛建材(株)山陰営業所	TEL(0852)21－9551
福岡	青盛建材(株)福岡営業所	TEL(092) 28－5566～8
福岡	(株)工材社	TEL(093) 38－1468代
宮崎	(株)大二商会	TEL(0985) 2－5001・6084
鹿児島	(株)北原建材商会	TEL(0992)23－9395

ネオ・ルーフィングEBは、液体はもちろん、気体の透過も許しません。
しかも他の防水シートにくらべて耐候性、耐摩耗性、耐破断強度が一段とすぐれています。
フレキシブルシートですから凹凸の下地でも施工でき、PC版、ALC版、木毛版、鉄板、木材、発泡断熱材など、ほとんどの下地材料に密着します。

※くわしくは下記の建材課へお問合せください。



ネオ・ルーフィングシーティング作業

三ツ星ベルト

本　社／神戸市長田区浜添通4丁目　TEL(078) 67－5071大代表
東京支店／TEL(03) 552－1421　名古屋支店／TEL(052)262－3551
福岡営業所／TEL(092) 29－5931　北海道出張所／TEL(0122)23－9101



広島市外電話局

設　計	日本電信電話公社、野生司建築設計事務所　鳳建築事務所
所在地	広島市基町1丁目
建築面積	1,311.642m²
延面積	7,500.033m²
構造規模	SRC造、B1、6F、P2
工　期	昭和43年9月～昭和45年6月

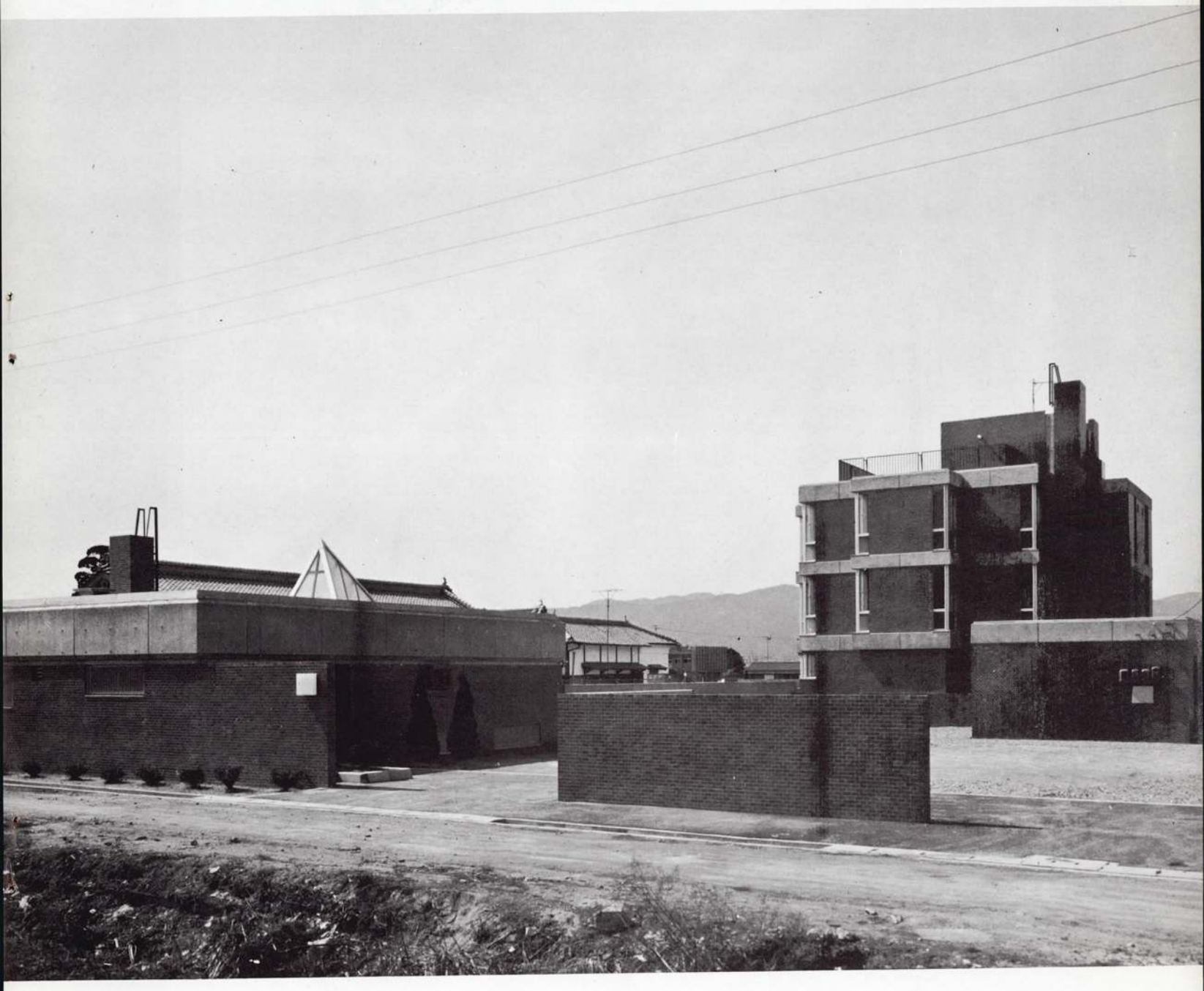
施　工　株式会社　**大林組 広島支店**



中国新聞社

施　工　鹿島建設株式会社　広島支店

設　　計	村田相互設計事務所
所 在 地	広島市土橋町７―９
建築面積	2,203.70m²
延 面 積	20,812.17m²
構造規模	ＳＲＣ造、一部ＲＣ造、Ｂ２、９Ｆ一部８Ｆ、Ｐ２
工　　期	昭和43年２月～昭和44年９月



イエズス会学生センター

設計施工　清水建設株式会社 広島支店

所在地	山口市大字平井字上丁田
建築面積	347.86m²
延面積	639.31m²
構造規模	RC造、3F、2棟
工期	昭和44年9月～昭和45年3月



山口中央テレビ本社演奏所

設計施工　**大成建設株式会社 広島支店**

所在地	山口市大字大内御堀字大野地
建築面積	1,723.544m²
延面積	2,771.452m²
構造規模	RC造、2F
工期	昭和44年7月～昭和45年2月



天満屋岡山店

所在地　福岡市下之町77番地
建築面積　Ⓐ 2,419.3m² Ⓑ 2,026.0m² Ⓒ　733.6m² ブロック合計 5,178.9m²
延面積　Ⓐ21,916.3m² Ⓑ 6,775.3m² Ⓒ 2,215.2m² ブロック合計30,906.8m²
構造規模　ⒶSRC造、B2、7F、P4　ⒷRC造、B1、2F、P1　ⒸRC造、B1、2F、P2
工期　昭和43年2月～昭和44年9月

設計施工　株式会社 竹中工務店 広島支店



TILE Bonn **ボンタイル株式会社**

本　　社	東京都中央区京橋3－4	TEL	03－281－1357
大阪支店	大阪市大淀区豊崎西通2－3	TEL	06－372－7271
名古屋営業所	名古屋市中村区米屋町2-16	TEL	052－571－9538
九州営業所	福岡市博多駅前2－19	TEL	092－43－5154
広島営業所	広島市上八丁堀5－24	TEL	0822－21－3421
仙台営業所	仙台市東1（丹野ビル）	TEL	0222－22－4126

常温で使えるアスファルトの
フリントコート



屋根防水工事に

世界各地で40年間の実績があり、その安全性には定評があります。

床工事に

セメント、砂、砕石と混合した独特の床で、一例をあげると各地日本専売公社の倉庫の床に採用されております。

■施工特約店

福高工業　札幌(561)3217
陽光建設　仙台 (22)6278
東京(268)4929
シエル石油大阪発売所　東京(562)4646
大阪(303)7131
福岡 (77)1961
名建商会　名古屋(261)3671
ビチュメン興業　名古屋(762)1185
日建工材　福岡 (75)7752

シエル石油土木建設部

東京都千代田区霞が関3－2－5 TEL(580)0111大代表

SHELL
シエル石油

帝国ホテル新本館の1000室に大量採用された画期的な間仕切壁



乾式軽量遮音間仕切壁

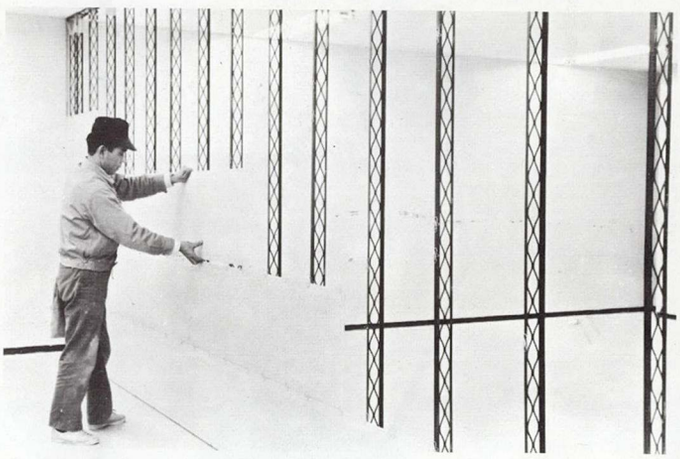
KILD®

専用遮音ボード

丸ツバメ遮音ボード

この「丸ツバメ遮音ボード」は
建設省防火材料認定品です。
〔12㎜・15㎜〕……不燃材料
（認定No.1011）
〔9㎜〕……準不燃材料
（認定No.2001）

高層ホテルの間仕切は軽量で、遮音性にすぐれ、不燃であるなどシビヤーな条件を満足せねばなりません。KILD壁は、それら諸条件を満足するに充分な性能を備えた画期的新製品です。





KILD壁の特徴

◎遮音性大　◎軽量　◎防火性大　◎仕上げ自由
◎配線配管自由　◎施工簡単　◎工期短縮
◎変位対応性大

KILD壁の遮音性能

遮音値　49デシベル（コンクリート176㎜厚相当）
重量　63kg/m²（コンクリート400kg/m²）

KILD壁の用途

◎高層ホテル　◎集合住宅(マンション)　◎病院
◎会議室　◎学校　などの間仕切壁に最適

＊ご一報次第カタログ進呈・但し、氏名、住所、勤務先を必ずご明記下さい＊

ボード製造

三井東圧化学（株）

本社　（〒100）東京都千代田区霞が関　霞が関ビル
電話（03）581−6111(大代)
支店　大阪・名古屋・福岡・札幌

製造・販売・施工

株式会社 マンテン

本社　（〒542）大阪市南区日本橋筋3−2
電話（06）632−1151(代)
東京営業所　（〒136）東京都江東区亀戸2−3−17
電話（03）682−3241(代)
名古屋出張所　（〒460）名古屋市中区宮前町4−16 東海塗料ビル
電話（052）262−6771(代)
福岡出張所　（〒812）福岡市博多駅東1−12−26 岩瀬ビル
電話（092）43−4356
札幌駐在所　（〒060）札幌市北三条東5−5 岩佐ビル
電話（0122）26−3181

◀アデュー1970年・忘年懇親会

会員皆様のご健闘に，感謝をこめて本会独自の新企画による忘年懇親会を下記要項で開催いたします。申込期間中にお早くお申込下さるようご案内申しあげます。

日　時　12月17日（木）開会・午後6時→閉会・8時

会　場　太閤園（ビュッフエ・スタイルのパーティ）
大阪市都島区網島町9　電351—8201
（最寄駅：国電・京阪「京橋」より徒歩10分）

会　費　2,000円（別に補助があります）

申　込　会費を添えて事務局へお越し下さい。申込者には忘年懇親会参加証をお渡しします。但し，申込期日・12月1日～5日まで，申込取消は9日まで，10日以後は会費をご負担願います。

定　員　500名

余　興　一流芸能人による新しいパーティ・ショー

お土産　出席者全員に贈呈（会員有志の寄贈品）

抽せん　当せん者に会員有志の寄贈品進呈

■忘年懇親会開催ご案内の「はがき」は11月21日に全会員に発送いたしました。

◀第16回 工高生デザインコンクール入選者

・設計課題　「セカンド・ハウス」
・応募校　20校　　応募作品　133点

	氏名	学校名	学年
入選・最優秀賞	西田清志	神奈川県立　神奈川工業高等学校	3年
入選	角田正樹	同　上	3年
〃	川路俊二	鹿児島県立　薩南工業高等学校	3年
〃	大野栄二	静岡県立　島田工業高等学校	2年
〃	村田明博	同　上	2年
〃	坂巻英史	東京都立　墨田工業高等学校	3年
〃	吉永隆行	同　上　（共同作）	3年
〃	梁川辰男		3年
〃	山城明巳	大阪府立　西野田工業高等学校	3年
〃	小山哲男	兵庫県立　兵庫工業高等学校	3年
〃	藤田馨	群馬県立　前橋工業高等学校	2年

◀建築6団体合同新年交礼会

恒例により6団体合同の新年交礼会を下記のとおり開催いたします。相互廻礼の煩を省き，一堂に会して年頭の祝辞を交換いたしたいと存じます。

記

日　時　昭和46年1月4日（月）午後1時30分～2時30分

会　場　大阪国際ホテル8階宴会場（東区内本町）

会　費　800円（当日欠席されても会費はいただきます）

申　込　12月17日までに会費を添えて最寄りの団体へお申込み下さい。参会者名簿を作成いたしますので締切日を厳守願います。

昭和45年中に建設関係功労者として叙勲および褒章を受けられた方を招待してその栄誉を祝します。

共催団体

日本建築協会	大阪府建築士会
日本建築学会近畿支部	日本建築家協会関西支部
大阪建設業協会	日本建築材料協会

◀会館基金への寄付受額

先年近畿建築会館建設資金として借入いたしました借入先の内，下記各位より借入金を会館基金として改めて寄付していただくこととなりました。本会の基礎をますます強固にするものと，まことに感謝のいたりで，ここに誌して厚くお礼申しあげます。

記

奥村組土木興業株式会社	30,000円
株式会社　青木建設	30,000円
東陶機器株式会社	300,000円
計	360,000円

◀大阪銀行本店新築工事の見学会

共催　日本建築協会・大阪府建築士会・
日本建築学会近畿支部

日　時　昭和46年1月14日（木）15.00（集合）→17.00（解散）
集合場所　西区四ツ橋筋阿波座上通角，大阪銀行北側1階ピロティ・目標会旗（但し，地下鉄四ツ橋線・中央線「本町」駅下車上るすぐそこ，竹中工務店作業所　TEL　541-1463）
建築概要

所在地	大阪市西区阿波座上通1丁目1
建築主	株式会社　大阪銀行
設計監理	株式会社　日建設計
施　工	株式会社　竹中工務店
敷地面積	2,692.59㎡
建築面積	1,891.41㎡
延床面積	13,060.26㎡
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造・地下2階・地上9階・塔屋3階
高　さ	軒高 +31.00m・最高部 +42.8m
深　さ	基礎下端 −11.10m
外　装	アルミキャストパネル貼
工　期	昭和44年4月25日→昭和45年12月31日

定　員　120名（本会割当50名）
申　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし氏名・勤務先名および所在地・役職・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上12月28日までに事業課へ，ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，ご通知いたします。

◀中津リバーサイド分譲住宅の見学会

共催　日本建築協会・大阪府建築士会・
日本建築学会近畿支部

日　時　昭和46年1月20日（水）15.00（集合）→17.00（解散）
集合場所　中津リバーサイド分譲住宅西端C棟，西側2階建附属家1階マーケット前・目標会旗
（但し，地下鉄御堂筋線「中津」駅下車北へ徒歩約10分）
建築概要

所在地	大阪市大淀区中津浜通1丁目3（淀川南岸沿い）
設計監理	大阪市住宅供給公社 株式会社　昭和設計事務所
施　工	清水建設株式会社・株式会社　竹中工務店
総面積	34,353.25㎡
住宅敷地	20,655.54㎡
建築面積	6,706,49㎡
延床面積	77,936.20㎡
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造，メゾネット型，14階建，4棟
外　装	カラコンモザイクタイル貼
戸　数	4棟合計　868戸 積立分譲住宅　B・C・D棟　3DK　644戸 一般分譲住宅　A　棟　4DK　224戸
工　期	昭和44年3月1日→昭和45年12月21日

定　員　70名（本会割当30名）
申　込　往復はがきに限ります。はがきは1枚に1名限りとし氏名・勤務先名および所在地・役職・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入の上1月8日までに事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定し，ご通知いたします。

法令コーナー

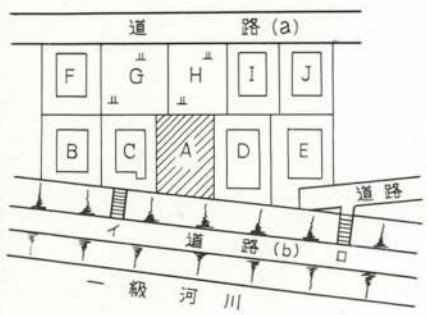
40

日本建築協会法規委員会

質疑などの投稿をお待ちしております

◇ 法 令 相 談

問　図1のAに住宅を建築したいのですが、建築基準法上可能ですか。不可能ならば可能にする方法はありますか。



周辺の建物はいずれも法施行(昭和25年)以前のものでB、C、Dは道路に面せず法を利用している。

イ、ロは巾2mの一般の利用に供する階段であり、堤防上の道路は、巾4mの認定道路となっています。　　**大阪市　T.**

答　敷地Aは、現状では、道路に接していないので、建築物を建てることはできません。

この場合、提防の法面は、道路とみなすことはできません。ただし、この法面について、巾2m以上で道路(b)に接するように河川敷の占用許可を得た場合は道路に接するものとみなせます。

また、道路(a)の方へ接するよう巾2mの用地を確保した場合、GまたはHの協力を得て道路(a)からAの敷地まで巾4mで道路の位置指定を受けた場合は建築することができます。

また、建築物の敷地が道路より低い場合、法第19条の敷地の衛生および安全についてチェックする必要があります。

くわしくは関係市の建築主事の指導をうけて下さい。

◇ 法 令 解 説

建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行令について

先の国会において成立した「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」は、その概要について7月号の法令コーナーで紹介した如く、公布の日から6ヶ月以内で政令で定める日から施行するとされていましたが、同法の施行期日を定める政令により、施行期日が10月13日と定められました。また、同法施行令も公布され、同じく10月13日から施行されることになりました。政令のうち、法律適用の対象となる「特定建築物」ならびに「建築物環境衛生管理基準」について次に紹介しておきます。

なお、法の施行に伴ない、特定建築物の所有者は1ヶ月以内に一定の事項を届け出る義務を生じることになります。

この届出は、当該特定建築物の所在場所を管轄する保健所長を経由して、都道府県知事（保健所を設置する市にあっては、市長）に提出することとなっています。

（特定建築物）

第1条　建築物における衛生的環境の確保に関する法律第2条第1項の政令で定める建築物は、次の各号に掲げる用途に供される部分の延べ面積が八千平方メートル以上の建築物とする。ただし、もっぱらこれらの用途以外の用途に供される部分の延べ面積がこれらの用途に供される部分の延べ面積の五パーセントをこえる建築物を除く。

1. 興行場、百貨店、集会場、図書館、博物館、美術館または遊技場
2. 店舗または事務所
3. 学校（研修所を含む）
4. 旅館

（建築物環境衛生管理基準）

第2条　法第4条第1項の政令で定める基準は、次のとおりとする。

1. 空気環境の調整は、次に掲げるところによること。

イ、中央管理方式の空気調和設備（空気を浄化し、その温度、湿度および流量を調節して供給（排出を含む）をすることができる設備をいう。）を設けている場合は、居室における次の表の各号の上欄に掲げる事項がおおむね当該各号の下欄に掲げる基準に適合するように空気を浄化し、その温度、湿度または流量を調節して供給すること。

1. 浮遊粉じんの量	空気1立方メートルにつき0.15ミリグラム以下
2. 一酸化炭素の含有率	百万分の十（厚生省令で定める特別の事情がある建築物にあっては厚生省令で定める数値）以下
3. 炭酸ガスの含有率	百万分の千以下
4. 温度	1　17°以上28°以下 2　居室における温度を外気の温度より低くする場合は、その差を著しくしないこと。
5. 相対温度	40パーセント以上70パーセント以下
6. 気流	0.5メートル毎秒以下

ロ、中央管理方式の機械換気設備（空気を浄化し、その流量を調節して供給することができる設備をいう。）を設けている場合は、居室におけるイの表の第1号から第3号までおよび第6号の上欄に掲げる事項がおおむね当該各号の下欄に掲げる基準に適合するように空気を浄化し、その流量を調節して供給をすること。

ハ、イの表の各号の下欄に掲げる基準を適用する場合における当該各号の上欄に掲げる事項についての測定の方法は、厚生省令で定めるところによること。

2. 給水および排水の管理は、次に掲げるところによること。

イ、水道法第3条第8項に規定する給水装置以外に給水に関する設備を設けて飲料水を供給する場合は、同法第4条の規定による水質基準に適合する水を供給すること。

ロ、排水に関する設備の正常な機能が阻害されることにより汚水の漏出等が生じないように、当該設備の補修および掃除を行なうこと。

3. 清掃およびねずみ、こん虫等の防除は、次に掲げるところにより統一的かつ計画的に行なうこと。

イ、適切な方法により掃除を行ない、衛生的な方法により汚物を処理すること。

ロ、ねずみ、この虫等については、適切な方法により発生および侵入の防止並びに駆除を行なうこと。

建築基準法第55条第2項の指定による建ぺい率の緩和について

改正された建築基準法の施行は、政令で定める日からとなっておりましたが、昭和46年1月1日から施行されることになりました。しかし、8月号法令コーナーで一部紹介した如く、用途地域に関する規定は、改正された新制度による用途地域制により全面的な指定替えが行なわれるまでは現行法が引続き適用されることになっています。

ここで問題になるのは、改正法による建ぺい率の緩和など、実態に即して〝守りやすく〟として改正された規定がその時まで働かないことになります。

そこで、現行法の法第55条第2項「特定行政庁が建設大臣の承認を得て……指定する区域においては、建築物の建築面積は、前項の規定にかかわらず、敷地面積の十分の六以内とすることができる。」の規定を活用して、新制度に移行するまでの間、建ぺい率の緩和を行なうことを各特定行政庁では検討を進めているわけです。

すでに大阪市では、本年10月1日付でこの指定を行なっており、住居地域等における建ぺい率はb/10とし、従来の30m²を差引くことを緩和しています。

（大阪府建築部　**片田俊彦**）

ユニパートの姉妹品が
誕生しました「**モデュウォール**」
新しい壁面仕上材です



壁面仕上材
MODU-WALL®
NBP
日米パーティション株式会社
本社　〒103 東京都中央区日本橋江戸橋3－7　TEL（272）2011（代）
工場　〒243-03 神奈川県愛甲郡愛川町中津桜台　TEL0462（85）0462（代）
総販売店　三井物産㈱　三菱商事㈱　住友商事㈱
製造
日米ブラインド工業株式会社
●記名記入の上　カタログをご請求ください

読者の頁

投稿をおまちしております。掲載の分には規定の稿料を差上げます。

■万博が残したもの

今、目の前に雑多なパビリオン群がある。つい一ヶ月前まで、あれだけ多くの人々を呑み込みそして、吐き出し続けていたパビリオンが横たわっている。澄み切った秋の空の下にじっと息をひそめて、いや、呼吸そのものを止めてしまったかのように、うす汚れたままで取りこわされるのを待っている。

9月5日のあの84万人のどうしょうもない程の雑踏、9月13日、一抹の淋しさを含んだあのざわめき、一夜明けての嘘のような静けさ、それに続く虚脱。

万国博とはいったい何であったのだろうか。

日本万国博が、過去の万博がそうであったように、知識と技術の開発の起爆薬と成り得たかどうか、対象を建設の面に絞って見ても、万博会場で新しい構造なり、造形概念が生まれたとは思われないし、施工技術上、まったく新しいものが生まれ採用されたとも思えない。

これは、モントリオール博から、わずか3年しか間隔がなかったと言う時間的制約によるが、本質的には情報網の発展が、直接物を見るという行為から、新鮮さを取り去り、開発速度の急速化が、半年前の製品が旧式化してしまうというような、現代社会の持つ特徴そのものから、博覧会が知識、技術上のエポック、メーカーと言う役割を果す事を不可能にして来ている為であろう。

それでは、今回の万国博が、「人類の進歩と調和」と言う、そのテーマの示すごとく現代文明の反省の契機と成り得たか、アフリカ諸国の展示した土臭い民芸品が、きらびやかな展示館の多い会場の中で意外の人気を持ったということが、かえってテーマの不在を示しているように思われる。

やはり、日本の万国博は日本という経済的に急成長をとげた国が、その成人したことを全世界に認めさせる為に、世界の国々を招いて行なった、おひろめのパーティーとしかいえないようである。言葉を替えて言えば、地球という地域社会の中で、その正式メンバーとして認められる為に、お祭りの当番をかって出たようなものでしかありえなかった。その意味では、1964年の東京オリンピック、1972年開催予定の札幌オリンピックと同じ線上に並ぶものであろう。

日本万国博が、しょせん、パーティーであり、お祭りであったなら、今の我々に必要なのは、一刻も早くお祭りを忘れてしまうことであり、その名残りを拭い去ることである。従って、ノスタルジーは不要であり、跡地利用に万博の記念性をとり入れる必要は毛頭ない。

純粋に330万M²の大きさと、大阪の北方15K交通の要点にあるという立地性のみによって、跡地利用計画は、決定されるべきである。万博跡地利用計画というより、330万平方メートルの、土地利用計画であり、千里丘陵開発計画と呼ぶべきかも知れない。

それでは、日本万国博が我々に残したものは、はたして、330万平方メートルの土地だけであったのか。

私にはそう思えない。2年半の月日を万博の中で過ごした私にとって、それだけとは思いたくないと言うのが正直な言い方かもしれないが。

万博が我々に残したもの、万博で我々が得たもの、それは経験である。会場内であるいはその周辺で、建設関係者として、あるいはパビリオン従業員として、あるいはまた、見物人として、我々の得た経験は、質としては決して特異なものでは無かった。例えば、外国人との交渉にしても、万国博でのみ、可能なものではないし、また、会場建設に採用された工法にしても、決して新しいものではなかったが、それらのものを膨大な数の人が、短期間の内に、経験したということは、我々の将来にとって、莫大なエネルギーを貯蓄したことになるであろう。

万国博の残したものは、新知識でもなく、新技術でもなく、潜在エネルギーとしての経験である。　（日本万国博協会　**川崎正嗣**）

■「随想」—建築の機能、性能—

あれだけ各界から注目され、また懸念された日本万国博覧会も予想以上の成果を上げたとかで、今では早々と撤去作業が行われているという。その途上、その後に及んでも、俗に問われた〝万博をどのように思われますか？〟の答えのひとつに〝単なる建築家の道楽に過ぎないのではなかったか〟が、小生の耳に残ってならない。建築設計という職に身をおきながらも、建築の粋を集めた今回の万博建築物を見、感激しつつも、一日あければ、到底想像つきかねる莫大な費用のもとに撤去されようとしている、しつつある事実を見聞するに及んでは無類の空しさの中に、一種の沈黙がそこにあるように思えてならぬ。たとえ法律的に定められた仮設建築物のいのちといえども、ごく一般の人達から見た眼には、道楽としか映らないのも、頭から嘲笑できないのは、小生の考えの甘さから来るものだろうか。ただ、その人達の考えが単に今回の万博建築物のみに対するものだけならそこには小生とて傷の浅さを感ずるのだが……。

日本万国博覧会と銘うったものが大成功であったのか、そうではなかったかの結論は簡単には決して出せまい。小生とて、その件に関することはあえてここでは述べようとは思わない。また解せる道理もない。それよりも、先に述べた〝建築家の道楽〟という考えが万博建築物を基台にして世間一般の人達の考えとして浸透してゆくとすれば……と気をもみつつ、改めてここに建築の機能、性能というものを、自問自答してみたくなったものだ。その言葉をはじめて目にし耳にした時、自分はともすれば、建築をひとつの時の流れに乗り遅れない身にまとう着衣を選ぶごときの危険な考えのもとに曲解していた事実はなかったかと空恐ろしい問いかけをしてみたものだ。そのとき、ふと某雑誌に（38年度、新建築5月号）東畑先生が述べられておられた言葉を改めて読んで見た。東畑先生はその中で〝おもむくままに形体化したものが、性能の把握にこと欠いた場合には、建築技師ははげしい批判を受けなければならぬ〟と述べておられる。また〝如何なる性能が必要であるかの判断が他の工学と異なる才能を要求する〟とも述べておられる。

〝建築の機能・性能〟それは常に考え合わさなければならない命題でありながら時には、それをないがしろにさえしているのではないかという己の不安の中に〝建築家の道楽〟という言葉を聞くにおよび改めて、自分なりに考えをもとの位置に戻す必要性を強いられたのは事実である。機能、性能の中には勿論法律的に定義づけられているものもあれば、そうでないものもある。前者の中には生命の安全性を主たるものとして数々の取り決めがなされ問題はない。しかし、実際そうなれば、建築物のいう機能、性能は定義づけられていないものの中での最善なる建物としての有効性、効率に必的するのではあるまいか。

建築を単なるひとつの〝芸術〟などと片付け曲解し、ありとあらゆる流派の中に製作されてゆくとなれば、建築主にとりそれははなはだ迷惑な話しであろう。

音楽にいう未完成交響曲は、それで以って完成されたひとつの作品として残るであろうが、建築にあってはそれは許されまい。絵画のごとき単なる絵でもなければ音楽の如き安らぎを与えるだけでは満たされまい。とはいいながらも住宅が果たして〝住む機械〟かと問われた場合の返答は持ち添えない。ただ、小生として考えるに、そこに人間としての生活がすべての面から要求されるべく（空気を、大地を、空間を利したひとつの）、安全な効率のよい真の美を持ち添えたあくまで人間本位の〝社会生活を満たす器〟として求めつづけたく学んでゆく所存である。あくまで、おのれの身勝手な観賞用作品にだけはしてはなるまいと念じつつ。　（田中・小西建築事務所　**浅井洋司**）



完全責任施工　年限保証

日本アスのアスファルト防水

■シグマートによるウエルドシステム防水工法
■特殊絶縁防水工法（特許出願中）
■メルタン防水工法



50 年の実績が生んだ防水

シグマート・SPウエルドルーフィング

■全国に配置された組合員の強力な連繋で完全な施工工事をお受けいたします

地区別	会社名	電話
北海道地区	日本スレート株式会社	23 −7511 代
	日新建工(株)札幌出張所	22 −5015
東北地区	信栄工事(株)仙台出張所	23 −1735
	日新建工(株)仙台支店	25 −5431 代
関東地区	伊藤建材株式会社	842−1431 代
	春日工業株式会社	802−3871 代
	金岡工業株式会社	363−4341 代
	木下工業株式会社	634−0821 代
	協立工業株式会社	433−1961
	日新建工株式会社	803−2411
	日本綜合防水株式会社	403−0171 代
	野口工材株式会社	444−3531 代
	鶸田工業株式会社	263−4861 代
	藤井工業株式会社	941−0271・2582
	富士工材株式会社	634−0161 代
	藤澤青興業株式会社	362−5697 代
	北条澤青工業株式会社	551−2676・4382
	マサル澤青工業株式会社	842−6311 代
	大和工業株式会社	802−4751 代
	澤青建材株式会社	861−2706〜8
	石田建材工業株式会社	22 −3301〜3
	同和建業株式会社	45 −2251 代
	株式会社奈良屋商店	31 −0171 代
北陸地区	石橋建材株式会社	23 −0775
	有限会社折橋政次郎商店	22 −0999
	有限会社小島工業所	23 −0391
	島屋建設株式会社	42 −5151

地区別	会社名	電話
東海地区	協和建材工業株式会社	2 −2221 代
	中央建材工業株式会社	251−3541 代
	東京建材工業株式会社	411−6621
	日本建材鋼業株式会社	571−5541〜4
	株式会社三井工業所	85 −9151〜3
	宮崎建材	331−1531 代
近畿地区	清水興業株式会社	372−0250〜3
	棚田建材有限会社	22 −9182 代
	中村澤青工業株式会社	34 −5884・1223
	日新工材株式会社	541−3785〜6
	フタバ興業株式会社	458−7431〜3
	マサル澤青工業(株)大阪営業所	313−3817 代
	マルエス工業株式会社	458−4841〜3
	日新建工(株)大阪出張所	538−1621
中国地区	株式会社三洋技建	2 −5155 代
	東中国防水工業有限会社	23 −1181 代
	豊永建材株式会社	61 −6371〜3
	大和工業(株)広島出張所	71 −4687
四国地区	大三工業株式会社	51 −6811〜5
	大三工業(株)高知支店	83 −1786
	徳島大三工業株式会社	54 −4161 代
	株式会社マルマス河野商店	2 −5000 代
	株式会社山本商会	31 −6261〜3
九州地区	安藤工事株式会社	28 −5207〜9
	株式会社北原建材商会	3 −9395〜6
	株式会社工材社	38 −1468〜9
	株式会社大二商会	4 −1625
	日建工材株式会社	74−3548・77−5507
	日新興業株式会社	2 −4305〜6

■建設省東計第240号認可

日本アスファルト防水工業協同組合

東京都足立区千住東2−21−28 日新工業株式会社内　電話（882）2424（代）
関東支部　東京都足立区千住東2-21-28 日新工業株式会社内　電話（882）2424（代）
関西支部　大阪市西区新町北通1−18日新工業株式会社大阪支店内　電話(531)5281〜3
九州支部　福岡市大手門1−6　日新工業株式会社九州出張所内　電話（74）3461

建築と社会
ニュース

ニュース原稿をお送りください。



エネルギープラント

■泉北ニュータウンの地域冷暖房施設

泉北ニュータウンは大阪府が千里丘陵住宅地区に引き続き大阪市の南約20kmに位置する泉北丘陵に大阪市および堺市の業務地域への通勤人口を収容すべく開発する住宅地区である。開発地区は3つの丘陵（東より泉ヶ丘、栂、光明池）にわかれ、総人口は約 188,000人（47,000戸）、面積は 455万坪と千里ニュータウン(350万坪)を上まわる大規模なものである。今回の地域冷暖房は商業施設の集中する泉ヶ丘地区センターと地区センターに隣接するヤングタウン（単身者宿舎群、10,000人収容）を対象としたもので、地区センターは地域冷暖房を、ヤングタウンは地域暖房・給湯を行なうものである。

地域冷暖房施設

1)施設規模

冷房能力……昭和46年度 1,000米冷凍トン
最　終　期 5,500米冷凍トン

暖房能力……昭和46年度 6.5Gcal/hr
最　終　期26.0Gcal/hr

2)設備概要

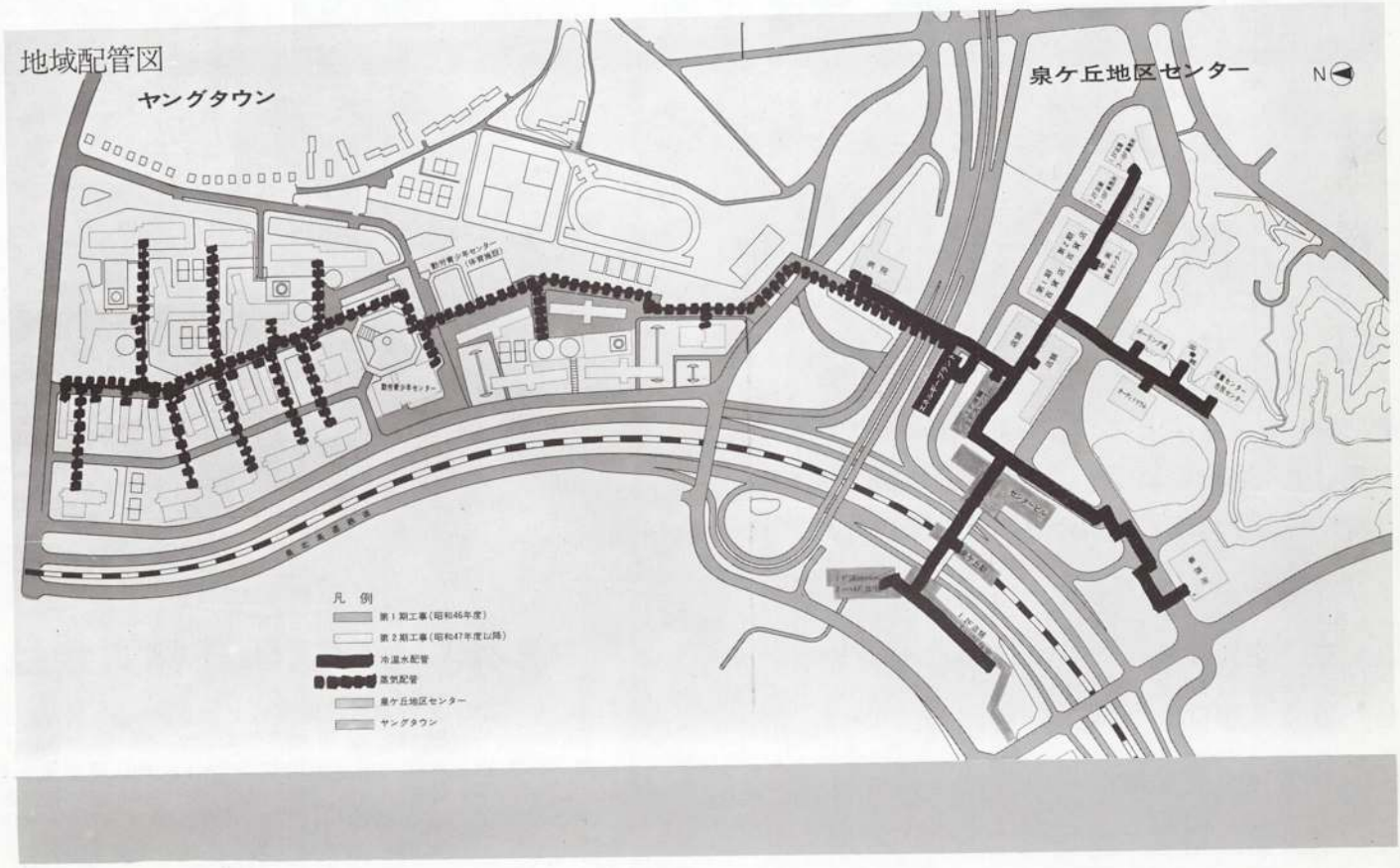
冷水は炉筒煙管ボイラ（ガスおよび灯油専焼）から発生した中圧蒸気(8 kg/cm²G)により新吸収式冷凍機（蒸気式二重効用吸収式冷凍機）を運転し、7℃の冷水を製造して各建物に送り冷房用として利用する。温水は炉筒煙管ボイラからの中圧蒸気を減圧弁を通して熱交換器に導き、80℃の温水を製造し暖房用として各建物に送水する。冷水送り温度は7℃（返り温度13℃）で温水送り温度は80℃（返り温度70℃）である。またヤングタウンへは8 kg/cm²Gの蒸気を供給し、需要側でその蒸気を減圧し蒸気暖房あるいは熱交換器を使って温水暖房、給湯なども可能である。

3)地域配管

	熱媒体	方　式	内　容
地区センター	冷水・温水	二　管　式	冷水と温水を夏冬切替え
ヤングタウン	蒸　　気	復水返送方式	蒸気供給復水返送方式

4)エネルギープラント建築概要

敷地面積 2,055m²
構造・規模 鉄筋コンクリート造
地下1階、地上3階
建築面積 1,234m²
延床面積 2,192m²
地階　19m²　1階　1,140m²
2階　627m²　3階　406m²
設　　計 安井建築設計事務所
施　　工 KK竹中工務店



すぐれた居住性を創造する

軽量気泡コンクリート

シポレックス



唐招提寺重要文化財保存施設
設計　文部省
施工　株式会社　竹中工務店
使用場所　外壁、間仕切

軽　　量（比重 0.5コンクリート¼の重量）

断　　熱（コンクリートの１０倍の断熱性）

耐　　火（法　定　耐　火　材　料）

◆シポレックスは工場、住宅から超高層ビルまで
あらゆる建物の屋根・床・壁・間仕切・耐火被
覆に使用されますが次の建物には特に最適です

1　工期短縮を要するすべての建物
2　空調を要する工場・倉庫事務所住宅等
3　鉄骨大張間の工場・体育館等
4　軽量化を要する高層建築物・軟弱地盤の建物
5　鉄骨耐火構造の建物

SIPOREX

シポレックス販売株式会社

本　　社　東京都千代田区岩本町２ノ１ノ16(森川ビル)
電話　東　京（861）代　表　７　２　４　１
大阪支店　大阪市西区立売堀北通１－90(第三富士ビル)
電話　大　阪（538）代　表　０　５　２　１
名古屋支店　名古屋市中村区広小路西通３ノ２(大商ビル)
電話　名古屋（581）代　表　７　４　２　１

□ 写真と概要をどしどしお送りください。
凡例：a．所在地　b．建築面積　c．延面積　d．構造規模　e．工　期



604. 有芳園西館

設計：KK 日建設計
施工：鴻池組・住友建設共同企業体
a．京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24の1
b．1,159.81m²
c．2,203.49m²
d．RC造，B1，2F
e．昭和44年2月～昭和45年3月



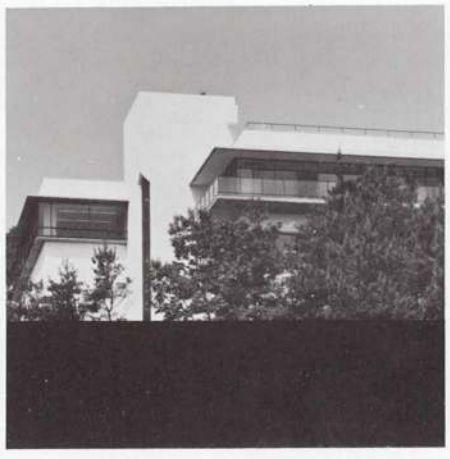
605. 京都市衛生研究所

設計：KK 日建設計
施工：水野建設KK
a．京都市中京区壬生東高田町
b．716.983m²
c．4,110.893m²
d．RC造，B1，6F，PH2
e．昭和44年5月～昭和45年6月



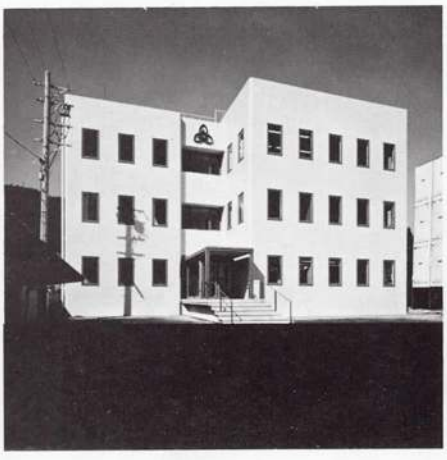
606. 加古川市庁舎

設計：KK 石本建築事務所
施工：KK 熊谷組
a．兵庫県加古川市加古川町北在家58／1外
b．5,313.74m²
c．10,840.01m²
d．庁舎棟・SRC造，B1,5F，PH4，議場棟・RC造，一部SRC，2F
e．昭和44年2月～昭和45年5月



607. 追手門学院大学図書館

設計：KK 日建設計
施工：佐伯建設工業KK
a．大阪府茨木市大字安威230番地
b．510.74m²
c．1,194.90m²
d．RC造，B1，3F
e．昭和44年8月～昭和45年3月



608. 大山崎町庁舎

設計：吉村建築事務所
施工：KK 安井杢工務店
a．京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字松原36
b．471.44m²
c．1,327.70m²
d．RC造，3F，PH2
e．昭和45年1月～昭和45年9月



609. 高槻市職員厚生施設及保育所

設計：KK 山本西原建築設計事務所
施礼：KK 小阪工務店
a．高槻市城西町575
b．608.16m²
c．1,156.52m²
d．RC造，B1，3F
e．昭和45年2月～昭和45年8月



610. 香川県歯科医師会館

設計：佐々木建築設計事務所
施工：小竹興業KK
a．高松市錦町1丁目
b．524.88m²
c．1,642.26m²
d．RC造，低層2F
高層B1，5F，PH付
e．昭和44年3月～昭和45年1月



611. 白木屋別館

設計：KK 中根設計研究所
施工：鹿島建設KK広島支店
a．山口県長門市深川湯本湯端
b．1,204.62m²
c．4,995.64m²
d．SRC造，7F，PH2
e．昭和44年3月～昭和45年2月



612. 三井生命徳山支社

設計：KK 梓建築事務所
施工：鹿島建設KK広島支店
a．山口県徳山市代々木通り1丁目4番地
b．359.153m²
c．2,207.794m₂
d．RC造，6F，PH2
e．昭和44年4月～昭和44年12月



和風と洋風の持味をプラスしたポリバス=P1801

P1801は、洋風バスのゆったりと足を伸ばしてくつろげる寸法と、和風バスのたっぷりと首までつかれる深さを生かした、和洋折中タイプのポリバスです。材質は丈夫さと保温力に定評のあるFRP。美しいピンク・ブルー・グリーン・ライトブルー、4色がそろっています。

埋込工事のいらない据置タイプの利点として、工事費が安上りな点も見のがせないポイント。給湯式・外釜式・BF釜いずれのセットも可能にしました。日本で最初にFRP浴槽を開発した東陶機器が、これからの浴室におすすめする、新しい自信作です。

TOTO

東陶

東陶機器株式会社
(旧社名　東洋陶器株式会社)

本　　社　北九州市小倉区篠崎町458
TEL　(093)－93－5151　〒802
大阪営業所　大阪市東区高麗橋5の32
TEL　(06)－203－5701　〒541

クラスメート

67 〔早稲田大学　昭和20年卒〕



大学卒業25年のクラス会(凡匠会)を京都祇園の中村楼でやった。この写真は一泊後の朝がえりの図とも称すべきもの。年令は47～50才で正に不惑といいたいところだが、40腰をこえて50肩というのが真実か。このクラスは兵役を最終にまでのばすために浪人後入学したものや専門学校よりの進学者が多く、年令からいうと小学校卒および中学卒の戦死者が統計的に一番多いにもかゝわらず、理科系大卒のみが生き残った感じである。在学中の戦死者、病没者を除いて全員51名が生きているのもめずらしく、まさに雑草のように敗戦後の我国の一端を支えてきた「凡匠」たちである。

5年前のクラス会には内藤多仲師、十代田三郎師が見えたのに故人となられ淋しい。また佐藤武夫師は当日誕生日で出席されなかった。写真の木村幸一郎師、今井兼次師、田辺泰師、竹内盛雄師については注釈不要の有名人、ここに今和次郎師が80才になられ朝から京都の考現学の実習(？)に出られ写真にはでていない。安藤勝男現教授は当時教務職員でよい兄貴分であり、青木安正先生は建築学科の事務主任として全員が世話になった。

クラスメートについては民主的に役職をかゝずに、勤務先のみ示し、紹介にかえる。

赤松槇美（西松建設）、福原勉（九州電力）、土方建一（日本写真家協会員・作家）、堀井威久夫（住友建設）、長谷川清（大日本土木）、平山資次（東京電力）、羽田淑明（清水建設）、長谷川正男（間組）、糸長正直（大東京火災）、上林博雄（大阪市立大学）、川口修（日建設計）、桑野研弥（日本海運協会）、木村度信（東住吉工高）、神山寿郎（神山木工所）、松岡新次郎（松岡建築事務所）、松谷俶夫（梓建築事務所）、野田沢運（戸田建設）、中村徳太郎（安藤建設）、武内浩一郎（倉敷レーヨン）、谷資信（早稲田大学）、渡辺保忠（早稲田大学）、湯浅志都男(徳島県庁)。この外、クラス会に出席して、この写真にのっていないものは、

円堂政嘉（円堂建築事務所）、小堀鐸二（京都大学）、三田要之夫（三田設備事務所）、奈良真光（鹿島建設）、大塚卓（大塚広告社）等である。

なおクラス会に出られなかった有名(？)人、あるいは関西に縁のある人は次のようになる、

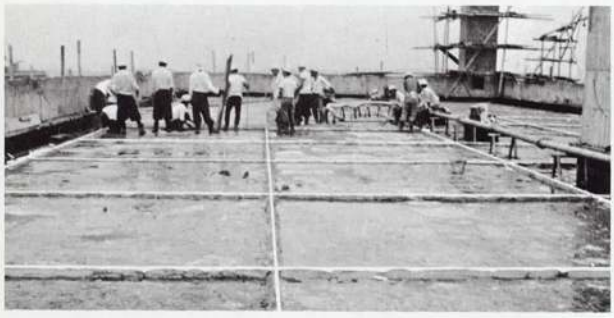
天野太郎（東京芸術大学）、安部允正（兵庫県立工高）、池高盛雄（東洋工業）、野中三郎（安井建築事務所）、大竹十一（U建築研究所）etc、

どうもアッケない紹介で恐れ入るが、これだけクラスメートが多いとこれもやむをえない。多謝。　（文責　上林）

防水層の保護と軽量、断熱に

共栄のパーライトコンクリート PC－D工法

（歩行用及び防水下地用）



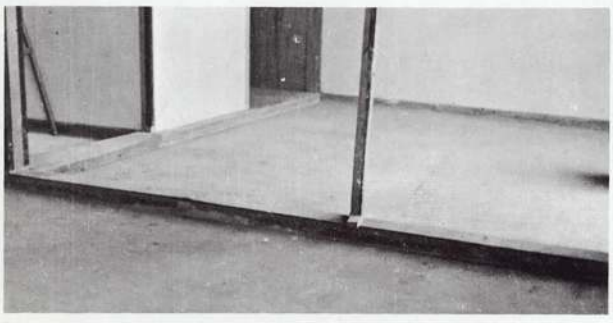
共栄パーライトコンクリートＰＣ－Ｄ工法採用の京都工芸繊維大学
（設計　教育施設研究所、施工　ＫＫ大林組）

作業が一工程省け工期の短縮と
コストが安くなる合理化工法

- 防水層の押えに使用し仕上モルタルの要らない金ゴテ一パツ仕上工法
- デッキプレートの軽量化や露出防水下地、または貼物下地にナラシモルタルの要らない金ゴテ一パツ仕上工法

畳下地の省力化と塩ビ系タイル下地の防湿、防温、軽量化、断熱（結露防止）に

共栄のパーライトモルタル PM－C工法



共栄パーライトモルタルＰＭ－Ｃ（普通タタミ下地）採用
の住友電工西島社宅（設計施工　ＫＫ竹中工務店）

- タタミ下地の床組（大工仕事）が全く要らないので**工期短縮とコストが安くなる**
- 床組しないので建物の**ボリュームの節約ができる**
- 無機質 100％絶対耐火それに多孔性材料のため吸温、遮音に優れている
- **独立気泡**の共栄パーライトと**防水液を使用した完全防水パーライトモルタル**であるため、湿気を全く透さない
- **比重・断熱共木材並１：３**
（比重0.85kg／ℓ、熱伝導率0.14kcal／mhc）

遂に出た…ベニヤ仮枠コンクリート下地の**かべ**、天井の一パツ吹付仕上工法

ネオパールスキン®

化粧、吸音、防湿、断熱（結露防止）と多目的用に

- ベニヤ仮枠コンクリート下地（天井及びかべ）に直接吹付して剥離の心配がない
- **かべ面は金ゴテ押え**すれば聚洛壁タイプの表面強度のあるソフトでデラックスなムードである（ネオパールスキンの特徴）
- 一工程で仕上るので**工期の短縮とコストが安くなる**
- 下地はボード類、鉄板類、石綿板、モルタルなど何んでもよい
- 標準色20色と特別色もできる



ネオパールスキンをベニヤ仮枠コンクリート下地の天井（吹放し）壁（金ゴテ押え仕上）採用の西宮トラピスト修道院
（設計　村野森建築事務所、施工　ＫＫ竹中工務店）

共栄パーライト販売株式会社
大阪市東区森之宮西の町５９４　TEL代表(941)9243

けんちくの眼

巽　和夫
京都大学教授・工博

一ノ瀬周太郎
兵庫県北摂開発局長

富安秀雄
市浦都市開発建築コンサルタンツ

中村博幸
乃村工藝社展示部次長

〔七月号より十二月号まで上記四氏で担当〕

●住宅産業化の断面

あるマンションの広告パンフレットを見ていたら、この建物の建設・販売に関係する主体のリストが掲げられているのが目をひいた。設計・施工、管理、総合管理、販売、販売提携などの業務と、それぞれを担当する企業名とが挙げられている。関係主体は、建設会社、ディベロッパー、商社、金融機関である。広告主は、おそらく、このマンションにいかに多くの企業が関係しているかを示すことによって、需要者の信頼度を高めようとしたのであろう。しかし、私はこれをむしろマイナスの方向に解釈する。関係企業が多ければ多い程、生産・販売の経路は複雑となり、経費は当然高くつく筈であるから、たかだか数十戸の規模にすぎないマンションに、このように大掛りな組織を当てるとなると、1戸当り経費はかなりの高額に上るに違いないだろう、と。

住宅の産業化とは、結局、生産・販売の諸過程を細分化し、それぞれを専門企業の活動に委ねることであって、諸過程が最終的に体系づけられなければならないという意味で、「システム産業」と称せられるのであるが、どんな小さなプロジェクトにも、システム全体が機能しなければいけないとなると、はてさて、「システム産業」とは、何とやっかいで不合理なものであることか。　（Tat）

●過少宅地

行政をとうした狭い視野の「建築の眼」にうつるもので、どうしても手がとどかなくて、しかもいらだたしさを感じさせられるものの1つに「過少宅地」がある。駅前広場が整備されたり、新しい広い街路ができたりすると、その周辺に、いわゆるエンピツビルやトーストビルがやたらと建ち並ぶ。

わが国の土地所有制度のもとでは、これらを禁止し、またはきびしく制限することは、今のところできない模様である。政府もただ手をこまぬいて傍観しているわけではなく、立体換地を強制しうる「都市再開発法」なるものを1昨年制定したのであるが、これとて、関係権利者の3分の2以上の同意を必要条件としており、緊急を要する駅前や街路の整備に関連して、府県と市の協力のもとに、辛うじてまとめられたものが全国的に数ヶ所あるに過ぎない。エンピツビルやトーストビルが建物の利用効率として非常に悪く、都市景観としても好ましくないことは否定できまい。

望ましい共同ビルを建設するためのてだてとしての法的措置と、ささやかではあるが補助金制度もできたわけである。そのとりまとめ役と、つなぎ資金の手当てなど、民間ベースで行なえるようになることを期待してやまない。　（Ich）

●海の汚れ

スェーデンの何とかいう学者が、太古のエヂプトの葦舟に似せて造った舟で、大西洋を横断するのに成功した。その話に、海面に油が浮いているのに出会わなかった日はなかったとある。大西洋は汚れているんだなと思った。

私は海中に潜り、美しい景色、魚を眺めるのが好きで、水のきれいな奄美諸島には、このところ数年続けて出かけている。それも夏は、学生がドット押しかけるので、9月か10月に行くことにしている。与論島は九州南方 500kmの洋上、奄美諸島の南端で、我国で唯一の環礁のある亜熱帯の小島である。ここは特に気に入って今年も10月上旬の数日をここで過した。天気もよく、ハイビスカスの咲く赤土の小道を磯に下り、珊瑚の破片でできた白砂をサクサク踏んで、エメラルド・グリーンの海へ入った。陽が傾くまで潜り、泳いで、浜で甲ら干しをしてふと気がつくと、足や体にベットリ黒いものがついている。廃油である。よく見ると渚に沿って、黒い砂利のようなものが細くつながっている。

大平洋も、汚染は、急速に進んでいる。今迄こんなことはなかったのである。　（Tom）

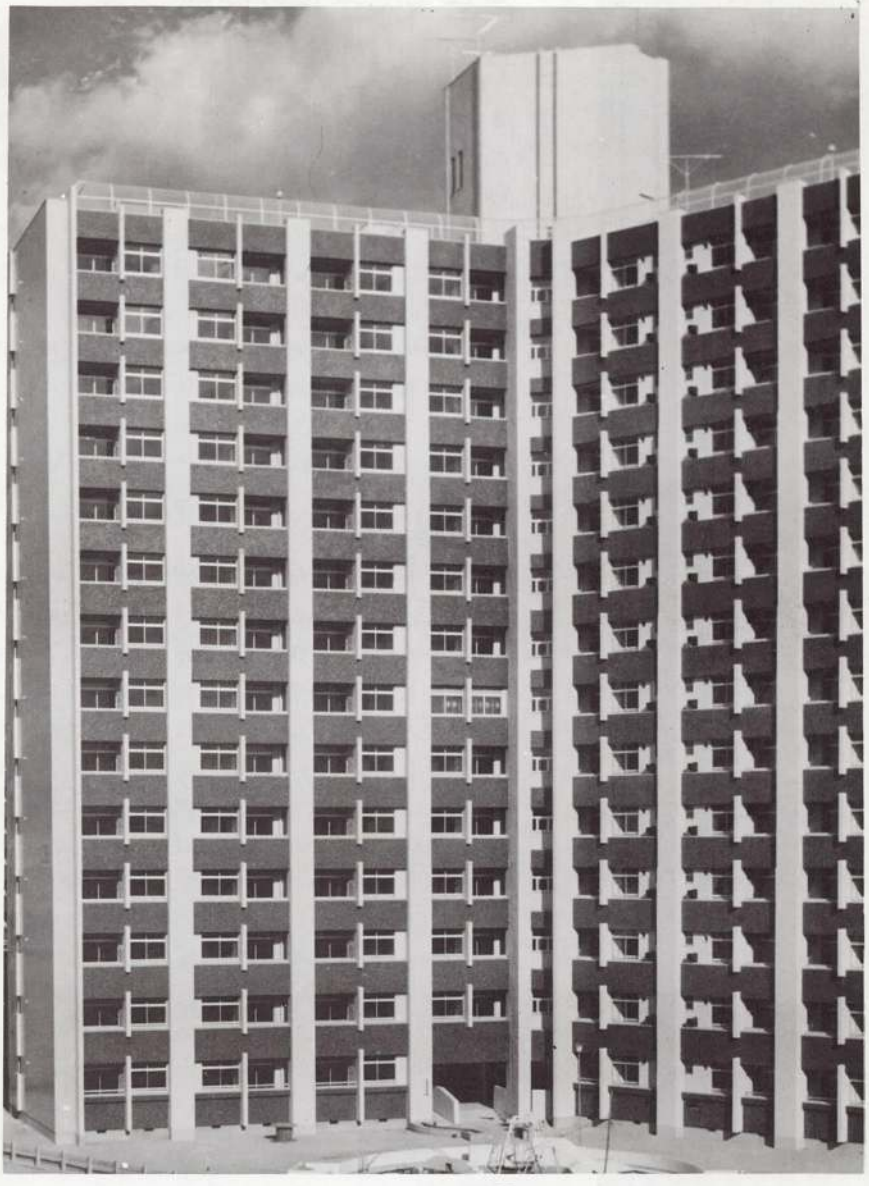
●都市のお色気6．

住宅施設、商業施設、公共施設などのトータルプランニングが、積極的に行われている現状の中で、夫々の新しい技術、新しい資材、新しい工法の導入による省力化、高速度化、耐久性などがかなりの変革をみせてきている。

正に時代の要求なり、先取りにマッチし、社会全般のレベルアップとなり、生活そのものが多岐にわたり充実の一途をたどっているが、果して真の精神的充足がなされているだろうか。

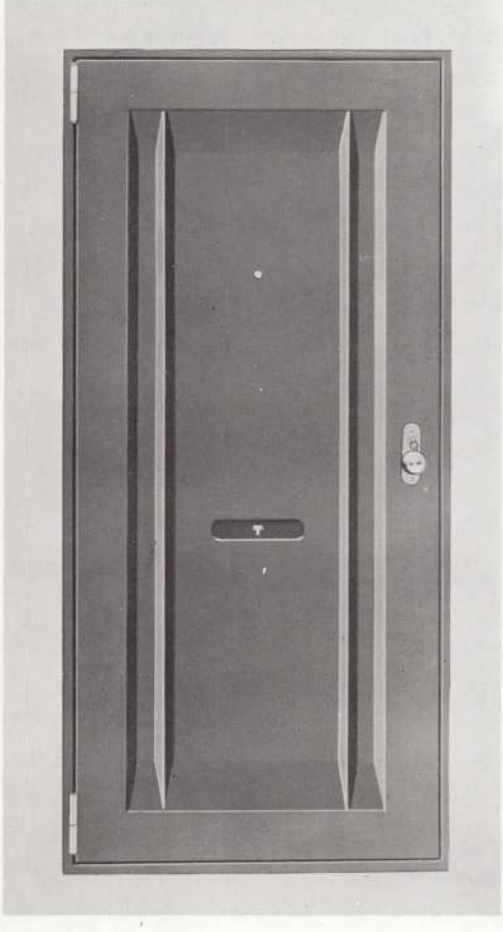
サイクルの速い流れのため意識している余裕などないのではなかろうか、主体性が知らず知らずのうちに失われているのではなかろうか。最近、生活の周辺をとりまく、環具、用具、内装材の大きな変化にともない、これからのポイントだと思える内部空間へ視点が向けられつつあるが、もっとドラマチックな、ムーディな、そして機能的なインテリアを構成することを基盤として、都市開発の内部空間をシステマッチクなインテリアに方向づけることが望まれ、絶えず都市にお色気を発散させ明るい充実した社会を構成しながら、未来への夢を追いつづけていくことだろう。　（Nak）

住宅



きんき プレスドア

防火ドアー



住宅用として開発

きんき アルミサッシ

〔KJ指定メーカー〕

製造元 **近畿車輛株式会社**

本社建材工場　大阪府布施市橋本1番地の1　電話大阪(782)1231代表
所沢建材工場　埼玉県所沢市大字所沢1415番地　電話所沢(22)5101代表

販売元 **近畿工業株式会社**

本　　社　大阪市北区梅ヶ枝町108番地　新梅ヶ枝町ビル　電話大阪(363)3371代表
東京支店　東京都千代田区神田松永町19　東京近鉄ビル　電話東京(255)8271代表
名古屋支店　名古屋市中村区広井町2－22　川島ビル　電話名古屋(571)9111
神戸営業所　神戸市生田区海岸通1－5－1　新東方ビル　電話神戸(39)0905
広島営業所　広島市鉄砲町10番10号　寿屋ビル　電話広島(21)6585
福岡営業所　福岡市博多駅中央街8の36　博多ビル　電話福岡(41)9361

御一報次第カタログ拝送します。

建築と社会総目録

第51集

1970年(昭和45年)

社団法人　日本建築協会

号

特集号 ♥

現代社会の問題点 …… 1
建築と安全 …… 2
日本万国博と技術開発 …… 3
設計のシステム化 …… 4
グッドデザイン運動 …… 5
高層建築問題 …… 6
欧米における契約 …… 7
建築家の課題と責任 …… 8
工事計画 …… 9
ディベロッパー …… 10
第17回青年技術者 …… 11
山陽・山陰からの報告 …… 12

作品作風 ♥

ニュータウンセンター
千里中央地区センター …… 7

事務所ビル
神戸商工貿易センタービル …… 2
設　計：日建設計工務KK
施　工：鹿島建設KK
大阪伊奈製陶ビル …… 4
設　計：日建設計工務KK
施　工：KK竹中工務店
神戸ポートターミナルビル …… 8
設　計：KK日建設計
施　工：清水建設KK
ロンシャン本社 …… 9
設計施工：KK竹中工務店
富士火災茨木分室 …… 9
設計施工：清水建設KK

会館
京都府立文化芸術会館 …… 4
設　計：富家建築事務所
施　工：清水建設KK
芦屋市民会館ルナホール …… 6
設　計：坂倉建築研究所
施　工：KK大林組
倉敷市児島文化センター …… 6
設　計：佐藤武夫設計事務所
施　工：KK鴻池組

ホテル・宿泊所
京都オリエンタルホテル …… 5
設計施工：KK大林組
ホテルレイクビワ …… 7
設　計：大阪建築事務所
施　工：KK竹中工務店
公立学校共済組合大山保養所ますみず荘 …… 8
設　計：安井建築設計事務所
施　工：西松建設KK

住宅
浜辺の別荘 …… 2
設計施工：KK竹中工務店
愛知県公館・知事公舎 …… 4
設　計：安井建築設計事務所
施　工：小原建設KK
千里佐竹台メゾネット …… 5
設　計：大阪府住宅供給公社
施　工：東急建設KK
土井邸 …… 11
設計施工：KK竹中工務店

学校
大阪大学吹田キャンパス …… 10
計　画：大阪大学足立研究室
施　工：前田建設工業，大林組，清水建設，松村組，戸田建設，大末建設，藤田組，武田工務店

病院
斎藤病院 …… 7
設計施工：KK竹中工務店

銀行
㈱広島銀行姫路支店 …… 9
設　計：KK日建設計
施　工：第一建設KK

工場
渋谷工業㈱加西工場 …… 9
設　計：坂倉建築研究所
施　工：KK清水組

万博パビリオン
EXPO'70 建築作品 …… 3

市場・その他
神戸市中央卸売市場東部市場 …… 4
設　計：日建設計工務KK
施　工：KK熊谷組

建築と社会　第51集　1970年（昭和45年）1月号—12月号　総目録

号

志摩マリンランド水族館・海洋館 …… 8
設　計：大阪建築事務所
施　工：清水建設KK

山陽・山陰の新建築 ♥

岡山県 ……12
太陽電機工業㈱事務所・岡山刑務所・日新火災海上KK岡山営業所・KK天満屋岡山店・岡山明治生命ビルディング・玉島信用金庫・日本ゼオンKK水島工場事務所試験室棟・重井病院・日本生命倉敷ビル・新見市立思誠小学校・日本生命保険（相）広島第2ビル

広島県 ……12
KK天満屋広島店牛田独身寮・親和銀行広島支店・中国新聞社・KK三菱銀行広島支店牛田アパート・住友生命ビル・戒善寺・KK日本長期信用銀行広島支店独身寮・第百生命・KK長崎塗装店家族寮・広島県立美術館・広島市外電話局・小松屋ビル・農協ビル・日産サニー広島販売KK本社・広島港湾合同庁舎・基町地区再開発施設・日本専売公社広島地方局事務所・広島商船高等専門学校校舎寄宿舎・向島町中央公民館・安芸府中郵便局庁舎・日本勧業銀行・広相ビル・KK広銀ビル・伊豫銀行福山支店・福山グランドホテル

山口県 ……12
萩市民会館・イエズス会学生センター・徳山市勤労福祉センター徳山市勤労青少年ホーム併設・徳山ソーダ文化体育館・宇部カントリークラブハウス・育成学校・テレビ山口KK・宇部石炭記念館・宇部空港・岩国商工会館・日本専売公社防府原料工場

島根県 ……12
島根県立武道館・島根県立図書館・松江明治生命館・島根県民会館・松の湯ホテル・朝日生命松江支社・山陰合同銀行事務センター・松江市青年センター・鳥取県漁連会館・KKドゴス文化会館

鳥取県 ……12
大山ゴルフクラブハウス・鳥取銀行米子支店・山陰合同銀行皆生通支店・米子信用金庫・ホテルピラ大山・網代漁業協同組合事務所・田後漁業協同組合事務所

スケッチブック（最近竣工の新建築）♥

496.大阪港湾合同庁舎。497.京都グランドホテル。498.クリスポン。499.倉敷文化センター。500.国民宿舎紀伊見荘。501.第二有楽ビル。502.高槻市下水終末処理場。503.ハイツ本山。504.大阪市港湾局 …… 1

505.中国新聞社社屋。506.湯元ホテル有田温泉。507.朝日生命保険県津営業所。508.奈良県奈良警察署庁舎。509.市立柏原病院診療棟増築。510.総社市庁舎。511.東北大学医学部臨床研究棟。512.香川相互銀行本店。513.ひし富ビル。 …… 2

514.京都府立文化芸術会館。515.高知県立郷土文化会館。516.東芳野荘。517.天満橋北市街地住宅。518.和歌山商工会議所庁舎。519.三交ショッピングセンター伊勢店。520.生駒山ロレストハウス近鉄。521.興紀相互銀行砂山支店。522.新大阪ボーリングセンター。 …… 3

523.大阪コクサイホテル増築。524.日本勧業銀行大阪事務センター。525.竜田紡績本社寮。526.大阪ガス・千里エネルギーセンター。527.大阪阿武山赤十字病院増改築。528.府立身体障害者福祉センター附属病院増改築。529.兵庫県園田公園競馬場入場門。530.兵庫県園田公園競馬場総合事務所。531.ボウルジャパン。 …… 4

532.豊和相互銀行。533.大阪塗料会館。534.日本万国博プレースセンター。535.甲子園ボウル。536.ヤンマーディーゼル株式会社中央研究所本館および付属棟。537.大阪大学工学部。538.近鉄上本町ターミナルビル。539.茨木・永代ビル。540.鹿野園温泉旅館。 …… 5

541.池下第2公団アパート。542.阪急美沢団地。543.相生コーポ。544.ローズハイツ声屋。545.高倉第1コーポ。546.新甲子園マンション。547.大阪府営東三国高層住宅。548.深江橋コーポ。549.香里三井積立分譲住宅。 …… 6

550.近鉄富山会館。551.茨木市民会館。552.三和銀行玉出支店。553.住友生命北九州ビル。554.住友生命堺東ビル。555.住友生命谷町ビル。556.神戸港船員サービスセンター。557.聖光園細野診療所。558.有隣会東大阪病院。559.大阪リバーサイドホテル。560.大阪日産自動車KK天王寺営業所。561.電気通信共済会寮六甲ヴィラ。562.キッコーマン醤油KK家族寮。563.中西マンション。564.日立造船豊中寮。565.小浜総合高等職業訓練校。566.日本毛織健康保険組合印南支部体育館。567.日本万国博覧会エキスポランド創造遊園。 …… 7

568.神戸常盤短期大学附属幼稚園。569.吹田市青山台小学校校舎。570.平安女学院高等学校校舎。571.吹田市立古江台小学校校舎。572.近畿学園校舎。573.大阪大学体育館。574.神戸大学教育学部附属住吉中学校体育館。575.大阪府立吹田高校体育館。576.大阪市立明治小学校講堂。 …… 8

577.広島市千田町ビル。578.大硝ガラス。579.野村証券健康保険組合六甲山保養所。580.有田市市民会館。581.法王山真宗寺。582.あやめ池ボウリング場。583.大府立泉南高等学校（第2期）。584.神戸常盤短期大学学舎・体育館増築。585.近畿大学附属小中学校校舎増築。 …… 9

586.鳥潟病院。587.長良川ホテル。588.滋賀県林業会館。589.紀陽ビル。590.泉北F住区近隣センター併存住宅棟。591.大阪府立岸和田労働センツルメント。592.KK浴東ホテル。593.高槻市立芝生小学校。594.天野吉商事KK社屋。 …… 10

595.下村邸。596.永田邸。597.八木邸。598.高岡病院本館。599.愛知県勤労会館。600.尼崎市立老人福祉センター。601.金剛山国民宿舎香楠荘。602.国立奈良療養所病棟。603.引田町立引田幼稚園。 …… 11

604.有芳園西館。605.京都市衛生研究所。606.加古川市庁舎。607.追手門学院大学図書館。608.大山崎町庁舎。609.高槻市職員厚生施設・保育所。610.香川県歯科医師会館。611.白木屋別館。612.三井生命徳山支店。 …… 12

コンクール ♥

第15回工高生デザインコンクール入選作 …… 1
（設計課題：ユースホステル）

現代社会の問題点 ♥

座談会出席者
飯沼和正・宮井卓・中岡哲郎・大久保昌一 … 1
前　文 …… 1
テーマ　前近代と近代の二重映しとしての日本的状況・タテ社会とヨコ社会・重厚と軽薄・旧い連帯と新しい連帯・個人的能力とシステムの能力・2頭立の馬・会社主義？・管理社会への抵抗・フロンティアの拡大と問題のすりかえ・青年と否定の対象・閉鎖社会の論理・ヨコの矛盾とタテの矛盾・新しいギルド・場をつかむ・自己申告時代・企業資産としてのソフトウェア・巨大化危機・文化の重み・時代のテンポと予測・技術の客観化・TVにおける本能の局部拡大・社会的不安の変化・生産の規模と情報の規模
関係文献リスト抄 …… 1

建築と安全 ♥

総　論
建築における安全……堀内　三郎… 2
各　論
安全設計へのアプローチ……岡田　光正… 2
地下街と群集避難…上田光雄・紙野桂人… 2
建築物内における危険物の規制と災害事例……米谷　重雄… 2
防火材料の新らしい認定試験方法のねらい……川端　繁夫… 2
座談会
京阪神地域における大規模災害…… 2
地すべりと崖くずれ・風水害・地震と地盤・耐震工法・防災と地域計画
出席者　田中茂・吉川宗治・南井良一郎・川村純夫・三村浩史・堀内三郎

日本万国博と技術開発 ♥

日本万国博の持つ意義と問題点……泉　資一郎… 3
日本万国博におけるデザイン批評……辻野純徳・太田隆信・紙野桂人… 3
日本万国博建築における新構造法……坂　静雄・金多　潔… 3
建築施工のシステム化（竹中工務店万国博工事本部の例）……土方　義之… 3
外国技術者から見た日本の建築技術について 3
アメリカ館，オートラリア館，カナダ館，インド館の建築家技術者
インターヴュアー・角橋徹也，川崎正嗣

設計のシステム化 ♥

設計におけるシステム化の諸相……川崎　清… 4
計画学とコンピューター……吉田　勝行… 4
設計情報とコンピューター……吉田　邦彦… 4
設計手法とコンピューター……笹田剛史・平本一男… 4
設計活動とコンピューター……牧　英二… 4

グッドデザイン運動 ♥

1 グッドデザイン運動のこんにちの課題……我妻　栄… 5
2 各論
グッドデザインとGマーク…明石　一男… 5
グッドデザインと消費者生活……三輪　昌子… 5
3 消費者の立場からみたグッドデザイン（座談会）…… 5
出席者　芦森慶子・衛藤圭子・中村照子
司会館　哲郎

高層建築問題 ♥

1 総　論
1-1 1970年代における関西での高層建築問題—都市計画，再開発，人間性との関連……原口忠次郎… 6
1-2 行政上からみた高層建築物の在り方……北垣　智造… 6
2 各　論
2-1 高層建築の計画……岡橋作太郎… 6
2-2 構造計画と構造設計の問題点……久徳　敏治… 6
2-3 設備計画の問題点……樋口　成弘… 6
2-4 防災計画の問題点……堀内　三郎… 6
2-5 高層ビル管理上の問題点……根上　雄至… 6
3 計画案ニュース
大阪（関西）における高層ビル計画案の紹介…… 6
4 随　想
都市空間の変容……西山　夘三… 6
小説超高層へのイントロ……富家　宏泰… 6
ある「天の邪鬼」の告白—（超）高層建築随想—……鷲尾　健三… 6
アメリカ高層ビルの印象……田中　重雄… 6
超高層随想……佐野　正一… 6
超高層と環境……山中　孔… 6

欧米における契約 ♥

1 欧米における設計契約
総論：英米におけるアーキテクトの契約上の職能……中村絹次郎… 7
各論：日本万国博における設計契約
カナダ館の設計監理契約……市居　浩一… 7
ケベック館における設計契約……徳永正三・今田雄二… 7
香港政庁館の協力建築家契約……寺畑　秀夫… 7
RCD館の設計契約…西部　明郎… 7
2 日本万国博における施工契約
「万国博覧会における外国展示館の建設工事請負契約」…… 7

建築家の課題と責任 ♥

座談会
テーマ：建築領域の拡がりと変化・組織と個人・施主との関係・社会的発言と連帯組織・プロフェッショナルとしての立場・マンパワーと設計組織・教育界のなかで…… 8
出席者（順不同）
鳥田家弘・塚本正司・藤沢隆・近藤繁・小島孜・橋本健治・三村浩史・室崎益輝・福田晴虔・平内祥央・安田孝・垂水英司・松井昭光
アンケート結果
取材建築家氏名（順不同）
椚座正信・今西祥郎・片田俊彦・青樹英次・山田俊満・萩野益司・光安義光・岡橋作太郎・薬袋公明・佐野正一・山本純孝・西沢文隆・太田隆信・富安秀雄・藤田邦昭・横尾義貫・西村一朗・栗原嘉一郎・山中孔

建築と社会　第51集　1970年（昭和45年）1月号—12月号　総目録

工事計画 ♥

号

1総論
工事計画と建築生産……古川　修… 9
工事計画に要求される社会的責任……川上　玄… 9

2各論
ネットワークによる工程計画……荒木　睦彦… 9
公害防止と工事計画……長浜　忠… 9
地下工事の工事計画……吉田　勝彦… 9
超高層建築の工事計画……池田　昌穂… 9
プレハブ化と工事計画……滝川　昌宏… 9

ディベロッパー ♥

1総論
ディベロッパーとは何か
—成立条件と開発事業をめぐる諸問題—……住田　昌二…10

2開発システムと問題点
ディベロッパーと開発計画システム……田村　真二…10
行政上の立場と都市再開発…徳山　正文…10
公的ディベロッパーの問題点
—社会資本形成における住宅公団の役割と展望—……西田　隆雄…10
民間ディベロッパーとしての問題点
—国・地方公共団体への注文を含めて—……田村　勝次…10

3ケーススタディ —開発資金構成と開発組織—
市街地再開発の基礎的経営課題……田中　實…10
ディベロッパー機能論（大阪を中心に）……藤田　邦昭…10
ディベロッパー機能論（神戸の場合）……安好　匠…10

4民間ディベロッパーによる市街地再開発計画3点……10

第17回青年技術者 ♥

設計部門
谷口　望　クリモトビル・大阪資生堂事務棟……11
萩原　信行　山陽ハイツ（倉敷勤労総合福祉センター）……11
藤原　一秀　水口町中央公民館……11
山口　哲夫　枚方寝屋川商工会議所会館・公立学校共済組合大山保養所ますみず荘……11
伊藤　誠三　万博チェコスロバキヤ館の設計協力……11
上川　真正　万博アメリカ館の設計協力…11
科埜　僚宏　京都市西部清掃工場・志摩マリンランド水族館海洋館……11
増田　繁治　丹波地方文化会館……11

構造部門
高木　正敏　ホテルエムパイヤーの構造…11
中川　滋　尼崎コークス工業㈱加古川工場……11
首藤　信夫　兵庫県庁舎・議場の構造設計……11

設備部門
島貫　崇　阪急梅田駅三番街の冷暖房と人工の川……11

施工部門
大場　若夫　万博アメリカ館の施工……11
木村　稔　大林組万博工事の総合管理と工事計画部門の業務……11

計画部門
溝神宏至朗　泉北ニュータウン泉ケ丘地区センター……11

山陽・山陰からの報告 ♥

号

1広域生活圏
中国地方広域生活圏構想……佐藤　重夫…12
中国地方中枢管理都市を中心とした構想……石丸　紀興…12

2新幹線と縦貫道路
山陽新幹線と中国縦貫道路の計画……門田　博知…12
中国地方開発における山陽新幹線および中国縦貫道……茂木　六郎…12

技術の頁 ♥

89. 構造部門　厚肉形鋼の溶接の問題点……滝沢　章三… 1
90. 構造部門　鋼構造の耐火被覆の問題点……小宮　賢一… 2
91. 技術部門　お祭り広場における技術開発……奥保多聞・小北博一・中東達男… 3
92. 技術部門　建築技術者のためのコンピューター技術用語解説……笹田　剛史… 4
93. 材料部門　建築用ガスケット……越本　昌弘… 5
94. 設備部門　高層ビルにおけるエレベータ群管理運転方式と基本計画……木村　武雄… 6
95. 施工部門　機械掘削工法による場所打ちコンクリートぐい（ピア）…片口　幸彦… 7
96. 技術部門　土質用語の解説……中堀　和英… 8
97. 施工部門　超高層施工における揚重計画のシステム化……丹羽　稔・吉永　深… 9
98. 材料部門　特殊ガラス
日本建築協会建材委員会（担当：種村　恒夫）…10
99. 構造部門　窓拭きゴンドラの構造と安全管理……高橋　功…11
100. 施工部門　モルタルポンプと吹き付け施工……越本昌弘・片口幸彦…12

海外写真 ♥

憩の空間 1（ビルの谷間のポケット公園）… 1
憩の空間 2（憩う群像）… 2
憩の空間 3（人車分離の先駆者）… 3
憩の空間 4（人間復活の都市再開発　パルティモア）… 4
憩の空間 5（緑の大地の自由時間　トロント）… 5
憩の空間 6（光のおりなす憩の場　ホノルル）… 6
以上　写真と文　中村　淳

イタリアファンタジア 1
坂道（モンテ・カプール）… 7
イタリアファンタジア 2
VISTA（モンテカプール）… 8
イタリアファンタジア 3
PLAZZA（ミラノ）… 9
イタリアファンタジア 4
ポスター（ミラノ）…10
イタリアファンタジア 5
聖天使城（ローマ）…11
イタリアファンタジア 6
ファーロ　ロマーノ（ローマ）…12
以上　写真と文　吉井孝治

法令コーナー ♥

29. ごあいさつ・法令解説—騒音規制法の施行と建設工事騒音の規制について……福田朝生・鞍谷信保… 1
30. 建築基準法の新体制の確立について……上川　恭弘… 2
31. 開発許可制度について……片田　俊彦… 3
32. 開発許可制度について……片田　俊彦… 4
33. 風致地区内における建築等の規制に関する大阪府条例の制定について……片田　俊彦… 5
34. 開発許可制度について（その3）……片田　俊彦… 6
35. 「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」について……片田　俊彦… 7
36. 建築基準法の改正について……片田　俊彦… 8
37. 大阪府公害防止条例について……片田　俊彦… 9
38. 都市計画施設などの区域内における建築などの制限について……片田　俊彦…10
39. 屎尿浄化槽へのアプローチについて……島岡　克吉…11
40. 質疑応答・建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行令について・建築基準法第55条第2項の指定による建蔽率の緩和について……片田　俊彦…12

クラスメート ♥

56. 京都大学　昭和13年卒…… 1
（入澤二郎・小西押・塚本喜八郎・堀内三郎・村井義次・森田康次・吉田孝）
57. 旧京都市立第一工業学校（現洛陽工業高校）昭和7,8年卒…… 2
（本間精一・遠山一行・田丸善則・荒堀宇三郎・岩松弘造・大西富夫・安井善次郎・保野五郎・井津定雄・勇田弘）
58. 都島工業学校　昭和15年卒…… 3
（黒川正三郎・鈴木旭・戸川秀夫・中塚二郎・早崎淳次・東田茂）
59. 旧関西高等工学校　昭和11年卒…… 4
（長谷川武彦・浜石正治・尾亀清四郎・末廣健次郎・近藤泰次郎・渡辺一郎・福田亨吉・工藤雅三・佐藤信太郎・大坪哲夫・出水正良）
60. 彦根工業学校　昭和16年卒…… 5
（青木泰三・伊藤康雄・辻喜造・上田弘・若林重雄・谷口勇三・江畑博・志賀修一）
61. 彦根工業学校　昭和16年12月卒…… 6
（若林嘉津雄・中島幸彦・西村末次郎・北川啓一・奥野良一・松井貞治）
62. 日本大学専門部　昭和7年卒…… 7
（廣岡浅治郎・宇井八太郎・景山正明・衣笠孝一・黒田冬蔵・田邊三郎・島本克己）
63. 京都大学　昭和8年卒…… 8
（西山卯三，高橋慶夫，佐々木米太郎，浦辺鎮太郎・遠藤省一，坂本秀雄，石橋逢吉，藤井左内，宮川久三）
64. 都島工業学校　昭和16年3月卒…… 9
（出田三郎・岩下明正・堤兼雄・松原孝史・和田豊・茂博・岡部勝典・長村誠治・新谷重太郎・服部義春・北島全・伊東省三）
65. 京都大学　昭和16年卒……10
（上田光雄・新福徳造・千原大五郎・橋本正五・八尾武男・山下暢雄・多屋幹夫・原信・井原道継・吉田一彦）
66. 東京大学　昭和16・17年卒……11
（佐野正一・山西喜雄・山本康雄・宮脇和正・荒敏雄・八馬芳郎）
67. 早稲田大学理工学部　昭和20年卒……12
（赤松横美・福原勉・土方建一・堀井威久夫・長谷川清・平山資次・羽田淑明・長谷川正男・糸長正直・上林博雄・川口修・桑名研弥・木村慶信・神山寿郎・松岡新次郎・松谷阪夫・野田沢運・中村徳太郎・武内浩一郎・谷資信・渡辺保忠・湯浅志都男）

建築の眼 ♥

21世紀の価値基準・さえら(1)・名人芸的センス・建築 Planning への夢1…… 1
たつ巻・さえら(2)・発展途上国の万博展示館・建築 Planning への夢2—移動壁— …… 2
風に鳴るアパート・さえら(3)・建築家と施工業者との関係・建築 Planning への夢3—立体交叉平行壁— …… 3
建築とは？，さえら(4)・義侠心・建築 Planning への夢4—自動開閉式防火壁— …… 4
防災か公害防止か・さえら(5)・未来都市と農協さん・建築 Planning への夢5 …… 5
自然の循環・さえら(6)・公共投資の一元的ネットワーク・建築 Planning への夢6—遮影カーテン— …… 6
以上担当：早川文夫・越智隆晴・泉資一郎　松田悦彦

建築と社会　第51集　1970年（昭和45年）1月号—12月号　総目録

号

だれのためかパイロットハウス・自然へのあこがれ・建築ジャーナリズム・都市のお色気1 …… 7
建築技術のクローズ化・あみどり・チームワーク・都市のお色気2 …… 8
住宅研究所を設立せよ・地域制について（その1）・子供の国・都市のお色気3 …… 9
情報化社会とは・地域制について（その2）・住宅地の開発・都市のお色気4 …… 10
求心型と遠心型・「行政エゴイズム」・都市の道路・都市のお色気5 …… 11
住宅産業化の断面・過少宅地・海の汚れ・都市のお色気6 …… 12
以上担当：巽和夫・一ノ瀬周太郎・富安秀雄・中村博幸

戦後の建築運動史 ♥

1. Ⅶ 新しい建築運動をめざして　NAC建築運動史部会（松井昭光・垂水英司）… 8
2. Ⅰ 組織活動と建築運動 …… 9
3. Ⅱ 平和運動と建築運動 …… 10
4. Ⅲ 調査活動と設計活動 …… 11
5. Ⅳ 都市問題と建築運動 …… 12

生活と空間の原理 ♥

一京の町内 4　オモテ・カド…U　D　O… 1
一京の町内 5　オチョウナイ…U　D　O… 2
一京の町内 6　ローヂ……U　D　O… 3
一京の町内 7　マチヤブロック……U　D　O… 4
一京の町内 8　京の町家……U　D　O… 5
一京の町内 9　トオリニワ……U　D　O… 6
一京の町内 10　オイエ……U　D　O… 7
一京の町内 11　ニワ……U　D　O… 8
一京の町内 12　ウチ……U　D　O… 9
一京の町内 13　……U　D　O…10
一京の町内 14　マチ……U　D　O…11
一京の町内 15　（最終回）……U　D　O…12

日本万国博ニュース ♥

ポルトガル館・イタリア館・オンタリオ州館・クウェート館・日本庭園・エキスポタワー・フジパンロボット館 …… 1
キューバ館・コロンビア館・インドネシア館・第1—Aプレース・第2—Bプレース・スイス館・ワシントン館・チリー館・他 …… 2
キリスト教館・西ドイツ館・アルゼンチン館・タイ館・第3プレース・アメリカンパーク館・セイロン館・リコー館・インド館・ヴィエトナム館・RCD館・シンガポール館・メキシコ館・その他 …… 3
ハワイ館・第2—Aプレース・サウディアラビア館・EC館・他 …… 4
各館に集う人々（テーマ館・太陽の塔・カナダ館・ブリティッシュコロンビア館・スイス館） …… 5
エキスポランド・サンフランシスコ館・ミュンヘン市館・その他 …… 6
休　憩 …… 7
万博のなかの人 …… 8

日本万国博跡地開発計画 ♥

4. 第3章　環境装置計画　土地利用・機能配分計画……TEAM BARK… 1
5. 土地利用・機能配分計画……TEAM BARK… 2
6. 都市軸計画—PROJECT701……TEAM BARK… 3
7. 環境装置計画　……TEAM BARK… 4
8. 〃　……TEAM BARK… 5
9. 〃　……TEAM BARK… 6
10. 〃　……TEAM BARK… 8
11. 第4章　建設プログラム……TEAM BARK…10
12. EXPO損益決算書・組織と計画の流れ……TEAM BARK…12

号

読者の頁 ♥

工事のPR・ONS工法の紹介・建設災害について・その他 …… 1
1970以後？・大型特殊車両等の運行に伴う事故防止の徹底について・新刊紹介「わが国住宅産業の全貌」・明治建築土木史年表(その35) …… 2
新建築運動の全国統一組織をめざして・大正区千島開発計画 …… 3
ダスタシュートについて・「トレビの広場」に想う …… 4
大正区千島開発計画 …… 5
教師になって・書評（建築材料の歴史）・書評（man, climate and architecture）・京都民主府政をすすめる建築家・技術者の会結成される・都市計画法等の説明会・明治建築土木史年表（その39） …… 6
規格の統一（安田誠一）・誠実の人　池田宮彦さん（竹腰健造）・明治建築土木史年表その40（須藤欣二） …… 7
高層建造物と「テレビ」公害について（加藤雄三郎）・日照基準をめぐる諸問題（塚本正司・社本孝夫）・京間と江戸間（安田誠一）・明治建築土木史年41（須藤欣二）・来阪したソ連の建築家たちを案内して（松井昭光） …… 8
開発の進む泉北ニュータウン（M・K） …… 9
特集「建築家の課題と責任」を読んで（U）・明治建築土木史年表43（須藤欣二） …… 10
日本で3番目に古い？設計事務所有巣社のこと（須藤欣二）・ビル暖房等規制（ブルースカイ計画第2号）（大阪市） …11
「随想」（浅井洋司）・万博が残したもの（川崎正嗣） …12

建築と社会ニュース ♥

難波宮址保存と教育青少年センター建設・日本建築協会東海支部の活動・竹中工務店万国博ニュース・ペプシ館万国博ニュース・生コンクリート圧送の事業に対する労働者災害補償保険法の適用について・新刊紹介・その他 …… 3
日本で初めての地域冷暖房施設が完成・ミナミ地下街（虹の町）・明治建築土木史年表（その37） …… 4
千里ニュータウン中央地区センターの各種施設・創立記念日の集い・役員，委員慰親会・明治建築土木史年表（その38） 5
天六におけるガス爆発事故の概要について・竹中ICS—住宅シリーズがスタート …… 6
TBW工法（竹中式連続地下壁構築工法）の完成・大阪府の市街化区域，市街化調整区域案都計審議会で承認される … 7
ミサワホームプレハブ住宅国際設計競技'70・超宗派万国戦争犠牲者慰霊"大平和祈念塔"・民間資本による大型総合開発大阪ビジネスパーク（OBP）基本構想・新建築家技術者集団結成へ・千里ニュータウンの新しい彫刻 …… 8
第2回日本建築祭・第7回よろず住宅相談展・大林高層住宅シリーズ—X型およびY型・新製品「テラリスタ」「フロアテック」「ユニテック」・明治建築土木史年表42（須藤欣二） …… 9
既成市街地等における高層公営住宅に対する日照条件などの環境基準について・フジパッキ新発売・本格派小形コンプレッサー誕生・新しくできたショッピングセンター2点……10
愛隣総合センターが完成・曽根崎警察署改築される ……11
泉北ニュータウンの地域冷暖房施設……12

座談会（前掲） ♥

現代社会の問題点（飯沼和正・宮井卓・中岡哲郎・大久保昌一） …… 1
京阪神地域における大規模災害（田中茂・吉川宗治・南井良一郎・川村純夫・三村浩史・堀内三郎） …… 2
日本万国博におけるデザイン批評鼎談（太田隆信・紙野桂人・辻野純徳） …… 3
消費者の立場からみたグッドデザイン（芦森慶子・衛藤圭子・中井照子・館哲郎） …… 5
建築家の課題と責任（鳥田家弘・三村浩史・室崎益輝・福田晴虔・平内祥央・安田孝・垂水英司・塚本正司・藤沢隆・近藤繁・小島孜・橋本健治・松井昭光） …… 8

投稿記事論文（前掲） ♥

大正区千島開発計画 1……社本　孝夫… 3
大正区千島開発計画 2……社本　孝夫… 5
高層建築物と「テレビ」公害について……加藤雄三郎… 8
日照権をめぐる諸問題……塚本正司・社本孝夫… 8
開発の進む泉北ニュータウン……M・K… 9
特集「建築家の課題と責任」を読んで…U…10
既成市街地等における高層公営住宅に対する日照条件等の環境基準について……10

号

日本で3番目に古い？設計事務所有巣社のこと……須藤　欣二…11

書評（前掲） ♥

新刊紹介「わが国住宅産業の全貌」 …… 2
新刊紹介「内田祥三先生作品集」 …… 3
新刊紹介「書院」Ⅰ・Ⅱ …… 3
Pr. N. デヴィー著「建築材料の歴史」……窪田　祐… 6
B. Givoni "Man, Climate and Architecture"……金谷　英一… 6

文献リスト ♥

文明未来論・システム論に関する文献 …… 1

追悼記（前掲） ♥

故久保田種吉氏（月間の動き欄） …… 2
故池田宮彦氏（読者の頁欄） …… 7

雑 ♥

年頭のことば……東畑　謙三… 1
本年の抱負　日本建築協会常設委員会…… 1
第51集総目録（昭和45年1月号～12月号） …12

会告 ♥

神戸製鋼所建設機械工場の見学会・清酒白雪の新旧醸造工場の見学会 …… 1
大阪ガス千里中央地区（冷暖房）センター見学会・創立記念日の集い …… 2
東京都新宿の京王プラザホテル建設工事の見学と春の新宿御苑の拝観・学術講演会開催・日本建築協会細則一部改訂（会費の値上げ）お知らせ・監事評議員の当選お知らせ・第2回日本建築祭 …… 3
日本中央競馬会栗東トレーニングセンターと日本シルバーパール滋賀工場の見学会・第2回日本建築祭 …… 4
山陽新幹線神戸トンネル布引工区と神戸港ポートアイランドその他の見学会・本山アーバンライフ新築工事の見学会・定時評議員会決議お知らせ・昭和45～6年度支部選出評議員の選任・近畿建築会館建設資金借入金の一部償還当選お知らせ・日本建築協会昭和45年度収支予算・第2回日本建築祭 … 5
通常総会開催通知・読売新聞大阪本社別館新築工事の見学会・キリンビール京都工場の見学会・昭和45年度日本建築協会常設委員会委員・昭和45年度理事の会務分掌・会員の受賞 … 6
通常総会決議報告・第7回「よろず相談住宅展」開催・理事の選任・昭和45年度東海支部役員並びに支部選出本部評議員の選任 …… 7
サントリーウィスキー山崎工場の見学会・関西電力喜撰山（揚水）発電所の見学と平等院の拝観・立川ブラインド工場と多賀大社彦根城の見学会・青年技術者のみなさまへ …… 8
会員の受賞・N氏邸並びにO氏邸新築工事の見学会・純木家具の大丸木工株式会社寝屋川工場見学会・妙喜庵並びに水無瀬神宮の茶室見学の会・大阪城公園と重文奥田吉村両家住宅の見学会・修学院離宮の拝観・その他 …… 9
「建築データ・シート」の編集終結について・光悦寺の茶室見学の会・朝日放送本社と大阪タワーの見学会・信楽の近江化学陶器㈱のタイル工場その他見学会・71年版会員名簿発行についてお願い・第11回関西都市住宅会議 ……10
建築データシート総合目次総索引の発行・若い会員の集い・PC工場とプレハブ集合住宅建築工事の見学会・神戸市三宮市街地改造事業の内第3地区1丁目東ビル「さんプラザ」新築工事の見学会……11
アデュー1970年忘年懇親会・第16回工高生デザインコンクール入選者・建築6団体合同新年交礼会・会館基金への寄付受領・大阪銀行本店新築工事の見学会・中津リバーサイド分譲住宅の見学会……12

日本建築協会月間の動き ♥

昭和44年11月分 …… 1
昭和44年12月分 …… 2
昭和45年1月分 …… 3
昭和45年2月分 …… 4
昭和45年3月分 …… 5
昭和45年4月分 …… 6
昭和45年5月分 …… 7
昭和45年6月分 …… 8
昭和45年7月分 …… 9
昭和45年8月分 ……10
昭和45年9月分 ……11
昭和45年10月分 ……12

The Architectural Association of Japan

建築と社会

特集：山陽・山陰からの報告　1970年 Vol. 51　12

会　告　アデュー1970年忘年懇親会・第16回工高生デザインコンクール入選者・建築6団体合同新年交礼会・会館基金への寄付受領・大阪銀行本店新築工事の見学会・中津リバーサイド分譲住宅の見学会 …… 9

法令コーナー　40. 法令相談・法令解説　建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行令について・その他……大阪府建築部　片田　俊彦… 11

読者の頁　万博が残したもの(川崎正嗣)・「随想」—建築の機能・性能(浅井洋司)… 13

建築と社会ニュース　泉北ニュータウンの地域冷暖房施設…… 15

スケッチブック　最近竣工した新建築9点（No.604～612）…… 17

クラスメート　67. 早稲田大学　昭和20年卒
（赤松槙実・福原勉・土方建一・上林博雄ほか）…… 19

建築の眼　巽和夫（住宅産業化の断面）一ノ瀬周太郎（過少宅地）
富安秀雄（海の汚れ）中村博幸（都市のお色気6）…… 21

第51集総目録　昭和45年1月号～12月号…… 23

海外写真　イタリアファンタジア6　ファーロ　ロマーノ（ローマ）
写真と文　吉井　孝治… 29

作品作風　山陽・山陰の新建築：開径寮・太陽電機工業㈱事務所・広島医師会館・福屋商品センター・イエズス会学生センター・萩市民会館・島根県立図書館・島根県立武道館　ほか59点…… 30

特集 ── 山陽・山陰からの報告

1 広域生活圏
中国地方広域生活圏構想 ……佐藤　重夫… 46
中国地方中枢管理都市を中心とした構想 ……石丸　紀興… 48

2 新幹線と縦貫道路
山陽新幹線と中国縦貫道路の計画 ……門田　博知… 53
中国地方開発における山陽新幹線および中国縦貫道 ……茂木　六郎… 57

技術の頁　100. モルタルポンプと吹付け施工……越本　昌弘… 61
片口　幸彦

戦後の建築運動史　5. Ⅳ　都市問題と建築運動……N A C… 65

生活と空間の原理　—京の町内 15.（最終回）……U D O… 69

日本万国博跡地開発計画　12. ……TEAM BARK… 77

月報　日本建築協会月間の動き（昭和45年10月分）…… 79

編集人　松井昭光
印刷　昭和45年12月20日
発行　昭和45年12月25日
発行人　福中定三郎
発行所　(社)日本建築協会
大阪市東区北浜3—37
電 大阪231—9648
振替口座 大阪39975

印刷者　網野栄
印刷所　(株)研文社
大阪市北区堂山町66
電 大阪361—2091
売価　1部 300円・送料共

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 山元清重

KENTIKU TO SHAKAI No.12 Vol. 51, December 1970

(Architecture and Society)

A Journal of "The Architectural Association of Japan"

Cover design: K. Yamamoto

Editor: *Akimitsu Matsui*
Publisher: *Teisaburo Fukunaka*
Published by
The Architectural Association of Japan.
37, 3-chome, Kitahama, Higashi-ku, Osaka, Japan
Price: *single copy price ¥300*

CONTENTS

Column for Laws & Ordinances about Architecture 11
Column for Readers 13
News for Architecture and Society 15
Column of New Buildings 17
Class-mates 19
Essayes ("Kentiku no Me") ..... 21 — by *Kazuo Tatumi, Shutaro Ichinose, Hideo Tomiyasu & Hiroyuki Nakamura*

51st Consolidated Index 23
Photograph: Italia Fantasia —Foro Romano (Roma) ..... 29 — Photo: *Takaji Yoshii*

WORKS OF NEW ARCHITECTURE ASSESSED

New Architecture of Sanyo Sanin Region 30

SPECIAL FEATURES ON REPORT FROM SANYO SANIN REGION

Designer

[1] Wide Range Living Sphere

Chugoku Region Wide Range Living Concept ..... 46 — by *S. Sato*
Conception of Centering Chugoku Region Central Administration City ..... 48 — by *N. Ishimaru*

[2] Shinkansen Railway and Traverse Highway

Planning of Sanyo Shinkansen Railroad and Chugoku Traverse Highway ..... 53 — by *H. Monden*
Sanyo Shinkansen Railroad and Chugoku Traverse Highway in Chugoku Region Development ..... 57 — by *R. Mogi*

COLUMN OF ENGINEERING

100. Mortar Pump and Spraying ..... 61 — by *M.Kosimoto & S.kataguchi*
History of Postwar Architects and Engineers Movement —5— ..... 65 — by *NAC*
A Design Survey in Kyoto (15) ..... 69 — by *UDO*
Redevelopment of Expo '70 Site (12) ..... 77 — by *TEAM BARK*

BULLETIN 9, 79



海外写真 *ITALIA FANTASIA* Andante maestoso

写真と文　吉井孝治

フオーロ・ロマーノ(ローマ)：フオーロ・ロマーノも横にそれると日中でもひっそりしている。その昔栄耀栄華を誇ったローマ帝国の中心も、今は雑草が生え、遺跡となって野良猫が住んで御座る。イタリア原産の「黒ネコのタンゴ」も、ひよっとすると亡きロマーノの心の声なのかも知れない。変則のイタリア幻想曲は、アンダンテ・マエストーソ(Maestoso)でフィナーレとなる。

山陽・山陰の新建築

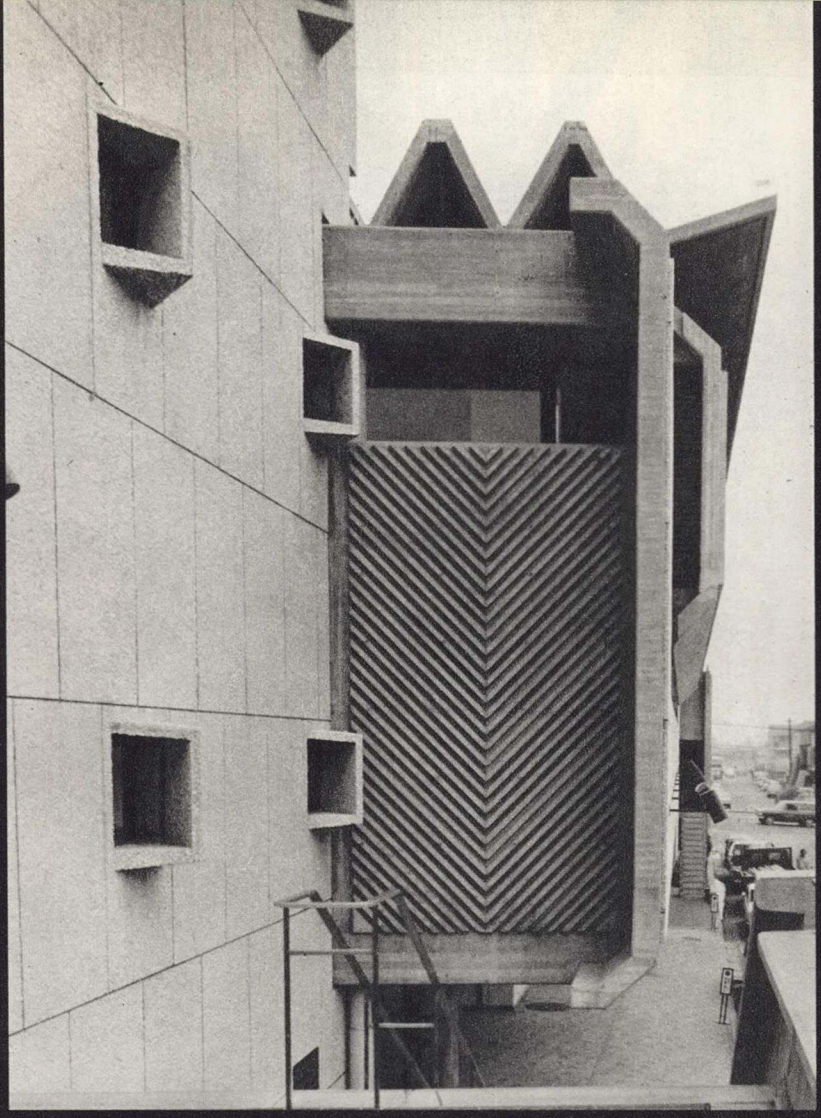


去る10月の初旬から中旬にかけて、作品作風小委員会のメンバーは、4班に分れて、それぞれ、3～4日間にわたって、山陽・山陰の岡山、広島、山口、島根、鳥取の各県下の最近1・2年間に竣工した新建築を調査して廻った。今回のこの「山陽・山陰の新建築」調査は、以前の「四国の新建築」調査（昭和42年10月号）、「東海の新建築」調査（昭和44年3月号）、および「九州の新建築」調査（昭和44年12月号）につづく第4回目の試みである。

あらかじめ、関係者にあたってリストアップした新建築の資料をもとに、調査した新建築数は約150点におよんだが、そのうち約70点を選んでここに紹介することとした。予算と紙面の都合上、最近の本誌に紹介された作品は省いたりなどして、ずいぶん制約された掲載の仕方しかできなかったのは残念であるが、山陽・山陰の最近の新建築の一応の傾向は知ることができよう。もとより調査もれの優秀な新建築があるかも知れないが、この点はご了承ねがいたい。写真は、委員が撮影してきたものと関係者より提供のものとを使用した。

この企画ならびに調査にあたって、中国各県下の官公庁、設計事務所、建設会社などのご協力をえたことを感謝します。

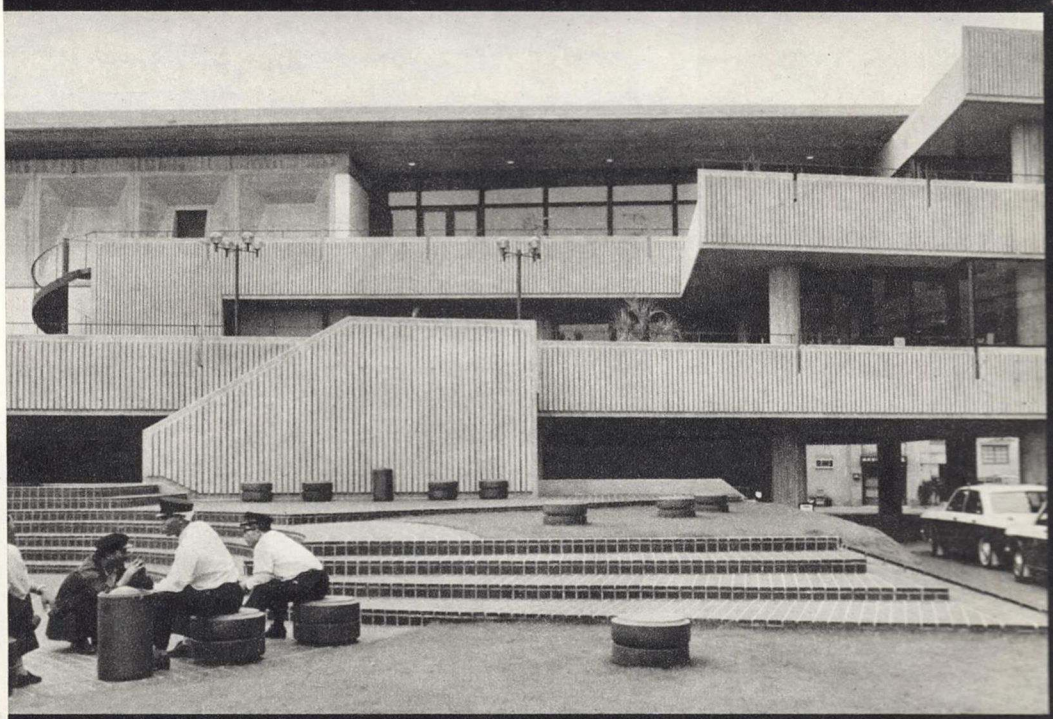
作品作風小委員会メンバー（順不同）：近藤繁・青木亮・橋本健治・尾崎勝弘・平内祥央・永井一彦・伊藤誠三・小島孜・小沢信嘉・藤沢隆・川上昌男



西面詳細

広島医師会館

設計　KK日建設計
施工　KK藤田組

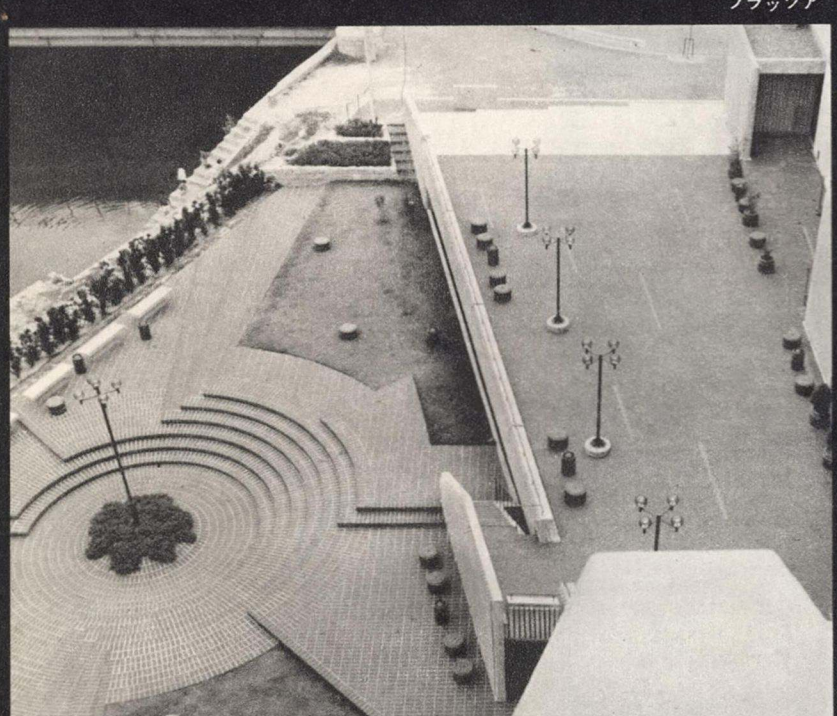


プラッツアより会議棟をみる

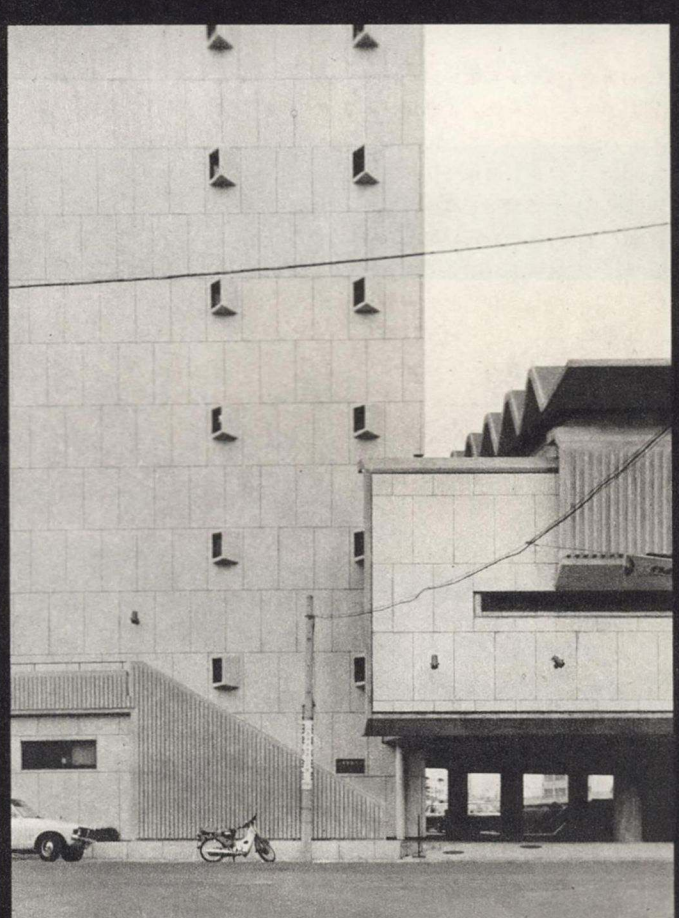


所 在 地：広島市観音町
建築面積：2,169.82m²
延 面 積：7,130.60m²
構造規模：ＲＣ造、６Ｆ、ＰＨ２
工　　期：昭和43年７月～昭和44年６月
外　　壁：擬石ブロック貼・コンクリート打放し仕上
プラッツア：炻器タイル貼

プラッツア



西面詳細

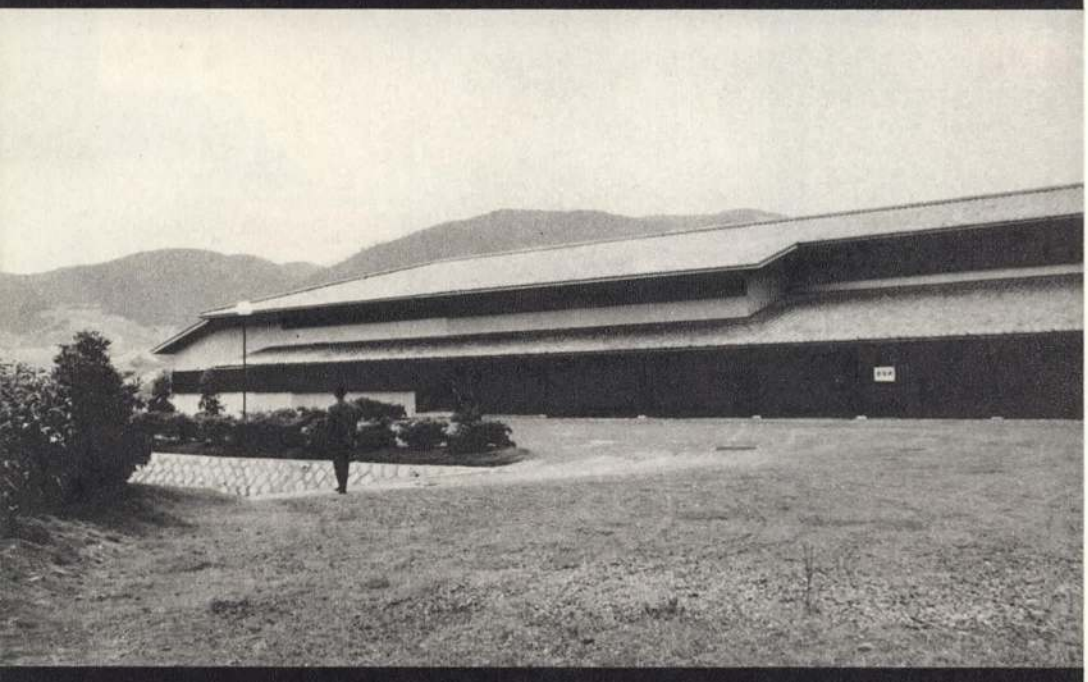












開径寮
化成水島宿泊所

設計施工　ＫＫ竹中工務店

所 在 地：岡山県倉敷市福田町広江2300
構　　造：ＲＣ造
階　　数：Ｂ１、２Ｆ
面　　積：Ｂ１－280.86m²
　　１Ｆ－586.28m²
　　２Ｆ－426.77m²
　　（計1,293.91m²）
建築面積：760.41m²
外部仕上：屋根－日本瓦葺
　　外壁－リシン掻落し
設　　備：電気、給排水、衛生、ガス、
　　一部冷房　設備各一式
主 要 室：ロビー、食堂、娯楽室
　　宿泊室｛和室－20室
　　　　洋室－ 7室
　　ほか、従業員室、厨房、浴室、
　　便所　等
工　　期：第１期－昭和39年６月30日
　　竣　工（≒900m²）
　　第２期－昭和45年６月30日
　　竣　工（≒393m²）

太陽電機工業事務所

設計施工　ＫＫ竹中工務店

所 在 地：倉敷市玉島乙島7471
建築面積：307.12m²
延 面 積：868.80m²
構造規模：ＲＣ造、３Ｆ、ＰＨ１
工　　期：昭和44年６月～昭和45年２月



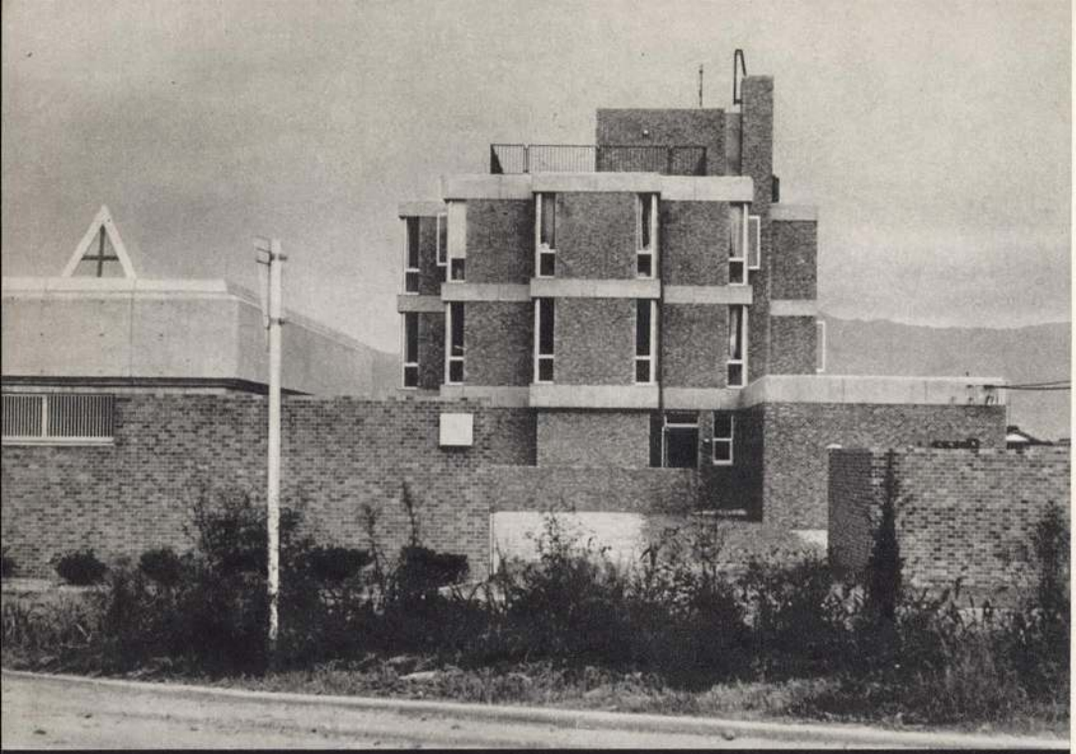
福屋商品センター

設計　ＫＫ日建設計
施工　ＫＫ藤田組

所 在 地：広島市観音町
建築面積：1,184.14m²
延 面 積：5,715.65m²
構造規模：ＲＣ造、Ｂ１、４Ｆ
工　　期：昭和44年５月～昭和45年１月











イエズス会学生センター

設計施工　清水建設ＫＫ

所 在 地：山口市大字平井字上丁田
建築面積：347.86m²
延 面 積：639.31m²
構造規模：ＲＣ造、３Ｆ、２棟
工　　期：昭和44年９月～昭和45年３月

萩市民会館

設計　菊竹清訓建築設計事務所

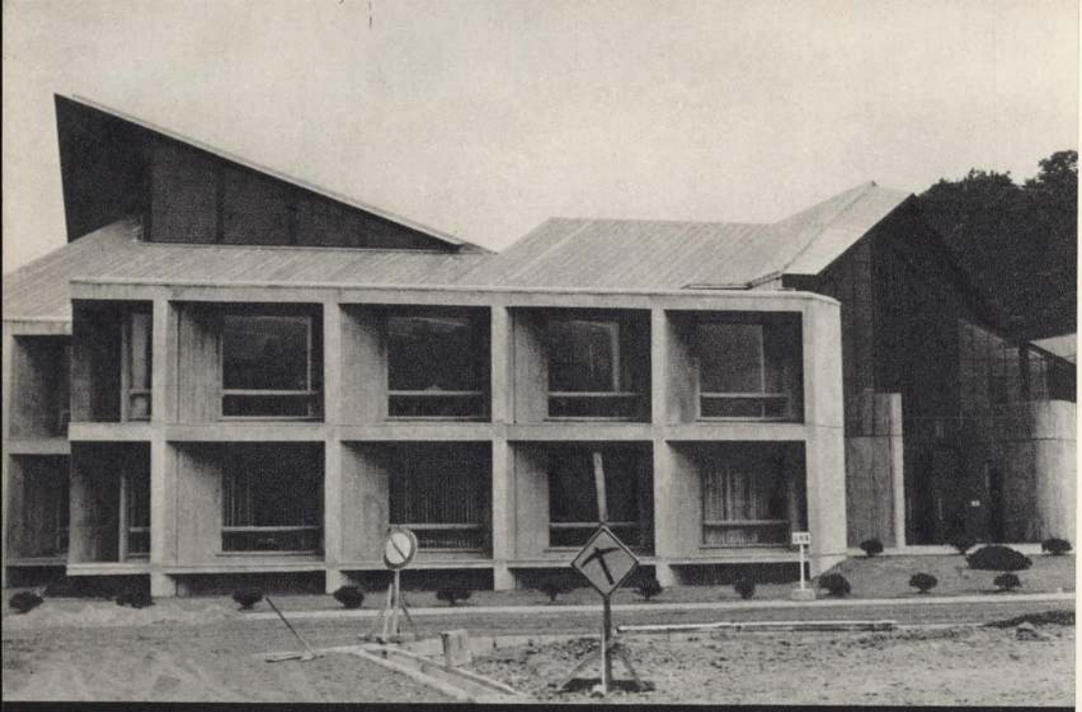
施工　ＫＫ奥村組

所 在 地：萩市江向532－１
建築面積：3,468m²
延 面 積：3,797m²
構造規模：ＲＣ造、屋根Ｓ造、Ｂ１、２Ｆ
工　　期：昭和42年９月～昭和43年９月
写真撮影：村井　修





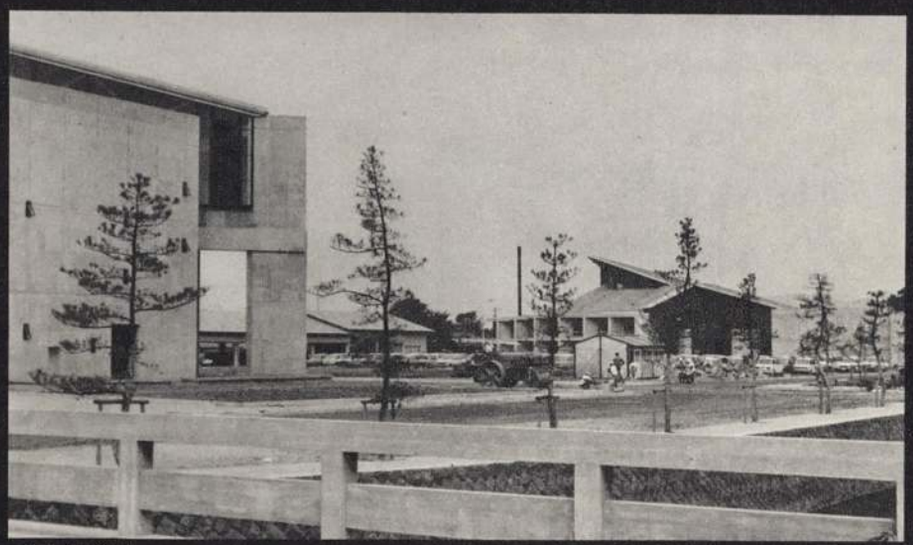




島根県立図書館

設計　菊竹清訓建築設計事務所
施工　ＫＫ竹中工務店

所 在 地：松江市中原町153 お花畑
建築面積：2,049m²
延 面 積：3,682m²
構造規模：ＲＣ造、屋根Ｓ造、２Ｆ
工　　期：昭和42年10月～昭和43年９月



左：武道館　　右：図書館



島根県立武道館

設計　菊竹清訓建築設計事務所
施工　ＫＫ竹中工務店

所 在 地：松江市中原町153 お花畑
建築面積：1,835.51m²
延 面 積：3,564.45m²
構造規模：ＲＣ造、屋根Ｓ造、２Ｆ
工　　期：昭和44年６月～昭和45年７月

A．岡山刑務所

設　　計　石本建築事務所、法務省監理官室
施　　工　戸田建設ＫＫ　ＫＫ藤田組
所 在 地　岡山市牟佐765
建築面積　2,0433.06㎡
構造規模　ＲＣ造
工　　期　昭和43年４月～昭和44年11月

B．日新火災海上ＫＫ岡山営業所

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　岡山市富田町２－13－９
建築面積　114.53㎡
延 面 積　224.55㎡
構造規模　ＲＣ造、２Ｆ
工　　期　昭和44年３月～昭和44年９月

C．ＫＫ天満屋岡山店

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　岡山市下之町77
建築面積　2,486.92㎡
延 面 積　21,742.00㎡
構造面積　ＲＣ造、７Ｆ
工　　期　昭和43年２月～昭和44年９月

D．岡山明治生命ビルディング

設計施工　ＫＫ竹中工務店・
　　ＫＫ松本組共同企業体
所 在 地　岡山市駅前町１丁目９－15
建築面積　197.89㎡
延 面 積　1,960.73㎡
構造規模　ＳＲＣ造、Ｂ２、８Ｆ
工　　期　昭和43年７月～昭和45年２月

E．玉島信用金庫

設　　計　梓建築事務所
施　　工　大本組ＫＫ
所 在 地　倉敷市玉島阿賀崎
建築面積　653.34㎡
延 面 積　2,766.04㎡
構造規模　ＳＲＣ造、５Ｆ
工　　期　昭和43年10月～昭和44年10月

F．日本ゼオンＫＫ水島工場事務所・試験室棟

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　倉敷市児島塩生
建築面積　624.69 ㎡
延 面 積　1,210.50㎡
構造規模　ＲＣ造、２Ｆ
工　　期　昭和43年10月～昭和44年７月

G．重井病院

設　　計　藤木建築事務所
施　　工　藤木工務店ＫＫ
所 在 地　倉敷市幸町２－30
建築面積　1,246.21㎡
延 面 積　4,659.66㎡
構造規模　ＲＣ造、６Ｆ、ＰＨ２
工　　期　昭和44年６月～昭和45年５月

H．日本生命倉敷ビル

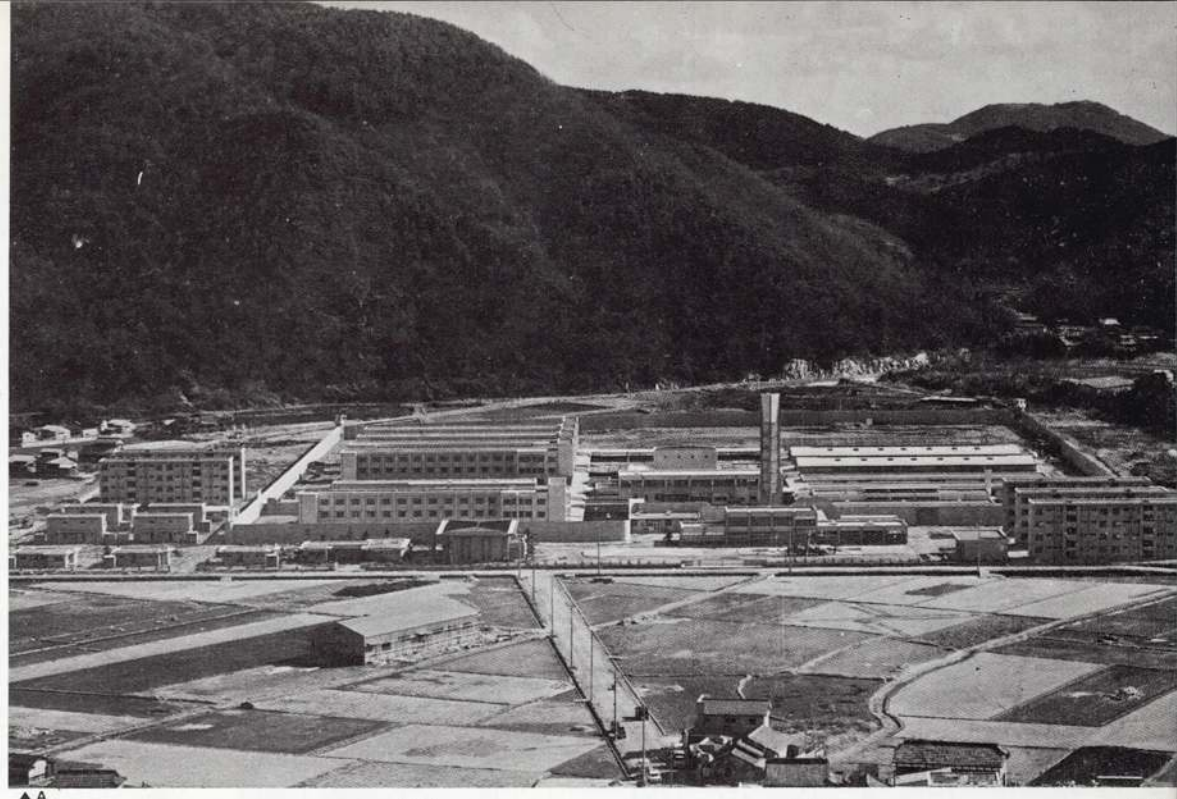
設　　計　日本生命保険相互会社　ＫＫ大林組
施　　工　ＫＫ大林組
所 在 地　倉敷市老松町３丁目10－25
建築面積　555.54㎡
延 面 積　2,899.64㎡
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１、４Ｆ
工　　期　昭和44年５月～昭和45年４月

I．日本生命保険(相)広島第２ビル

設　　計　安井建築設計事務所
施　　工　鹿島建設ＫＫ
所 在 地　広島市八丁堀16番11号
建築面積　1,365.71㎡
延 面 積　14,089.29㎡
構造規模　ＳＲＣ造、Ｂ１、９Ｆ、ＰＨ３
工　　期　昭和43年11月～昭和45年７月

J．新見市立思誠小学校

設　　計　牛岡建築設計事務所
施　　工　杉岡建設ＫＫ
所 在 地　新見市新見1970の１
建築面積　268.50㎡
延 面 積　1,211.0㎡
構造規模　ＲＣ造、４Ｆ
工　　期　昭和44年７月～昭和45年３月



▲A



▼B



▼C



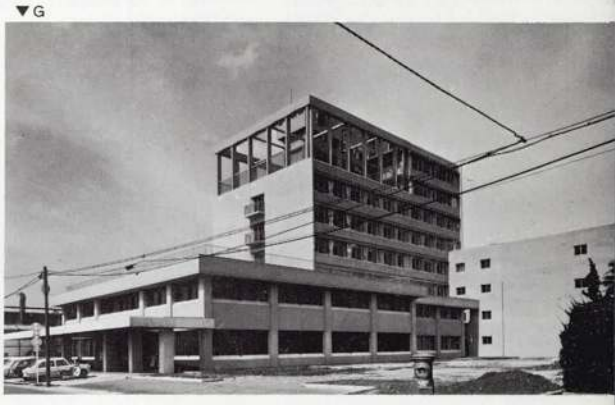
▼D



▼E



▼F



▼G



▼H



▼I



▼J

〈岡山県〉

（岡山市・倉敷市・新見市）



▲A



▲B



▲C



▲D

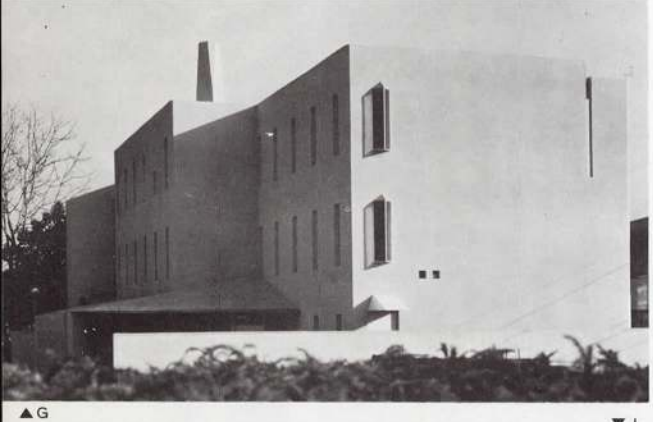


▲E



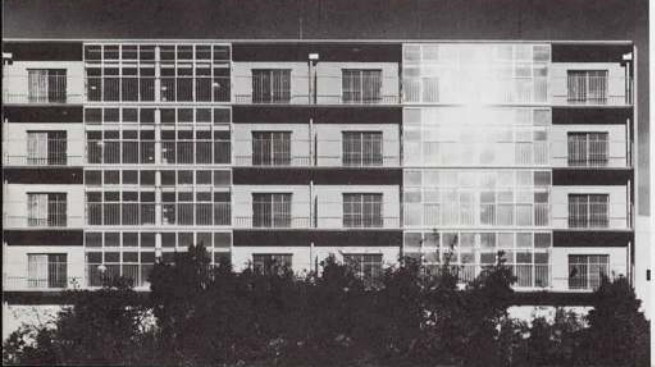
▲F

▼H



▲G

▼I





A．KK天満屋広島店牛田独身寮

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　広島市牛田早稲田区888
建築面積　388.92m²
延 面 積　1,239.43m²
構造規模　ＲＣ造、４Ｆ
工　　期　昭和42年11月～昭和43年４月

B．親和銀行広島支店

設計施計　ＫＫ日建設計
施　　工　鹿島建設ＫＫ
所 在 地　広島市平塚町
建築面積　447.65m²
延 面 積　936.97m²
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ
工　　期　昭和44年６月～昭和45年１月

C．中国新聞社

設　　計　村田相互設計事務所
施　　工　鹿島建設ＫＫ
所 在 地　広島市土橋町
建築面積　2,023.70m²
延 面 積　20,812.17m²
構造規模　ＳＲＣ造、Ｂ２、９Ｆ、ＰＨ２
工　　期　昭和43年４月～昭和44年９月

D．KK三菱銀行広島支店牛田アパート

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　広島市牛田町字新山２－44・45
建築面積　115.38m²
延 面 積　405.99m²
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１、３Ｆ
工　　期　昭和44年８月～昭和45年２月

E．住友生命ビル

設　　計　ＫＫ日建設計
施　　工　戸田建設ＫＫ
所 在 地　広島市松川町
建築面積　1,232.76m²
延 面 積　13,553.96m²
構造規模　ＳＲＣ造、Ｂ２、13Ｆ
工　　期　昭和43年４月～昭和45年５月

F．戒善寺

設　　計　幸建築設計事務所
施　　工　ＫＫ大林組
所 在 地　広島市小町
建築面積　646.32m²
延 面 積　1,200.95m²
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ
工　　期　昭和44年２月～昭和44年９月

G．KK日本長期信用銀行広島支店独身寮

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　広島市二葉の里８－16
建築面積　276.50m²
延 面 積　817.74m²
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ
工　　期　昭和44年７月～昭和45年１月

H．第百生命

設　　計　高木建築設計事務所
施　　工　鹿島建設ＫＫ
所 在 地　広島市東平塚町
建築面積　289.32m²
延 面 積　3,230.59m²
構造規模　ＳＲＣ造、Ｂ２、９Ｆ、ＰＨ３
工　　期　昭和43年８月～昭和44年10月

I．KK長崎塗装店家族寮

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　広島市己斐町762－36
建築面積　249.69m²
延 面 積　998.73m²
構造規模　ＲＣ造、４Ｆ
工　　期　昭和44年６月～昭和44年11月

〈広島県〉
（広島市）

J．広島県立美術館

設　　計　河内義就設計事務所、村田総合設計事務所、白土設計事務所、広島県営繕部
施　　工　KK藤田組
所 在 地　広島市上幟町2番22号
建築面積　1,251.9m²
延 面 積　4,251.98m²
構造規模　RC造、B1、3F
工　　期　昭和41年12月～昭和43年3月

K．広島市外電話局

設　　計　日本電信電話公社、野生司建築設計事務所、鳳建築事務所
施　　工　KK大林組
所 在 地　広島市基町1丁目
建築面積　1,311.642m²
延 面 積　7,500.033m²
構造規模　SRC造、B1、6F、PH2
工　　期　昭和43年9月～昭和45年6月

L．小松屋ビル

設計施工　KK竹中工務店
所 在 地　広島市堀川町4－17
建築面積　245.37m²
延 面 積　2,255.99m²
構造規模　SRC造、B1、8F、PH1
工　　期　昭和43年2月～昭和43年11月

M．農協ビル

設　　計　大旗連合建築設計事務所
施　　工　清水建設KK
所 在 地　広島市大手町4丁目
建築面積　308.06m²
延 面 積　3,166.69m²
構造規模　S造耐火被覆、B1、10F
工　　期　昭和44年4月～昭和45年3月

N．日産サニー広島販売KK本社

設計施工　大成建設KK
所 在 地　広島市皆実町1丁目
建築面積　862.085m²
延 面 積　2,526.570m²
構造規模　RC造、4F
工　　期　昭和44年9月～昭和45年4月

O．広島港湾合同庁舎

設　　計　中国地方建設局
施　　工　KK銭高組
所 在 地　広島市宇品海岸3－10
建築面積　1,400m²
延 面 積　9,857m²
構造規模　SRC造、B1、7F、PH付
工　　期　昭和43年9月～昭和45年3月

P．基町地区再開発施設

設　　計　大高建築設計事務所
施　　工　KK熊谷組
所 在 地　広島市基町
構造規模　SRC造、13～18F
住　　宅　約3,000戸
施　　設　小学校、幼稚園、保育園、商店、医院、消防分署、郵便局、派出所、集会所、その他
工　　期　昭和43年～昭和48年

Q．日本専売公社広島地方局事務所

設　　計　KK日建設計
施　　工　戸田建設KK
所 在 地　広島市宝町5－37
延 面 積　576.742m²
構造規模　RC造、B1、5F、PH2
工　　期　昭和42年12月～昭和43年11月

（広島市）



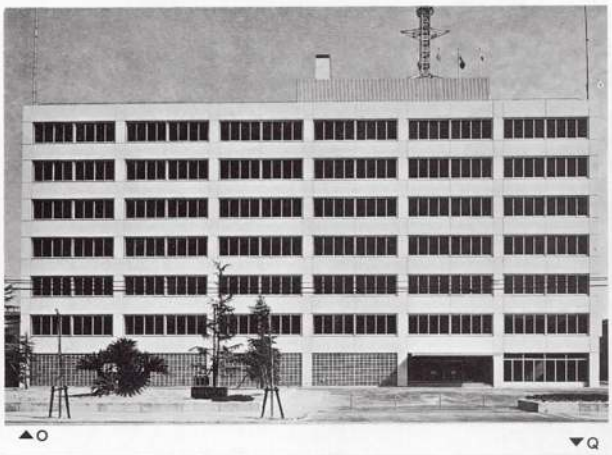
▲J


▲K


▼L


▼M


▼N


▲O


▼Q


▼P





▲R



▲S



▲T



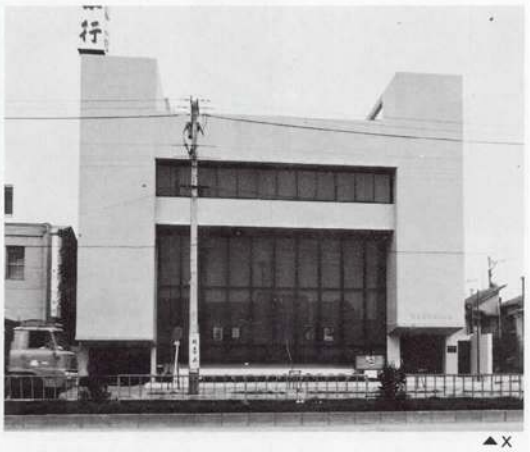
▲V



▲U



▲W



▲X

▼Y



R．広島商船高等専門学校校舎・寄宿舎

設　計　中電技術コンサルタント
施　工　ＫＫ銭高組
所在地　広島県豊田郡東野町
建築面積　校舎 252m²、寄宿舎 1,084m²
延面積　校舎 1,260m²、寄宿舎 4,376m²
構造規模　ＲＣ造、校舎５Ｆ、寄宿舎４Ｆ
工　期　昭和44年４月～昭和45年３月

S．向島町中央公民館

設　計　杉原設計事務所
施　工　村上義輝
所在地　広島県御調郡向島町5214の３
建築面積　441.7m²
延面積　1,941.7m²
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１、３Ｆ
工　期　昭和44年８月～昭和45年３月

T．安芸府中郵便局庁舎

設　計　広島郵政局
施　工　ＫＫ銭高組
所在地　広島県安芸郡府中町字永田4303
建築面積　697.12m²
延面積　1,394.25m²
構造規模　ＲＣ造、２Ｆ、ＰＨ付
工　期　昭和44年３月～昭和45年１月

U．日本勧業銀行

設計施工　清水建設ＫＫ
所在地　福山市延広町１－30
建築面積　687.167m²
延面積　1,396.717m²
構造規模　ＲＣ造、２Ｆ、ＰＨ２Ｆ
工　期　昭和43年８月～昭和44年８月

V．広相ビル

設　計　ＫＫ日建設計
施　工　清水建設ＫＫ
所在地　福山市延広町１－28
建築面積　638.23m²
延面積　2,871.23m²
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１、５Ｆ、エレベータ塔７Ｆ
工　期　昭和42年６月～昭和43年５月

W．ＫＫ広銀ビル

設　計　ＫＫ日建設計
施　工　ＫＫ竹中工務店
所在地　福山市霞町１－１－１
建築面積　1,545m²
延面積　10,739m²
構造規模　ＳＲＣ造、Ｂ１、８Ｆ、ＰＨ３
工　期　昭和44年３月～昭和45年10月

X．伊豫銀行福山支店

設　計　ＫＫ日建設計
施　工　戸田建設ＫＫ
所在地　福山市船町７－26
建築面積　428.67m²
延面積　1,564.429m²
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１、３Ｆ、ＰＨ付
工　期　昭和44年10月～昭和45年４月

Y．福山グランドホテル

設　計　ＫＫ久米建築事務所
施　工　ＫＫ青木建設
所在地　福山市西町２－７
建築面積　2,846.73m²
延面積　8,809m²
構造規模　ＲＣ造一部Ｓ造、Ｂ１、４Ｆ、ＰＨ３
工　期　昭和43年12月～昭和44年10月

〈広島県〉

（豊田郡　御調郡　安芸郡　福山市）

A．徳山市勤労福祉センター
（徳山市勤労青少年ホーム併設）

設　　計　末次設計事務所
施　　工　ＫＫ篠 田 組
所 在 地　山口県徳山市岐山通２丁目10番地
建築面積　641.72㎡
延 面 積　2,289.79㎡
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１、５Ｆ一部７Ｆ
工　　期　昭和44年３月～昭和45年６月

B．徳山ソーダ文化体育館

設計施工　ＫＫ藤 田 組
所 在 地　徳山市大和田徳山8355
建築面積　1,301.512㎡
延 面 積　1,778.4875㎡
構造規模　ＲＣ造一部Ｓ造、２Ｆ
工　　期　昭和42年４月～昭和43年12月

C．宇部カントリークラブハウス

設計施工　大成建設ＫＫ
所 在 地　山口県吉敷郡阿知須町
建築面積　2,380.00㎡
延 面 積　5,433.07㎡
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１、３Ｆ
工　　期　昭和43年６月～昭和44年６月

D．育成学校

設　　計　かおる建築研究所
施　　工　鴻城土建工業ＫＫ
所 在 地　山口市大内御堀
建築面積　520.73㎡
延 面 積　1,060.13㎡
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ
工　　期　昭和44年11月～昭和45年３月

E．テレビ山口ＫＫ

設計施工　大成建設ＫＫ
所 在 地　山口県山口市大字大内御堀字大野地
建築面積　1,723.544㎡
延 面 積　2,771.452㎡　2,771.452㎡
構造規模　ＲＣ造、２Ｆ
工　　期　昭和44年７月～昭和45年２月

F．宇部石炭記念館

設計施工　大成建設ＫＫ
所 在 地　山口県宇部市常盤公園内
建築面積　440.32㎡
延 面 積　805.43㎡
構造規模　ＲＣ造、２Ｆ、タワーＳ造
工　　期　昭和44年３月～昭和44年９月

G．宇部空港

設　　計　内藤建築事務所
施　　工　ＫＫ大 林 組
所 在 地　宇部市大字沖宇部625
建築面積　719.73㎡
延 面 積　1,740㎡
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１、２Ｆ
工　　期　昭和40年９月～昭和41年３月

H．岩国商工会館

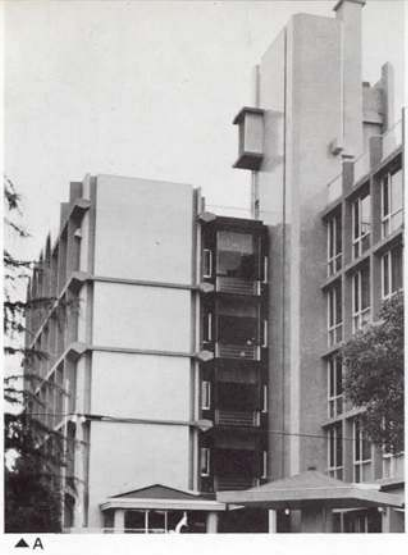
設　　計　松重建築設計事務所
施　　工　ＫＫ藤 田 組
所 在 地　岩国市今津町１丁目
延 面 積　2,021.94㎡
構造規模　ＲＣ造、４Ｆ、ＰＨ３
工　　期　昭和44年11月～昭和45年５月

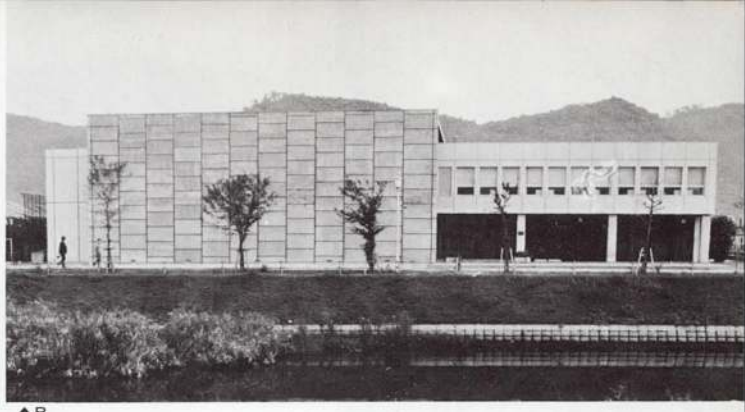
I．日本専売公社・防府原料工場

設　　計　ＫＫ構造研究所
施　　工　ＫＫ大 林 組
所 在 地　防府市大字新田字築地
延 面 積　19,215㎡
構造規模　ＲＣ造２Ｆ、Ｓ造１Ｆ，２棟
工　　期　昭和43年３月～昭和44年２月

〈山口県〉

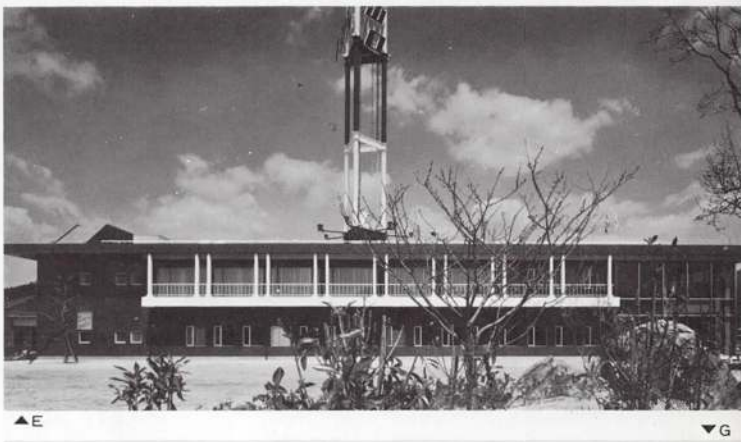
（徳山市　山口市　宇部市　岩国市　防府市
吉敷郡）


▲A


▲B


▲C


▲D

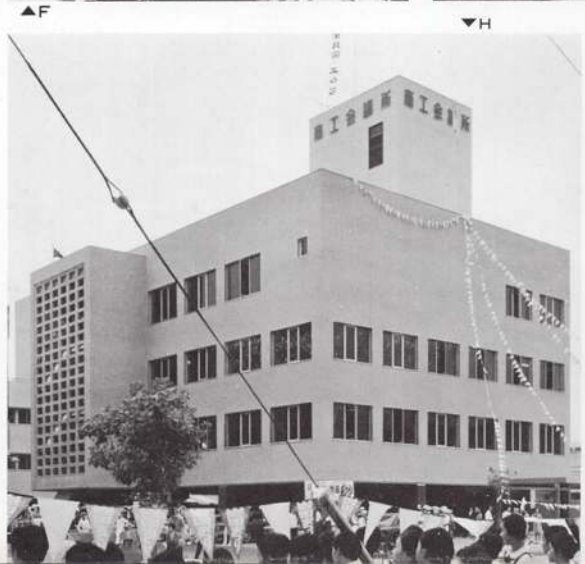

▲E


▲F

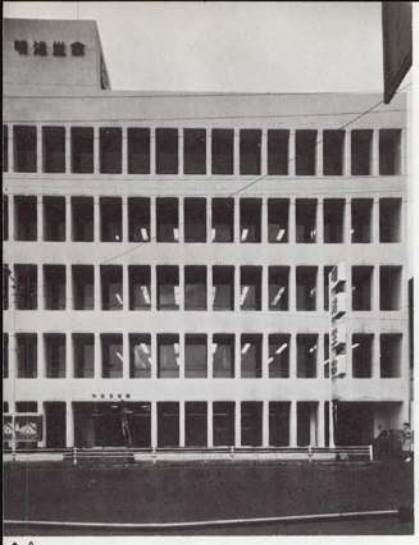

▼G

▼H

▼I







▲A



▲B



▲C



▲D



▲E



▲F

▼G

▼H





A．松江明治生命館

設計施工　ＫＫ竹中工務店
所 在 地　松江市朝日町478－８
建築面積　632.07㎡
延 面 積　2,479.24㎡
構造規模　ＲＣ造、５Ｆ、ＰＨ１
工　　期　昭和42年11月～昭和44年１月

B．島根県民会館

設　　計　安田臣建築設計事務所
施　　工　ＫＫ鴻 池 組
所 在 地　松江市殿町158
建築面積　5,661㎡
延 面 積　12,314㎡
構造規模　ＲＣ造　Ｓ造、Ｂ１、４Ｆ
工　　期　昭和41年11月～昭和43年９月

C．松の湯ホテル

設　　計　ＫＫ日本観光設計事務所
施　　工　ＫＫ藤 田 組
所 在 地　島根県八束郡玉湯町字玉造
延 面 積　5,147㎡
構造規模　ＲＣ造、６Ｆ
工　　期　昭和44年８月～昭和45年３月

D．朝日生命松江支社

設計施工　清水建設ＫＫ
所 在 地　松江市殿町38－１
建築面積　424.88㎡
延 面 積　2,060.917㎡
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１、５Ｆ、ＰＨ１
工　　期　昭和42年10月～昭和43年３月

E．山陰合同銀行事務センター

設　　計　ＫＫ日建設計
施　　工　ＫＫ大 林 組
所 在 地　松江市湯本町18
延 面 積　2,299㎡
構造規模　ＲＣ造、６Ｆ
工　　期　昭和44年８月～昭和45年６月

F．松江市青年センター

設　　計　島根県設計管理事務所
施　　工　ＫＫ植 尾 組
所 在 地　松江市灘町223－１
延 面 積　1,983㎡
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１、３Ｆ
工　　期　昭和43年12月～昭和44年５月

G．鳥取県漁連会館

設　　計　桑本設計事務所
施　　工　山本工業ＫＫ
所 在 地　鳥取市
建築面積　677.41㎡
延 面 積　1,332.50㎡
構造規模　ＲＣ造、４Ｆ
工　　期　昭和43年９月～昭和44年５月

H．ＫＫドゴス文化会館

設　　計　山本浩三、竹内皓、糸尾一郎
施　　工　多田建設ＫＫ
所 在 地　鳥取市若桜町39
建築面積　318.75㎡
延 面 積　950㎡
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ
工　　期　昭和44年２月～昭和44年９月

〈島根県　鳥取県〉

（松江市　八束郡　鳥取市）

A．大山ゴルフクラブハウス

設　　計　大阪建築事務所
施　　工　西松建設ＫＫ
所 在 地　鳥取県西伯郡岸本町
建築面積　1,623.5m²
延 面 積　1,992.0m²
構造規模　Ｓ造、１Ｆ
工　　期　昭和43年11月～昭和44年10月

B．鳥取銀行米子支店

設　　計　桑本設計事務所
施　　工　ＫＫ鴻 池 組
所 在 地　米子市
建築面積　567 m²
延 面 積　1,315.38m²
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ
工　　期　昭和43年11月～昭和44年５月

C．山陰合同銀行皆生通支店

設計施工　清水建設ＫＫ
所 在 地　米子市西福原586－８
建築面積　273.92m²
延 面 積　491.12m²
構造規模　Ｓ造、２Ｆ
工　　期　昭和42年11月～昭和43年３月

D．米子信用金庫

設　　計　ＫＫ日建設計
施　　工　ＫＫ大 林 組
所 在 地　米子市
建築面積　1,533.82m²
延 面 積　4,575.89m²
構造規模　ＲＣ造、Ｂ１、５Ｆ
工　　期　昭和43年７月～昭和44年９月

E．ホテルビラ大山

設計施工　大成建設ＫＫ
所 在 地　鳥取県日野郡溝口町大字桝水
建築面積　701.10m²
延 面 積　2,205.55m²
構造規模　ＲＣ造、４Ｆ
工　　期　昭和44年９月～昭和45年８月

F．網代漁業協同組合事務所

設　　計　白兎設計事務所
施　　工　岩見工務店
所 在 地　鳥取県岩美郡網代
建築面積　506m²
延 面 積　1,290m²
構造規模　ＲＣ造、２Ｆ
工　　期　昭和43年９月～昭和43年11月

G．田後漁業協同組合事務所

設　＊計　白兎建築事務所
施　　工　樋口工務店
所 在 地　鳥取県岩美郡田後
建築面積　464m²
延 面 積　1,140m²
構造規模　ＲＣ造、３Ｆ
工　　期　昭和44年７月～昭和45年３月

〈鳥取県〉

（西伯郡　米子市　日野郡　岩美郡）



▲A

▼C



▲B



▼E



▲D



▼F

▼G





感想：山陽・山陰の新建築を見て廻って

●今般、作品作風小委員会の皆さんで、中国地方の山陽・山陰の新建築を調査してこられたわけですが、現地をみた感想についてお話し下さい。

――岡山県は、あまりよい作品にはお目にかかれなかったが、倉敷では昔の街並を大事にしており、民芸館など蔵を利用して、民芸品を集め、大事にしていることなど好感がもてた。福山は発展しそうな活気のある町だ。しかし、水島・玉島工場地に勤めている人はこのあたりは工場地帯で、ショッピングセンターがないとこぼしていた。岡山から市外へいくと、民家の藁葺が鉄板の屋根にかわっているけれど、もとの形を残していて、よくマッチしていたのは印象的だ。

――広島市内はもっと建築されるべき敷地があり、おそらく新幹線建設後、活発に建設されるだろうと感じた。通りは割合と緑が多く、道路も広く、いい町だと感じた。しかし都心を離れると道路事情は悪い。丘陵地の宅地開発はまずい。事故が起りそうな気がする。岩国では、ちょうど岩国祭があって小学生から町内の婦人会まで動員されて、オンパレードをしていて面白かった。基地の町らしく、米軍の吹奏隊もでていた。しかし、デザインは小細工しすぎで、期待していたほどのことはなかった。呉線廻りで、呉、竹原、尾道へもいったが、全般的にデザインはあかぬけしていないと感じた。

――山口は、福祉厚生施設が充実していて、これは意外だった。質はともかくとして、よく手が廻っている。徳山は意外にきれいな町で、起伏があり、市街地の方はシビックゾーン・公民館がかたまっているし、学校建築も造形上すぐれていると感じた。萩では古い武家屋敷の町並の良さを大切にしていったらよいと思う。しかし、新建築が萩の町並をこわしているのにいきどおりを感じる。

――島根・鳥取県では、気候・地形・位置の影響が強い。新建築に関していえば、山陰のなかで松江以外は駄目で、これは人口も公共投資も松江に集中しているせいだろう。鳥取では、県庁舎・市庁舎が建物のレベルアップをしているが、それが逆に全体のレベルの足を引っぱっている感じで、民間資本の投資が少ないこともあって、民間建築にあまりよいものがない。

――山陰では、中国縦貫道路が通ってもその影響はおそい。過疎の典型をみる思いだった。鳥取県は鳥取と米子で二分されている感じで、米子は松江の影響をうけているようだが、全般的に過疎で活動を感じさせない。

――出雲で菊竹作品をみたが、スケールが大きくて、おおらかな迫力があった。コケむしており、鳥も住んでおり、コンクリートの良さがでていた。古くなっても良くなっていく作品だ。萩市民会館も1月に5、6回しか使わないらしいが、時間の中で生きつづける建築の良さがにじみでていた。

――出雲大社の駅や山口大学は良かった。山口県の小学校はどこもバルコニーが付いていて、これも良かった。

――どこも文化会館は使われ方に苦労している。どういう風に企画したらよいか苦しんでいるようだ。新産業都市・中海（松江と鳥取の中間）では変っていくだろうが、その変り方が問題だ。中国縦貫道路ができても発展しそうにない。観光資源でも眺めとしてはとくに良いという程でもないし……。

――昔の古い建物は生活の構造からはみでたものが少ないのに、新しい建築は生活の構造からはみでているものが多い。これは建築界に責任があるように思う。そういったデザインの悪い例も並べて紹介したらどうか。風土との関係がわかる町並もここへ並べたらよいと思う。

●いろいろとありがとうございました。今回は、四国・東海・九州につづいて第4回目の調査ですが、次回は、北陸あたりでも調査するか、また可能ならば、角度をかえた調査をしたいと思います。


倉敷町並


広島平和公園


鳥取にて


岡山美術館


萩にて


皆生某ホテル

特集：山陽・山陰からの報告

1広域生活圏
中国地方広域生活圏構想／**佐藤重夫**
中国地方中枢管理都市を中心とした構想／**石丸紀興**
2新幹線と縦貫道路
山陽新幹線と中国縦貫道路計画／**門田博知**
中国地方開発における山陽新幹線および中国縦貫道／**茂木六郎**

昔から、とくに関西人に親しまれ、なじみの深い山陽と山陰というふるさとの姿は、今後どのように開発され、変貌していくのであろうか。

新全国総合開発計画でいうところの広島圏構想、あるいは中国地方の広域生活圏の将来のあり方は、おそらく首都圏、近畿圏構想とはまたちがったものと推察されよう。

加えるに、山陽新幹線、中国縦貫道路が建設され、瀬戸内海航路や、四国圏への架構橋もつくられ、次第に交通網のネットワークが形成されてくるにしたがって、山陽・山陰地方に及ぼす影響はまことに大きなものがあろう。開発利益にともなうプラスの面もあろうし、公害問題というマイナスの面も発生するだろう。

中国5県の山陽・山陰は、いまや大きく変ろうとしている。これを探ろうとしたのが本号のテーマである。

中国地方広域生活圏構想

佐藤重夫

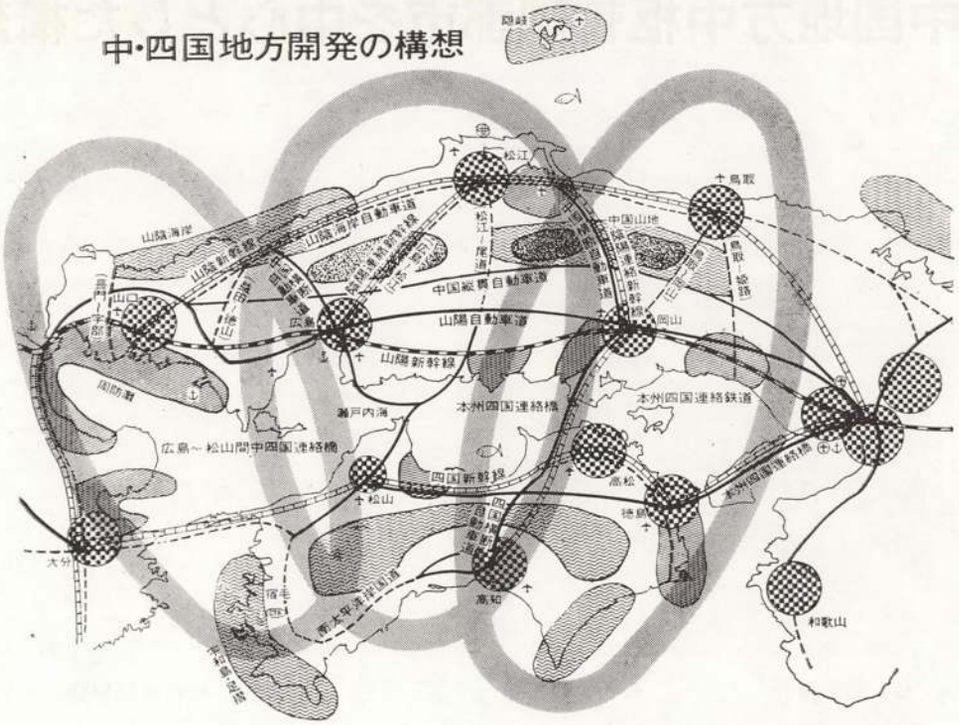
すでに昭和37年に策定された全国総合開発計画以来，広域生活圏としての中国地方は，いまや山陽新幹線と中国縦貫道とによって，いよいよ昭和44年の新全国総合開発計画第4次試案の線に概略は沿いながら，めまぐるしいまでの変転を起こしつつある。それは精神的にも文化的にも，はたまたそれ以上に外見的に，物質的にも揺れ動きながら，一部には効果をもたらしつつ，一部にはすでに欠陥をも見せ始めてきているといわねばならない。中国地方の5県は，早くより四国地方をも含めての，いわゆる広域2次圏としての構想を見おとしていたわけではない。それは中，四国地方を東西に貫ぬく中国山脈と四国山脈，そうして最も著しい特徴である瀬戸内海という三つの地形条件による，山陰，瀬戸内海とその沿岸地域，そうして太平洋岸という特徴の著しさの，調和ある纏め方の構想であり，それより発想するところの，この中，四国地方を南北に結び合わす交通整備計画による地方圏構想であった。そうしてそれは首都圏，近畿圏，中部圏に対して，全国的にも取り上げられる2次広域生活圏（ブロック圏）であった。しかもそれはいち早く三つの瀬戸内海の架橋計画となって，華々しい開発問題になっていった。

またこれより少し身近かの生活圏として中，四国地方を重なり合いながら，鳥取―岡山―香川―徳島，島根―広島―愛媛―高知，島根―山口―大分―愛媛という三つの1次広域生活圏を考える方向も数年来，論議が重ねられた。またそれは自然の地形条件にもよるものであるだけに，いろいろの面で，昔よりの伝統的条件でもあったし，現在，いな将来にわたっても切ることのできない深い関連となって生活圏を形成していくものであろう。

そうして，このような，重なり合いつつ東西に並んだ生活圏を中国地方で東西に，より密に結び合わせて新全総でいう広島圏ともいうべき中国地方広域生活圏を形成するのに有力な役目を果すものとして計画され，また実施されつつあるのが，山陽新幹線鉄道であり，中国縦貫道であり，新山陽道，そうして瀬戸内海という重要な航路などであることは，地図をよく見ていただければ誰にでもお解りいただけることだと思う。そうして，現有各種施設とそれの強化によるものを加えての附図のような各種交通計画を考えるときは，中国地方のネットワークは，新全総に示す中枢管理都市広島圏（昭和60年200万人想定）と多くの地方中核都市群とにたしかにふさわしいものとなり得るであろう。

さて，このようなネットワークによって，お互いに結び会わされつつ管理機能を発揮して，文化的な生活環境をより大きく開発しつつ生産性を高め得るとしても，はたして他に問題はないのであろうかと想わないわけにもゆかない。アジア大陸や米大陸あるいはアフリカ大陸のような国土と異なり，人口密度のきわめて高い狭小な日本のうちの，またその一部の中国地方はその南北の幅はわずかに100㎞ばかりに過ぎない。いうまでもなく航空機上からは，太平洋岸も日本海も，瀬戸内海の上空で，同時に左右に見ることができるほどである。したがって，いろいろの公害の問題にしても，これからまだまだいろいろのものが発生するかも知れないし，いま表面に出ている公害発生区域なども決してその地域のみの問題ではなく，やがては眼に見えぬ間に広い広い全域に連なっていってしまうことは明らかなほどに狭小な地域であるともいえよう。(公害発生地区は石丸氏の文を参照されたい。)したがって居住環境を整備し，過疎地帯を開発し，総合開発を進め，全日本的視野というよりも，それに加えて世界的な視野よりの総合計画がこれからは進められていくものであると思うが，そこにはより大きな困難も危惧もないわけではない。それどころではない。観光開発，宅地開発，海岸線の埋立計画，産業基盤計画等にしても，

中・四国地方開発の構想



凡　例

- 新幹線鉄道（計画）
- 新幹線鉄道（構想）
- 高速道路（計画）
- 高速道路（構想）
- 国際空港
- 空　港
- 新港湾
- 特定重要港湾
- 中核都市
- 畜産基地
- 工業基地
- 観光レクリエーション基地
- 原子力基地
- 原油輸入基地

地形や自然力，天然の美景，動植物と人の物心両面の生活との健全なバランス等についてはすでに各地で，その矛盾に事ごとに直面させられつつあるのが現状であり，海外人からすでに厳しい指摘をさえ受けていることに思い当らないわけにはいかないであろう。文化財対策にいたっては，真に危険状態にあるといえよう。

したがって今回の本誌の企画に対しても，私は緒論的小文をここに掲げ，生活圏構想の概要を紹介するとともに，とくにこの問題点を強く述べたいものと思っている。

しかし中国地方の5県は，上述のネットワークの形成の線にそって，それぞれに中枢管理機能の集積，情報通信網の形成，地方交通体形の整備，各種開発プロジェクト，生産，流通，観光，教育文化，住宅等の課題に向かっての大きな努力を重ねており，来年には山陽新幹線は岡山まで開通し，その全線も5年ばかりで完成するほどに進行している。中国縦貫道も，それに前後して進行している。そうしてそれらに並行して，各地のバイパス工事や改良工事，島嶼部への架橋等も着々と進行している。そうして，山陰道（国道9号線）等はすでに改良工事を完成してずいぶんと便利になっており，広島―松江間にしても3時間余での到達距離となり，岡山―米子間は2時間，広島―浜田間は2時間，広島―松山間は1時間余の距離に現在はなってしまった。中国山脈中心部の大山国立公園地帯へは岡山より1時間余，広島からでも3時間で充分に行くことができるほか，広島から1時間で西中国国定公園や三段峡の名勝地に健全なリクリェーション景観地を求めていくことができる。また秋芳台公園地帯，出雲の名勝古跡，そうして特別名勝，特別史跡の厳島等はすでに世界の文化財といってもよいところで，来訪者は日ごとに増加して，中国地方のネットワークは着々とその実績をあげつつある。一方，瀬戸内海の汚れは，すでに海水浴客や釣客を二，三時間で日本海側に運んでおり，それは反面笑えぬ現実になってしまっている。それは日本海岸の海水浴場の車輌番号の80%が山陽側の自動車であることを見ても解ることで，これもまた中国地方生活圏の構想が計画以上に実行されつつある例証であり，その反面，公害逃避のはなはだしさを正直に示している。福山，水島，徳山方面の公害については別に説かれるであろうが，これから一層進められようとしている周防灘方面の周南工業整備特別地域方面はより多くの困難が考えられるであろう。それは豊後水道との関連で有効であるとともに，それゆえに危険度も多いものとも考えられるものではないかと思う。

中国5県はいまや多くの新建築を日ごとに建設しつつあり，本誌にもその主要なものが紹介されると聞いているが，それらはすでに中国地方広域生活圏構想の一環としての力強さを示すものであり，眼に見える生活環境の著しい向上であろう。そうしてこれからは眼に見えない物心両面の生活環境の建設に大きな努力を払わねばならぬことを示してくれる指標ともなるであろう。しかもその努力が結実する時に山陽新幹線も中国縦貫道も，そうしてそれに続いて南北に山陰と山陽と四国とを肋骨のように結ぶ数本のネットワークが完成するものでなくてはなるまい。

（さとう　しげお　広島大学工学部建築学科教授）

中国地方中枢管理都市を中心とした構想

石丸紀興

はじめに

広島市では，昭和42年から44年にかけて，広島市総合計画策定にとりくんできた。市企画局企画課が中心になり，市役所内の関係部局を動員し，関係行政機関や大学，民間事務所などの協力を得ながら，総合計画審議会での審議を経て，最近報告書をとりまとめた。われわれは，整備基本計画の部門から，この総合計画に参画する機会をもち，そこで広島市の都市建設の目標の一つが中枢管理都市に設定されていたので，一応の中枢管理都市にふさわしいと思われる程度の整備方針を貫ぬいた。そして広島の計画を終了し，今回のように中国地方の問題を中枢管理機能という側面から考えるとき，広島市において構想した中枢管理機能は都市の中でどのような実体を占めていて，一体どのような機能をしているのか，それは現在中国地方をめぐって生起している種々の問題とどのような関係にあるのかという疑問に立返らせる。

本レポートは，中枢管理都市といわれる広島の構想を紹介しながら，改めて中枢管理機能を地方計画や都市圏計画，各市町村計画と関連づけて検討しようとしたものである。

中枢管理機能の一般的意味

最近，中枢管理機能という言葉がよく使用されており，一般的には，行政機関や企業の本社・支店，大学，調査研究機関，報道機関を中心とする施設の，当該都市とその周辺地域に対する支配力・影響力の強い機能をさしている。国土計画協会の「都市機能の地域的配置に関する調査」によれば，中枢管理機能を行政的，経済的，文化・社会的なものに分類し，それぞれの指数化を試みている。——**第1表**。また，日本経済新聞（昭和45年1月4日付）による都市の情報・管理機能集積量は，行政機関，企業本社，報道機関，情報施設（電算機，テレックス）の4部門について，それぞれの施設件数から，全国84都市合計に対する各都市の占める千分比で指数化されている。——**第2表**。

これらは，いずれも管理職員数や施設件数などによって中枢管理機能の集積量を計量化したもので，中枢管理機能の支配影響力の領域や強度を示すものではないし，都市相互の関係やあるいは管理される地域の機能については不明確であるが，ひとまず以上のことを前提として中枢管理都市の問題を考えてみよう。

第1表　都市別中枢管理機能の分布　　注　62都市合計を100とする

都市名	経済的機能 (A)	行政的機能 (B)	文化・社会的機能 (C)	総合指標 (A)+(B)+(C)/3
①東京	44.2	43.6	39.9	42.6
②大阪	17.6	5.8	11.3	11.6
③名古屋	6.0	4.6	5.9	5.5
④札幌	2.2	4.6	2.9	3.2
⑤福岡	2.3	3.0	3.1	2.8
⑥京都	2.3	1.1	4.0	2.5
⑦神戸	3.3	1.7	1.8	2.3
⑧仙台	1.2	3.5	2.3	2.3
⑨広島	1.7	2.9	1.6	2.1
⑩横浜	2.2	1.7	1.5	1.8
岡山	0.5	0.9	1.1	0.8
山口	0.1	0.5	0.6	0.4
松江	0.2	0.5	0.3	0.3
鳥取	0.1	0.4	0.3	0.3
下関	0.3	0.1	0.2	0.2

第2表　都市の情報・管理機能集積量

都市名	総合得点	行政機関	企業本社	報道機関	情報施設
①東京	372.2	378.5	580.4	156.0	373.8
②大阪	133.7	39.4	194.6	151.9	149.0
③名古屋	54.5	38.6	44.0	73.0	62.4
④札幌	38.4	36.3	7.0	82.0	28.2
⑤福岡	26.8	28.9	7.7	42.6	28.1
⑥広島	21.2	33.9	4.5	25.4	20.9
⑦仙台	21.1	35.4	3.4	25.4	20.2
⑧北九州	18.4	7.6	6.0	43.5	16.3
⑨神戸	18.3	14.8	26.4	8.1	23.9
⑩横浜	16.9	14.6	21.3	4.1	27.6
⑲岡山	7.8	9.0	0.4	16.3	5.6
㉝松江	4.7	7.7	0.0	8.1	2.9
㊸鳥取	3.9	6.4	0.0	8.1	1.2
㊻下関	3.7	3.5	0.4	8.1	2.9
㊺山口	1.8	6.4	0.0	0.0	0.7
㊷倉敷	1.3	0.0	2.6	0.0	2.4
㊽呉	1.2	1.9	0.0	0.0	2.8
㊶福山	0.6	0.0	0.0	0.0	2.5

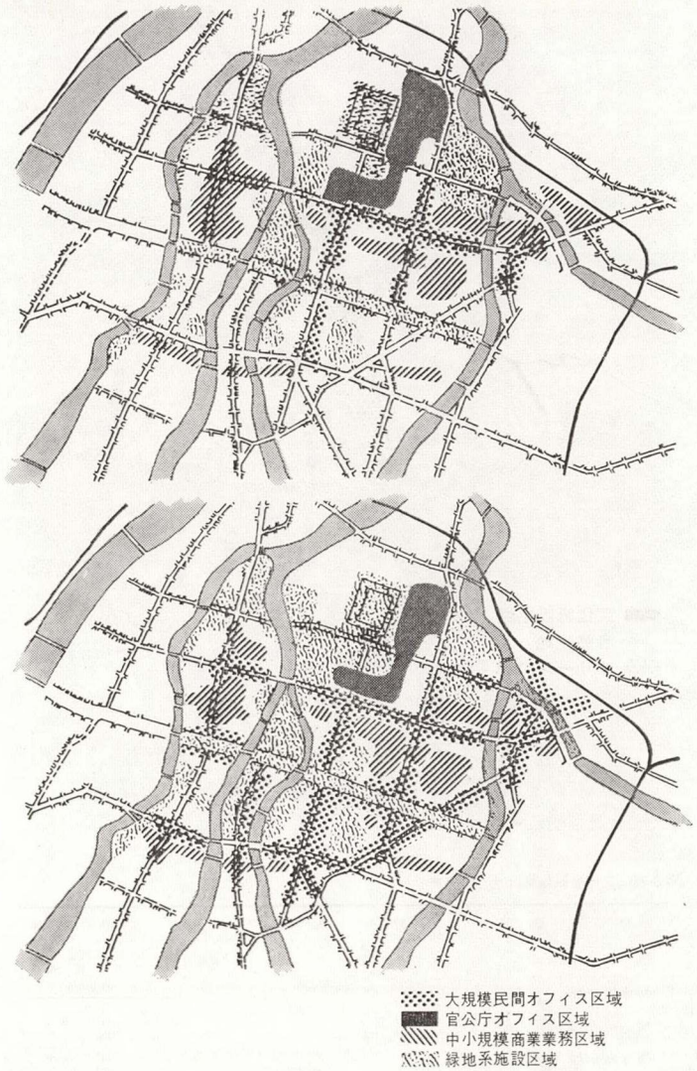
中枢管理都市としての広島の構想

いずれの指標によっても，中国地方では広島が他都市と比較して抜きんでた中枢管理機能を有しており，新全国総合開発計画（以下新全総と略す）でいう７大中核都市であることが立証されているわけである。札幌や福岡よりはかなり劣り，仙台とほぼ同等という結果であるが，これは行政的には中国地方の中枢管理を果しているものの，経済的には大阪を中心とする関西経済圏と，福岡・北九州を中心とする北九州経済圏にはさまれてそれほど振わず，また文化的には特徴のない状況になっていることによる。

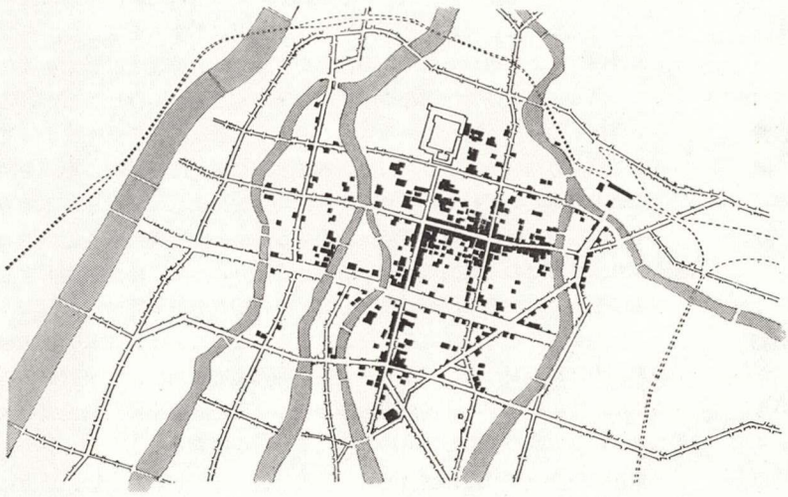
中枢管理機能は，通常外部経済の集積に基づいて，都心を形成する求心構造を示し，いわゆるＣＢＤ（Central Business District）を現出させる。ＣＢＤには厳密にいえば，中枢管理機能以外の施設も集中するし，ＣＢＤ外へも中枢管理機能を担う地区が立地するが，まず広島のＣＢＤの構造についてみると，**第１図**のようになる。広島のＣＢＤは，昼夜間人口比の現況と将来，建築容積率の現況と動向，ＣＢＤ的床面積率の現況と動向より，都心から１～1.5㎞の区域内が該当する。図はその区域内の空間構成を現況と将来について大まかにゾーニングしたものである。将来変化の主要な条件は，ＣＢＤ的床面積の蓄積を，昭和42年から60年にかけて２倍と想定していることで，それを受けての建物整備，人と車の交通体系の整備が中心課題となっている。**第２図**に昭和42年現在の大規模建築の分布図を示すが，この大規模建築の大半が中枢管理機能と関連するもので，中枢管理都市としての広島は，将来の新たな集積を加えるこのような建物と各種施設をいかに整備していくかという課題に直面していることになる。それを都心部の地区対策という形で展開したのが**第３図**である。成熟市街地と，今後民間の自主的な建設力による再市街化区域のほかに，建物の不燃化，駐車場の整備，２階歩廊の建設などによる地区修復・再整備区域と，ある程度公共的な補助指導による再開発区域とが提案され，中枢管理機能をになう施設のパターンは，現在の逆Ｌ字ないし逆Ｔ字型から王字型あるいはグリッド型と想定されている。

ＣＢＤ外の中枢管理機能の主なものは，文化施設や研究教育施設がある。これらの施設は，他地域に対して情報・サービスを提供する広域対象施設で，それによって管理・統制機能を果すものではなく，それゆえに従来貧しい状態におかれてきた。今後設置すべき文化施設――**第３表**――と，これらの文化施設を，広島の都市建設の目標である国際平和文化都市にあわせて，広島にいわゆる緑の十字形を形成するよう提案している。――**第４図**――フィクションとしての緑の十字は，広島の文化機能を飛躍的に高めるためのしかけである。平和大通りは，多面的な中枢管

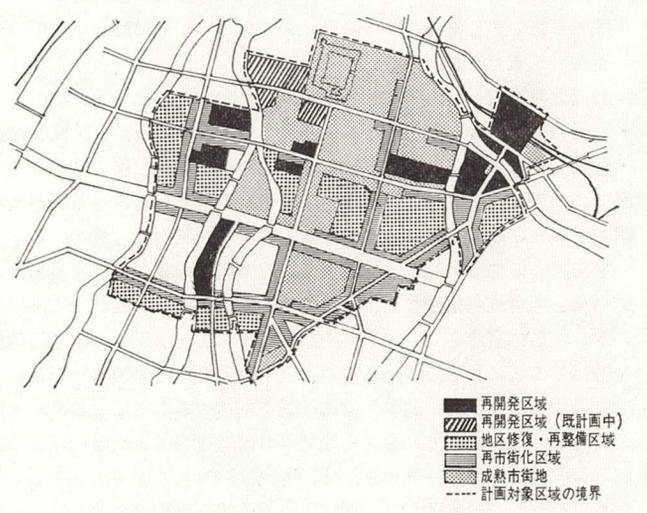
第１図　ＣＢＤの現況と将来（〔上〕現況／昭和42年　〔下〕将来／昭和60年）



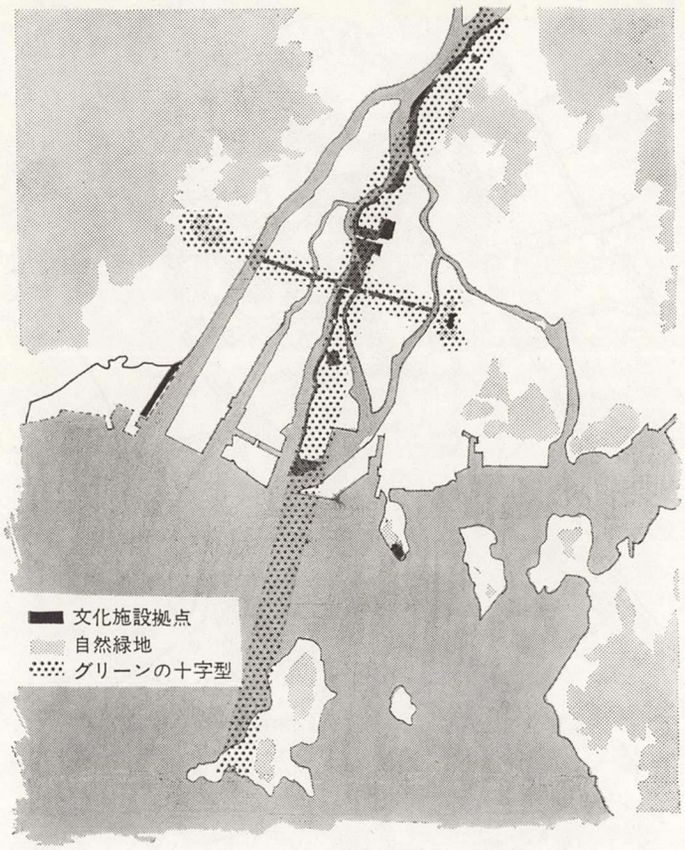
第２図　大規模建築の分布図（昭和42年）



第３図　都心部の地区対策



第4図　国際平和文化都市の建設



第3表　文化施設設置計画（広島市）

施設	設置数	施設の内容	利用対象圏域
図書館	1		広島広域都市圏
総合博物館	1		中・四国地方
美術館	1		中・四国地方
海洋博物館	1	水族館・瀬戸内歴史資料館その他の施設	中・四国地方
野外劇場	1		広島広域都市圏
国際文化会館（芸術文化センターを含む）	1	国際会議および市民的国民的文化活動施設	国際
児童文化センター	1	児童の健全育成施設	広島広域都市圏
野外活動センター	1	青小年の宿泊施設・キャンプ場・移動学校施設	広島広域都市圏
臨海プール	1		広島広域都市圏
臨海スポーツ・レクリェーション施設	1	海水浴場・キャンプ場・ボートヤードその他の施設	広島広域都市圏
総合スポーツセンター	1	陸上競技場・プール・野球場その他の陸上施設	中・四国地方
総合地誌研究所	1	国内・海外諸地域の総合的地誌研究施設	国際

理機能の集中する重要な軸であり，グリーンベルトの統合など思い切った断面再構成も必要である。

研究教育施設としての広島大学は，広島県にとどまらず，中国・四国・九州の一部からも学生を集め，誘致上の圏域は広いが，地域への影響・貢献における圏域はかなり狭くなっている。総合計画では，大学の機能について言及していないが，大学紛争を契機として，キャンパス移転問題がおき，改めて大学の地域に対する機能が問題とされている。

さて広島の都市空間の中で，中枢管理機能は重要な部分を占め，さらに将来とも育成強化されようとしているが，一体その機能の実体は何なのか，広島に官庁や支店・出張所が集積することが果して中枢管理機能を強めることになるのか，あるいは大学改革されて中四国一の総合大学を建設することが文化的中枢管理機能を充実することになるのかという素朴な疑問に直面してくる。そして中枢管理機能の本質は何なのか。それらの問題にアプローチするには，中枢管理される地域の側からも発想しなければならない。広島の計画は，国の新全総の構想に，いとも無邪気に乗っているが，中国地方において必要な役割は何かという発想に立返らなければならない。

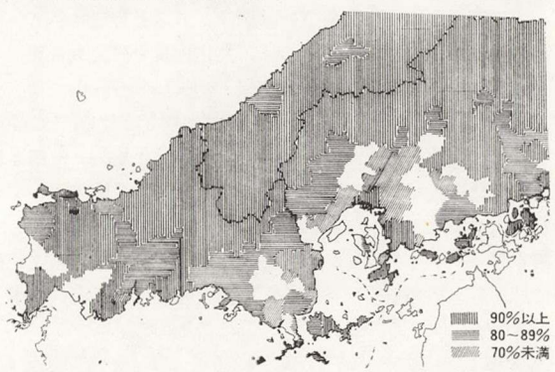
中国地方における中枢管理機能

先の中枢管理機能の集積量でみれば，広島，岡山，松江，鳥取，山口下関，倉敷，呉，福山の各都市が順位づけられている。広島の影響度，勢力度も相対的で，中枢管理機能にもさまざまな段階があることを示している。岡山は，広島が中国地方の西に偏よっていることから，関西との間隙を埋めて，他の県庁所在都市よりも高い機能を保有する結果となっている。

中国地方において鳥取県に4市，岡山県に9市，島根県に8市，広島県に11市，山口県に13市それぞれ存在しており，これらについての人口指標を整理したものが**第4表**である。内陸部や山陰側の小規模な都市は人口減少の傾向が強く，中枢管理機能も弱い。しかし周辺町村に対する相対的な中枢性が残されており，そこに注目したのが後述する広域市町村圏である。瀬戸内沿岸の都市は，岡山県南・水島工業地帯，備後工業地帯，広島・呉工業地帯，岩国・大竹工業地帯，周南工業地帯，宇部・小野田工業地帯などと結びつき，あるいは商業や港湾と結びついて，それぞれ都市機能を集積している。

通勤通学の状況によれば，地域相互の関連性が明らかになる。当該市町村に居住する就業者のうち，同一市町村で就業している割合を充足率とすると，90%以上を示すのは，一定の産業を有する都市と純農村である。大都市周辺の充足率50%未満の町村は，中心都市との関係が強く，逆にいえば中心都市の中枢管理機能が波及していることを示している。そのような関係は，広島市とその周辺町村に最も強く表われており，岡山市とその周辺町村，倉敷市とその周辺町村，岩国市とその周辺町村，光と柳井市にはさまれた町村などにもある。山口県における特徴的なこととして，市といえども充足率がそれほど高くない地域があり，都市相互にかなり移動していることである。——**第5図**——

第5図　就業者充足率の状況（昭和40年）



中国地方の都市の動向は次のようなものであろう。広島市を中心として，いわばメトロポリタンエリアを形成しつつあり，岡山，倉敷市を中心としてきわめて広域的な都市，いわば小メガロポリスを生じつつあり山口県内では，都市がそれぞれの性格を有しながら分散都市形態を強化しつつある。その他県庁所在や産業開発・集積と結びついた都市が，強みを発揮するという状況であろう。このような動向は，新全総によって肯定された方向であり，さらに中四国を含めた瀬戸内経済圏の形成を図ることも要請されている。ブロック別開発構想によれば「総じて本地方（中四国地方）は，西日本経済を結節する地帯として隣接する近畿圏および九州地方との有機的な連けいを強めながら，さらには首都圏および中部圏を含めた大都市周辺地帯として，合理的な分担関係に対応しつつ一体的に発展する方向にある」としている。このことは，日本列島主軸の形成のための新たなネットワークを中四国地方に通し，情報管理機能の集積地を広島に求め，瀬戸内沿岸とともに周防灘開発に工業地帯を求めるという方向を示唆したものと考えることができる。

現在の社会状況では，経済的な中枢管理機能はより中央化し，地方における中枢管理機能も結局は支配・被支配，統制・被統制の多重構造の中に組み込まれて自発性を喪失していく。行政的中枢管理機能も，新全総や広域市町村圏構想などによって，スマートな近代的な形で地域再編

成を促進され，一定の支配・被支配の関係を生じつつ，却って丸ごと支配されてしまう方向にある。

自治省は，新全総による広域生活圏構想の実現手法として，広域市町村圏の振興整備の方針をうちだしているが，その広域市町村圏の拠点となる都市にも，ある種の中枢管理機能が位置づけることを意図している。交通・通信の発達によって生活圏・経済圏が拡大するという傾向を単純に新たな地域区分と結びつけようとする動きである。地域区分の思想は，地形的・歴史的必然性のある地域以外では，個々の地区の性格論を切り捨てたグルーピングとなったり，おし込めの暴力となったりすることがある。すなわち，明快さと整理の都合上とはいえ，市町村がきわめてきっちりと圏域設定されていることは，多様な地域の相互関係を画一的な地域区分によって分割してしまうことになる。——**第6図**——

都市の中枢管理機能への傾斜の根底には，領域拡大という思想が流れており，地域区分による再編成の根底には，拠点への中枢性の付与という思想が流れている。この両者の思想は，新全総・広域市町村圏構想では表裏一体のものである。

中国地方の中枢管理機能を，大は広島から小は広域市町村圏の中心都市まで再編成されようとしているとき，その中で機能集積を競いあうことは意味がない。地域の相互関係は，人や物の動き，都市機能の結びつき・分担関係，かかえている問題の同質性・異質性などを介して，共存関係を求めて形成されるものである。この相互関係も双方の自発性に基づいて決定される必要がある。そのためには行政においてより現場性を強めること，すなわちこの現場主義の確立こそ，行政の中枢管理機能を地域の総体として本質的に強化することである。**第7図**に示すように地域の相互関係や地域区分の考え方は，AとBのタイプ，CとDのタイプには共通するものがある。Aは中核都市の中枢管理意識であり，Bはおし込めの思想であり，CとDは都市連合・地域連合の思想である。地域計画上の問題の質に応じた相互関係，環境改善のための協同関係など形成されることにより，中枢管理機能から相互協同機能へと変質する必要がある。

結論めいたこと

現在中国地方でおこっている地域計画上の主要な問題は，①山陽新幹線，中国縦貫道，中国横断道，瀬戸内海架橋といったいわゆる国土ネットワーク形成に関すること，②笠岡湾干拓，中海干拓，周防灘埋立といった産業開発大規模プロジェクト，③広域合併や広域行政あるいは広域市町村圏といった地域空間の再編成に関すること，④産業公害や河川・瀬戸内海の汚濁といった環境悪化に関すること，⑤人口減少や集落・産業の衰退といった過疎問題，⑥人口集中や都市基盤の未整備といった都市問題などである。これらは，計画課題としては比較的技術的な問題であるが，それらを貫ぬく目標として何があるのだろうか。中国地方開発促進協議会（会長永野広島県知事）では，中国地方の地域開発の基本

第4表　都市別人口指標

都市名	人口（住登） S.45.3.31	人口増加率 昭和40/35	人口増加率 昭和45/40	就業者 S40	充足率 S40
鳥取	115,106	3.8	0.4	50,344	0.975
米子	109,719	4.3	4.8	51,619	0.944
倉吉	50,124	− 2.7	− 1.4	25,379	0.953
境港	35,096	0.4	4.8	15,839	0.885
松江	115,218	3.8	3.9	52,981	0.957
浜田	49,007	− 0.1	− 9.1	25,640	0.969
出雲	69,425	− 0.6	− 0.1	34,348	0.939
益田	50,094	− 5.9	−10.7	26,276	0.967
大田	41,927	−10.4	− 9.7	21,065	0.972
安来	31,626	− 1.8	− 1.7	16,304	0.896
江津	28,920	− 9.8	−11.4	14,697	0.929
平田	31,988	− 4.8	− 7.0	16,077	0.889
岡山	377,077	10.4	5.5	167,000	0.965
倉敷	345,140	9.1	19.1	145,761	0.935
津山	74,986	− 3.2	− 0.2	37,448	0.960
玉野	69,152	1.2	2.0	32,407	0.938
笠岡	63,691	− 7.6	− 9.3	31,792	0.868
井原	38,309	− 2.1	− 4.3	21,095	0.951
総社	37,706	− 1.9	8.0	18,833	0.792
高梁	29,929	− 9.1	− 8.4	16,449	0.922
新見	31,632	− 9.0	−13.2	16,725	0.972
広島	547,878	16.9	7.3	249,789	0.942
呉	235,720	7.1	3.2	106,693	0.901
竹原	36,954	− 3.9	− 3.9	17,179	0.868
三原	85,170	2.2	− 1.0	39,691	0.933
尾道	102,678	− 0.7	− 0.7	47,349	0.898
因島	40,648	− 0.9	− 1.2	18,683	0.975
福山	248,282	11.5	21.6	105,151	0.959
府中	48,151	11.4	4.2	25,027	0.935
三次	37,853	−10.2	− 9.6	19,790	0.948
庄原	25,066	−13.5	−11.3	14,223	0.967
大竹	38,003	1.0	− 1.9	18,005	0.783
下関	263,085	3.0	− 0.7	111,919	0.950
宇部	151,762	− 4.6	− 4.3	71,168	0.962
山口	101,657	12.9	− 0.9	49,138	0.895
萩	52,260	− 4.1	− 2.5	24,114	0.962
徳山	99,186	6.9	2.2	45,594	0.881
防府	98,312	− 0.2	− 1.0	46,746	0.906
下松	49,739	6.1	− 0.1	23,101	0.858
岩国	105,229	5.6	− 0.2	49,532	0.920
小野田	41,511	−21.0	− 6.1	18,884	0.752
光	45,323	8.8	3.0	20,093	0.839
長門	28,277	− 5.4	− 5.6	13,821	0.946
柳井	39,772	− 4.5	− 4.2	19,384	0.870
美弥	28,930	−13.5	−24.1	15,820	0.957

第6図　広域市町村圏地域区分図



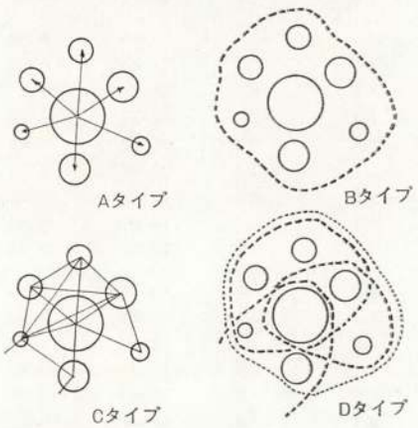
広域市町村圏名

鳥取県　①中　部広域市町村圏
　　②東　部　〃
　　③西　部　〃
岡山県　④津　山　〃
　　⑤阿　新　〃
　　⑥真　庭　〃
　　⑦高　梁　〃
　　⑧英　田　〃
　　⑨県　南　〃
　　⑩井　笠　〃
島根県　⑪出　雲　〃
　　⑫益　田　〃
　　⑬松　江　〃
　　⑭浜　田　〃
広島県　⑮備　北　〃
　　⑯芸　北　〃
　　⑰竹　原　〃
広島県　⑱北部台地広域市町村圏
　　⑲福　山　〃
　　⑳尾　道　〃
　　㉑三　原　〃
　　㉒西　条　〃
　　㉓呉　〃
　　㉔広　島　〃
　　㉕大　竹　〃
山口県　㉖宇部小野田　〃
　　㉗柳　井　〃
　　㉘山　口　〃
　　㉙防　府　〃
　　㉚下　関　〃
　　㉛岩　国　〃
　　㉜徳　山　〃
　　㉝萩　〃
　　㉞長　門　〃

路線として地域格差の是正を掲げ，都市や産業の適正配置と基盤整備を軸として，山陽・山陰の一体的開発と広域経済圏の育成をあげている。しかし格差の是正とか均衡ある発展とかいう目標は実行性が薄いだけでなく結果としてより著しい矛盾の拡大に終ることが多い。地域計画が，ビッグプロジェクトに乗っている限り種々の問題を拡大再生産する。そこに必要な姿勢は，現場主義である。産業優先から住民生活優先への切りかえといったレベルだけでなく，環境主義を伴う現場における中枢管理機能すなわち現場主義でなければならない。そのことがなければ，水島や岩国，大竹や周南において集中的にみられる公害も，瀬戸内沿岸の工業化の推進，とくに周防灘開発による大工業集積などにより公害をさらに広域化し，瀬戸内海をごっそり台なしにしてしまうであろう。——**第8図**——福山における昭和電工の進出中止という住民不安を自治体が感知した新たな動きが出現している。それはさらに，現場における環境主義として確立される必要があり，自治体，住民，企業の基本的な立場として，ひいては制度的保証として確立されなければならない。それに先がけて，例えば瀬戸内沿岸都市が自発的に公害情報センターを設置する先導的な動きが必要であるし，それを契機とした地域・地区の連合・協力を目指していかねばならない。現場における中枢管理機能である現場主義から，地域の環境を問題とする環境主義へ，さらにその目的のために地域・地区の連合・協力を志向する連合・協力主義へと進むべきとき，改めて広島の真の中枢管理機能の役割が明確となろう。

（いしまる　のりおき　広島大学工学部建築学科助手）

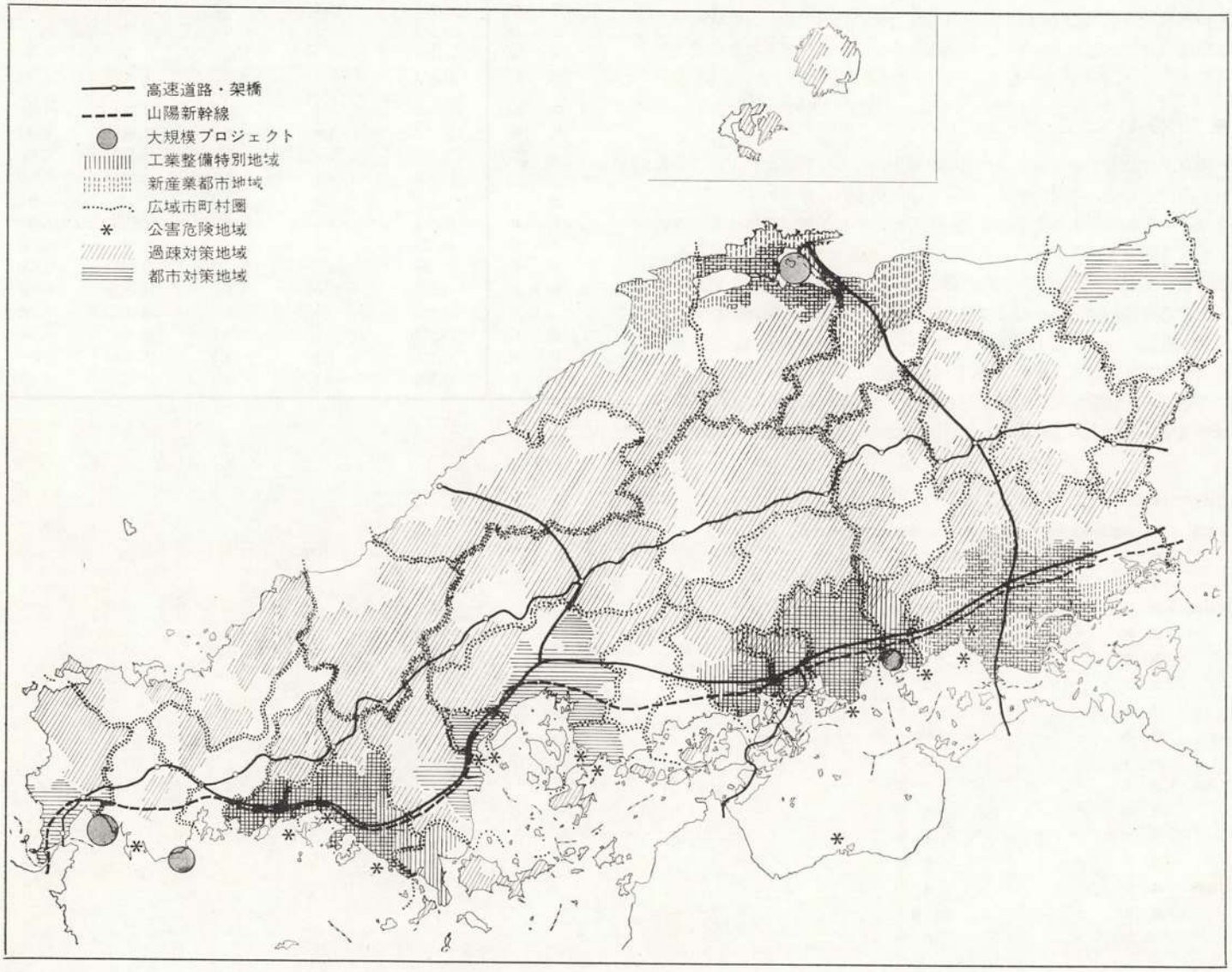
第7図　地域の相互関係と地域区分のタイプ



第8図　赤潮被害発生状況



第9図　地域計画テーマゾーニング



山陽新幹線と中国縦貫道路の計画

門田博知

1. 中国地方の交通網の現況

中国地方は自然環境や産業構造などの特性から山陽(瀬戸内海沿岸)，山陰（日本海沿岸)，および内陸(中国山地部) 地域に分けられる。山陽・山陰両地域においては海岸線に沿って発展してきた市町村を結ぶ鉄道や道路は，平坦地が少なく林野の比重が大きい内陸地域に比較して整備されている。内陸地域では地形的制約のため鉄道や道路の線形は悪く，急勾配の坂路や曲線半径の小さいカーブが随所にみられ，車の走行速度も制限され，空間距離に比べて時間距離が長く，したがって隣接市町村間の意識距離はそれだけ遠くなっている。しかも内陸地域の市町村内には行政区域の広さとは無関係に小規模な日常生活圏が散在し，その圏内において自給自足的に発展し，最近の都市への人口の集中化にともない人口が減少し，孤立化し，いわゆる過疎に病んでいるところが少なくない。

しかし内陸地域にありながらも，津山・新見・庄原・三次市はそれぞれその近傍の拠点としての機能を果していて，国鉄姫新線と芸備線とによって結ばれ，また広島・岡山・松江・米子・鳥取などの主要都市とも鉄道により結ばれている。

山陽地域では瀬戸内海産業運河の外に国道２号・山陽本線が縦走し，数珠状につらなった諸都市を結び，山陰地域では国道９号・山陰本線がこの役を果している。

これら山陽・内陸・山陰間のいわゆる陰陽交通は，国鉄因美線と津山線，伯備線，木次線と福塩線，山口線，国道53，54号，179～186号，191号，261～262号線によっている。（表－1参照）[2] しかしこれらの国道の整備率はきわめて低く，53・54号線ですら本年度でやっと全面的整備が完了する程度で，鉄道も山陽本線以外はすべて単線である。

中国地方は他の地方にくらべて鉄道網が発達していることや，瀬戸内海に交通の多くを期待してきたことなどのため，道路網の整備が遅れている。内陸部においては線の交通といわれる鉄道よりも，面の交通に供せられる道路網の整備充実が急がれなければならない。

表－1　国道の路線別現況（44年度末現在）

単位：km，上段（）%

路線名	起点	終点	実延長	直轄			補助			計	
				延長	改良済	舗装済	延長	改良済	舗装済	改良済	舗装済
元一級国道											
2	兵庫県境	下関市	393.1	393.1	(100) 393.1	(100) 393.1				(100) 393.1	(100) 393.1
9	兵庫県境	下関市	412.7	412.7	(100) 412.7	(100) 412.7				(100) 412.7	(100) 412.7
29	兵庫県境	鳥取市	47.8	47.8	(100) 47.8	(100) 47.8				(100) 47.8	(100) 47.8
30	岡山市	玉野市	24.3	24.3	(100) 24.3	(100) 24.3				(100) 24.3	(100) 24.3
31	広島県海田町	呉市	20.0	20.0	(100) 20.0	(100) 20.0				(100) 20.0	(100) 20.0
53	岡山市	鳥取市	135.6	135.6	(92.1) 124.8	(89.4) 120.7				(92.1) 124.8	(89.4) 120.7
54	広島市	松江市	158.1	158.1	(95.6) 151.1	(81.8) 128.4				(95.6) 151.1	(81.8) 128.4
元二級国道											
179	兵庫県境	倉吉市	104.4				104.4	(67.8) 70.8	(71.5) 74.7	(67.8) 70.8	(71.5) 74.7
180	岡山市	松江市	153	25.4	(100) 25.4	(100) 25.4	127.6	(61.9) 79	(62.7) 80.7	(68.3) 104.4	(69.4) 106.1
181	津山市	米子市	66.8	38.2	(24.3) 9.3	(21.2) 8.1	28.6	(90.2) 25.8	(46.2) 13.2	(52.5) 35.1	(31.9) 21.3
182	新見市	福山市	92.2				92.2	(33.4) 30.8	(33.1) 30.5	(33.4) 30.8	(33.1) 30.5
183	広島市	米子市	95.9				95.9	(78.1) 74.9	(64.4) 61.7	(78.1) 74.9	(64.4) 61.7
184	松江市	尾道市	66.7	7.1	(31.8) 2.3	(31.8) 2.3	59.6	(21.8) 13	(100) 59.6	(23.1) 15.3	(92.7) 61.9
185	呉市	三原市	70.6	52.4	(100) 52.4	(100) 52.4	18.2	(69.7) 12.7	(44.5) 8.1	(92.2) 65.1	(85.7) 60.5
186	江津市	大竹市	150.3				150.3	(66.9) 100.6	(53.6) 80.6	(66.9) 100.6	(53.6) 80.6
187	岩国市	益田市	74.3				74.3	(65.7) 48.8	(66.7) 49.5	(65.7) 48.8	(66.7) 49.5
188	徳山市	岩国市	70.7	70.7	(100) 70.7	(100) 70.7				(100) 70.7	(100) 70.7
189	岩国空港	岩国市	0.4				0.4	(100) 0.4	(100) 0.4		
190	山口市	山口県山陽町	42.8	36.8	(100) 36.8	(100) 36.8	6	(100) 6	(100) 6	(100) 42.8	(100) 42.8
191	下関市	広島市	224	117.7	(59.6) 70.2	(57) 67.1	106.3	(52.9) 56.3	(80.3) 85.5	(56.5) 126.5	(68.1) 152.6
250	兵庫県境	岡山市	17.2				17.2	(100) 17.2	(100) 17.2	(100) 17.2	(100) 17.2
261	広島市	江津市	93.4	15.8	0	0	93.4	(73.2) 68.3	(80.9) 75.5	(73.2) 68.3	(80.9) 75.5
262	萩市	防府市	52.2				52.2	(80.7) 42.1	(62.1) 32.4	(80.7) 42.1	(62.1) 32.4
昇格国道											
178	兵庫県境	鳥取県岩美町	11.2				11.2	(85.7) 9.6	(47.3) 5.3	(85.7) 9.6	(47.3) 5.3
313	倉吉市	福山市	154				154	(71.3) 109.8	(52.1) 80.3	(71.3) 109.8	(52.1) 80.3
314	福山市	島根県木次町	88.4				88.4	(15.6) 13.8	(16.0) 14.1	(15.6) 13.8	(16) 14.1
315	徳山市	山口県須佐町	98.3				98.3	(39.8) 39.1	(32.1) 31.6	(39.8) 39.1	(32.1) 31.6
316	長門市	山口県山陽町	46.4				46.4	(23.0) 10.7	(46.2) 21.4	(23.0) 10.7	(46.2) 21.4
317	愛媛県境	尾道市	28.7				28.7	(35.9) 10.3	(40.1) 11.5	(35.9) 10.3	(40.1) 11.5

表—2　輸送機関別地域間物資流動（昭和37年）

単位：千トン

発地＼着地		鳥取	島根	岡山	広島	山口	阪神	関東	九州
鳥取	R	199	103	81	31	22	164	59	47
	S	4	15	—	—	—	—	—	—
	T	4,335	950	16	9	1	459	—	—
	計	4,538	1,068	97	40	23	623	59	47
島根	R	140	174	28	63	145	162	102	138
	S	30	71	—	—	64	5	13	78
	T	157	8,018	3	74	39	70	—	—
	計	327	8,263	31	137	248	237	115	216
岡山	R	173	77	621	115	55	751	333	158
	S	—	16	688	263	577	3,139	201	844
	T	722	13	18,712	500	24	2,394	6	13
	計	895	106	20,021	878	656	6,284	540	1,015
広島	R	98	69	144	382	159	311	372	361
	S	—	1	138	1,404	298	1,709	384	556
	T	7	73	236	30,728	510	89	26	12
	計	105	143	568	32,514	977	2,109	782	929
山口	R	109	287	125	525	4,370	317	324	1,165
	S	74	105	385	778	4,890	4,685	3,305	5,902
	T	7	27	11	3,807	22,730	42	3	513
	計	190	419	521	5,110	31,990	5,044	3,632	7,580
阪神	R	136	158	295	297	178			
	S	—	12	491	777	435			
	T	44	42	452	134	46			
	計	180	212	1,238	1,208	659			
関東	R	24	23	117	257	138			
	S	—	5	52	158	141			
	T	—	—	33	3	8			
	計	24	28	203	418	287			
九州	R	77	260	191	614	785			
	S	83	46	914	1,410	5,499			
	T	—	—	26	54	674			
	計	160	306	1,131	2,078	6,958			

（注）R：道　路　　S：海　運　　T：鉄　道

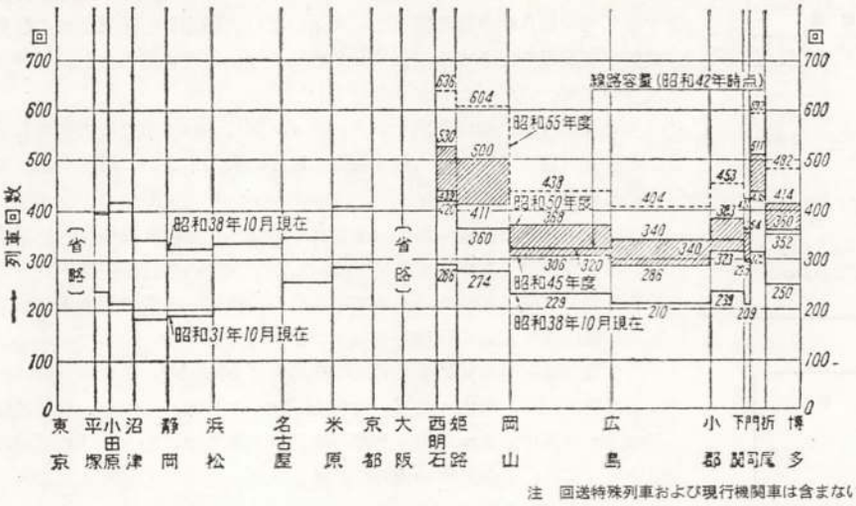
表—3　中国地方主要地点の交通量

	観測点	車道幅員	交通容量（A）	昭和40年 ADT	昭和43年 ADT	昭和44年 10月（B）	昭和45年 4月（C）	前年比率（C/B）	45年混雑度（C/A）
2号	岡山県和気郡三石町三石	6.0	4,200	9,891	14,467	15,553	18,154	1.17	4.34
〃	岡山市西大寺宿	9.0	8,200	12,712	24,516	26,531	—	—	—
〃	岡山市白石	8.6	9,100	20,821	29,828	31,646	33,062	1.05	3.64
〃	倉敷市乙島	8.1	8,100	14,199	18,859	26,530	28,933	1.09	3.56
〃	福山市本庄町神島	12.3	22,700	20,038	30,314	39,778	43,535	1.09	1.94
〃	広島県加茂郡八本松町	7.5	5,100	9,452	17,126	18,913	20,776	1.10	4.08
〃	広島県安芸郡海田町	7.9	8,700	15,235	27,529	26,467	30,659	1.16	3.53
〃	広島市竹屋町	25.5	35,500	30,789	52,885	59,474	54,324	0.91	1.53
〃	広島市草津町	11.6	9,100	27,617	42,253	45,416	43,655	0.96	4.80
〃	広島県佐伯郡五日市町	10.5	9,100	20,491	31,969	41,245	30,750	0.75	3.39
〃	岩国市立石町	11.0	8,500	15,116	24,516	30,658	29,937	0.98	3.52
〃	徳山市遠石	8.7	9,100	20,249	34,587	38,451	41,648	1.08	4.58
〃	防府市八王寺	10.2	8,900	12,578	23,127	25,316	27,206	1.08	3.05
〃	山口県吉敷郡小郡町柏崎	7.1	8,200	11,711	21,889	24,664	25,018	1.01	3.05
〃	下関市長府町印内	8.2	8,700	8,671	22,153	26,320	27,660	1.05	3.18
9号	鳥取県東伯郡泊村	7.5	8,900	2,164	5,283	7,409	6,707	0.91	0.75
〃	鳥取県西伯郡名和町御来屋	7.5	8,700	1,207	5,471	6,982	7,210	1.03	0.83
〃	松江市東津田町	7.5	9,000	6,326	13,395	16,956	17,650	1.04	1.97
〃	出雲市今市町	8.5	9,000	6,141	12,241	14,697	15,518	1.06	1.72
〃	浜田市瀬戸見町	8.2	9,000	6,767	7,428	9,858	11,704	1.19	1.30
〃	山口県吉敷郡小郡町下郷	9.0	9,300	8,776	11,831	15,296	14,694	0.96	1.58
30号	岡山市泉田	10.8	9,200	8,319	10,584	16,787	21,537	1.28	2.34
31号	呉市吉浦	9.5	9,000	10,995	14,342	20,337	22,511	1.11	2.50
53号	岡山県御津町津高	7.0	11,500	4,651	12,371	15,390	15,694	1.02	1.36
54号	広島県安佐郡祇園町	13.1	9,500	18,841	38,577	45,088	39,892	0.89	4.20
〃	広島県安佐郡可部町	8.7	7,400	4,244	8,859	10,860	11,751	1.08	1.59

図—1　将来交通量の推定（昭和60年）



図—2　東京・博多間列車回数（上り，下り合計）



注　回送特殊列車および現行機関車は含まない

図—3　中国地方幹線道路網案



2.　交通需要の現況と将来

中国地方の産業の中心は山陽地域にベルト状に集中しており，しかも瀬戸内海は産業運河として古くから舟運に利用され，現在でもその利用価値は高く，海運への依存度のきわめて高い臨海型工業が立地していることや域内に大市場がないことなどを反映して，自動車輸送のウエイトは相対的に低く，海運・鉄道が重要な役割りを果している。（表—2参照）

この海運への依存度の高いことが当地域の陸上交通網，とりわけ道路整備の遅れをもたらしている。近年の道路交通量の増加は著しく，山陽側国道2号線の混雑度は1.94～4.84にも達している。しかし山陰側9号線のそれは0.75～1.95で，混雑しているのは都市市街地のみである。このことは山陽と山陰の交通需要の差を如実に物語っている。（表—3参照）

地域別自動車保有台数や1台あたりの平均年間走行キロ数などからコントロールトータルを定め，昭和43年度の交通事情調査をもとに推定される昭和60年の国道の断面交通量は図—1の通りである。なお，これは中国縦貫・横断道などは未整備と仮定して，現状の道路網について推定されたものである。

また一方，国鉄山陽新幹線の大阪—博多間の輸送量は，昭和38年に旅客168億人キロ（東海道本線164億人キロ），昭和31年の100億人キロに対して170%にあたり，昭和50年には300%に達し，貨物も昭和38年88億トンキロ，昭和31年の117%にあたり，昭和50年には180%に達するものと推定されている[1]。これらの輸送需要に対する列車回数と線路容量との関係を示すと図—2の通りであり，昭和50年には山陽本線全線にわたって線路容量を越えるものと推定される[1]。

3.　中国縦貫自動車道

昭和32年4月国土縦貫自動車建設法が施行され，東北・北陸・中央・中国・九州縦貫道の5道が設定された。さらにこれら5道を骨格として昭和41年7月に国土開発縦貫自動車建設法が一部改正となり。国土開発幹線自動車建設法が施行され，32路線，総延長7,600kmの幹線自動車道が設定された[2]。

中国地方に直接関係のあるのは中国縦貫自動車道（吹田市—下関市541km），山陽自動車道（吹田市—山口市，440km），中国横断自動車道（岡山—米子線，岡山市—境港市，140km），（広島—浜田線，広島市—浜田市110km）である。

これらの自動車専用幹線道路と国道とが幹線網を形成し，さらに主要地方道や県道によって網目は細かくなり，面としての交通が確保される。

中国縦貫自動車道と山陽自動車道とは建設の目的が異なり，後者は山陽地域の輸送需要の増大に対処し，瀬戸内工業地帯の発展を促進するとともに，北九州や近畿以東の工業地帯や経済圏とを短絡し，工業開発を目的としている。これに対して中国縦貫自動車道は「国土開発縦貫自動車建設法」にその目的として「国土の普遍開発をはかり，画期的な産業

表—4　中国縦貫自動車道計画概要

路線名	高速自動車国道中国縦貫自動車道	
	吹田・千代田線	鹿野・下関線
位置	大阪府吹田市～広島県山県郡千代田町	山口県都濃郡鹿野町～山口県下関市
延長	約331km	約106km
車線	兵庫県神戸市～岡山県真庭郡落合町 4車線第1次施工2車線	山口県都濃郡鹿野町～山口県山口市 2車線
	岡山県真庭郡落合町～ 広島県山県郡千代田町　2車線	山口県山口市～山口県下関市 4車線　第1次施工2線
設計速度	兵庫県宝塚市～岡山県北房町　80km/時 岡山県北房町～広島県庄原市　60km/時 広島県庄原市～広島県千代田町 80km/時	山口県鹿野町～山口県山口市　60km/時 山口県山口市～山口県下関市　80km/時

表—5　縦貫横断所要時間

区間	現在所要時間	中国縦貫道利用所要時間	摘要
	時間　分	時間　分	
大阪－下関	12 : 40	8 : 20	
大阪－広島	8 : 40	5 : 30	
大阪－米子	8 : 10	3 : 30	米子－岡山横断自動車道落合経由
吹田・三次－広島	9 : 10	5 : 30	54号線三次経由
大阪－下関	12 : 40	6 : 00	山陽高速自動車利用

表—6　工事内容，設計諸元

	山陽新幹線		東海道新幹線
	新大阪・岡山間	岡山・博多間	
最高速度	将来	210km/hr 250km/hr	210km/hr
延長	約162km	約400km	516km
最小曲率半径		4,000m	2,500m
最高勾配		15／1000	20／1000
軌道中心間隔		4.3m	4.2m
駅	6 新大阪、新神戸 西明石、姫路 相生、岡山	11 岡山、新倉敷(仮称) 福山、三原、広島、 新岩国(仮称)、小郡 (仮称)、新下関(仮 称)、小倉、博多	13 東京、新横浜、小田 原、熱海、三島、静 岡、浜松、豊橋、名 古屋、羽島、米原、 京都、新大阪
総工費	約1,720億円	約4,800億円	約3,800億円
1km当り建設費	10.7億円	12.4億円	7.4億円
駅間平均距離	32.4km	40.0km	43.0km

表—7　東京からの到達時間

都市名	41．10現在ダイヤ	東海道・山陽（新大阪－岡山間開業）新幹線利用	新幹線網整備後
旭川	21時間55分	17時間50分	6時間50分
札幌	19 : 25	16 : 10	5 : 50
青森	10 : 24	8 : 00	3 : 50
仙台	4 : 44	3 : 50	1 : 50
秋田	8 : 30	6 : 40	2 : 50
新潟	4 : 45	3 : 50	1 : 30
金沢	5 : 58	5 : 30	1 : 50
名古屋	2 : 00	2 : 00	1 : 40
大阪	3 : 10	3 : 10	2 : 30
高松	7 : 55	6 : 10	3 : 40
岡山	5 : 50	4 : 10	3 : 20
広島	8 : 00	6 : 20	4 : 10
博多	12 : 15	10 : 20	5 : 40
鹿児島	19 : 33	14 : 40	7 : 10

の立地振興および国民生活領域の拡大を期するとともに，産業発展の不可欠の基盤たる高速自動車交通網を新たに形成させるため，国土を縦貫する高速幹線自動車道を開設し，およびこれと関連して新都市および新農村の建設策を促進する」とうたわれており，他の4道とともに低開発地域の開発への悲願と希望がかけられている。

中国縦貫自動車道は吹田インターチェンジにおいてすでに供用されている名神高速道路および大阪中央環状線と，関門において関門橋をへて九州縦貫道に接続される。

下関—小郡と津山—吹田間（全延長の約45%）が昭和48年に供用開始されるよう建設工事が急がれている。しかし残りの落合—千代田，小郡—鹿野間の完成は50年を過ぎるであろうし，鹿野—千代田間約110kmは基本計画区間で完成の目標年次もさだかでない。

また設計速度や車線数も全延長の約50%は60km/hr，2車線（他の区間—下関・山口，津山・吹田—は80km/hr，4車線）である。設計速度80km/hr区間は幅3mの中央分離帯を設けられるが，60 km/hr区間は設けられない。しかし他の道路や鉄道との交差はすべて立体交差となり車の流出入は約26のインターチェンジを通しておこなわれる。

なお中国縦貫道がその本来の目的を果すためには，中国地方の幹線道路網の整備が不可欠の条件であり，とくに山陽自動車道や横断自動車道の果たす役割りを忘れてはならない。地域開発の目的のためにインターチェンジ地点を中心とした総合開発計画が行政やこれまでの習慣にとらわれることなく適正且つ慎重に検討され，実施されることが必要である。

表—5に中国縦貫自動車道を利用しての各都市間の所要時間と現在所要時間とを比較している。平均して3～4時間の時間短縮となり，米子—岡山間の横断自動車道が完成すると米子—大阪間は日帰りが十分可能になる。また山陽高速自動車道は100km/hrを設計速度として企画されつつあるので，将来，下関—大阪間は6時間に短縮され，現在の½ですむことになる。

4．山陽新幹線

昭和15年に弾丸列車計画として東京—下関間広軌9時間以内，東京—大阪間広軌4時間以内という高速鉄道東京—下関間路線選定方針が決定され，工期15年として昭和29年完成を目標に高速鉄道建設が始められて，昭和18年戦争のため一次中止されるまで約16kmにおよぶ4件の工事が進んでいた。東海道・山陽新幹線東京—博多間は昭和39年東京—新大阪間の開業に引続き，新大阪—岡山間は昭和47年度開業を，岡山—博多間は昭和50年完成を目標として工事が急がれている。昭和50年に東京—博多間が開業されれば弾丸列車計画着手以来35年後にわずか7時間で東京—博多間が結ばれることになる。

東海道新幹線（516km）の最高設計速度210km/hrに対して山陽新幹線は開業当時200km/hr，将来250km/hrとされている。表—6に東海道・山陽新幹線の建設工事内容の比較を，表—7に東京から各地までの到着時間を示す。広島から東京，大阪，博多の各都市への到達時間はそれぞれ4：10，1：40，1：30となる。

また国鉄では広軌新幹線と在来線とを性能や輸送方式の特性を十分考慮し，広軌新幹線は都市間高速輸送を主たる使命とし，コンテナによる高速，高級貨物の輸送，カーリーパーによる乗用車輸送など，貨物輸送の一部を，狭軌在来線は各都市付近の通勤輸送，新幹線に対する培養・補間および一般貨物輸送を分担するものとして，全国にわたる広軌幹線網約4,000kmを計画している。表—7の新幹線整備後とあるのはこの幹線網整備後の意味である。先述した高速自動車道7,600km，総工事費7兆3,000億に対し，新幹線網4,000km，総工事費（車両費を除く）3兆9,000億円であり，交通網の整備のための財源の確保は今後に残された大きな課題である。

参考文献
1）新幹線の計画と設計　山海堂
2）道路　1970-5.6.7.9月号
3）高速道路の経済調査　研究資料№1，№2　日本道路公団
4）国土開発縦貫自動車道中国自動車道　調査報告書，建設省道路局

（もんでん　ひろかず　広島大学工学部土木工学科助教授）

中国地方開発における山陽新幹線および中国縦貫道

茂木六郎

Ⅰ　中国地方開発の基本方向

中国地方は，近畿，四国，九州の隣接三地方と無関係にではないが，これまで独自の開発をすすめてきている。しかし，地形上中国山脈によって南側と北側に分断された様相を呈し，いわゆる山陰，山陽の両側をみれば，各種の不均衡が存在し，いまなお開発によって是正されるべき点が多い。今日までは，東西に連絡を保つ交通体系が主たるものであり陰陽を一体化する南北の連結系路は不充分である。かくて，中国地方はただに行政上の区域としては存在するが，経済上，社会上では一体化しているとは見做し難いのが現実である。すなわち，山陰と山陽東部は近畿圏に強く引きよせられており，他方西端部では北九州に傾斜する性格を示し，中央部に地方中心都市としての広島市をはさんでの一地帯が座るという様相を呈示している。

いま，山陽新幹線と中国縦貫道とを上記のような，三地帯分割ともいうべき中国地方の特徴と関連させてみるとき，この両者もともに東西交通の通過的性質をもつものであるため，これによって従来からの傾向を脱却できる見込みはきわめて薄いというべきであろう。ただ，この両者を契機として，一方では十分な南北横断交通体系が整備され，その上，中四国間の架橋が予定通り三本完成するとき，中国地方は，新全国総合開発計画（いわゆる「新全総」―以下略称を用いる―）にいう中四国という地域設定にふさわしくなるというべきである。新全総にこだわらずに，中国地方のみでも，これまでのように地方内の各都市や住民がバラバラに近畿なり首都圏なり（いずれも東方）に結びつけられてきた傾向から，地方中心ともいえる広島市への求心力を強め，意識的に中国地方としての統一地帯を形成する方向での開発が行なわれることとなろう。

もちろん，このような中国地方の意識的な統一地帯形成を目指すことが開発の唯一の目的である必要はないという見解も成り立つ。すでに岡山県では，兵庫県西部とともに東瀬戸内圏を独自の地帯として開発する構想をすすめている。他方山口県では，周防灘の大規模開発構想にもとづいて，徳山市以西の瀬戸内沿岸地帯を福岡県，大分県，愛媛県の沿岸部とともに一地帯として形成する計画もある。中国地方という地域概念の内容は，いよいよ形骸化するかも知れない。しかし新全総との関連でみる限り，大規模開発プロジェクトでは開発圏として中四国圏が設定されている。情報化社会をむかえた70年以降においては集権化とネットワーク社会の開発が正面からとりあげられている限り，開発の基本方向はあくまでも各開発圏を全国的ネットワークによって結合することが目標とされている。この観点から中国地方の開発と山陽新幹線および中国縦貫道のもつ意義を考察することとなる。新全総では，以下の九つの開発方向が併列的にのべられているが，むしろ重要なことは，これらの方向の間の関連であるといえよう。とりわけ1）と1）以下の各方向との関連である。

1）本州・四国連絡橋を含めた交通通信体系の整備
2）広島市ほか，各地方都市の整備
3）臨海部における既存工業集積の増大と新たな拡大に対応する工業基盤の整備
4）農業生産地の集約化と流通加工施設の計画的な配置
5）養殖・栽培漁業のための基盤整備
6）観光リクリエーション・ルート等の広域的整備
7）自然資源の保護，保存，森林資源の培養
8）水資源の総合開発と広域利用
9）人口急減地域における生活環境条件の整備

以下において，上記の各方向づけに即して，山陽新幹線と中国縦貫道の関連を位置づけねばならない。

Ⅱ　山陽新幹線について

これまでの各種の地域開発計画が今日までに行きついたところは，産業（製造工業）都市の拠点づくりと，それらの全国的な分散配置であった。その結果はこれら産業拠点都市への人口の極端な集中が一方の極に立ったとすれば，他方の極には過疎ともいうべき農山村地帯の出現が社会問題と化するまでに至っている。この傾向は交通が便利になったことによってむしろ拍車をかけられたともいうことができる。中国地方ではこのことが典型的に，瀬戸内側への工業拠点の配列と中国山地および山陰の側からの人口流出という形で現出している。

だがこの傾向はこれまでの工業化第一主義の計画の下での現象であることを認めなければならない。もし今後他の開発計画に基づく社会・経済の発展方向が始まるときにも同じ方向で事態が進むとか，交通手段が同じ役割を演ずるとは限らない。いわゆる情報化時代をむかえての，脱工業化社会への志向が実現するとすれば，交通手段はそれ自体の開発の在り方によっては，これまでにもたらされた悪しき結果を是正する方向に役立つようになるともいえないこともないであろう。例えば，松江市や鳥取市や山口市や徳山市のような地方中心都市へその都市の周辺農村からの交通が便利で迅速となった上で，中国地方の拠点都市としての広島市なり岡山市なりへの交通が同じく便利で迅速に確保されるならば，「ひかり」級の新幹線列車が果す役割は，人口の近畿や首都圏への流出とはならずに，日帰りまたは数日内の往復で事足りるという場合も想定さ

第1表　山陽本線における特急・急行利用状況　（単位　人）

種別 / 年月	特別急行 列車本数	定員 (A)	乗車人員 (B)	(B)/(A)(%)	普通急行 列車本数	定員	乗車人員	(B)/(A)(%)
S. 44. 3	25	14,819	14,824	100	40	33,009	31,826	96
S. 45. 3	26	15,344	15,369	100	44	36,805	31,410	85
対前年比(%)	104	104	104		110	111	99	

国鉄監査報告書（昭和44年度）39頁より

第2表　管理機能の成長性比較

都市（単独）	(A) 30年～35年	(B) 35年～40年	(B)−(A)	上昇↗↘下降
東京	100.0	100.0	—	→
大阪	87.6	58.4	△ 29.2	↘
愛知	124.0	71.0	△ 53.0	↘

（東京都市圏＝100）

東京都市圏		100.0	100.0	—	→
京阪神	〃	74.9	85.1	＋ 10.2	↗
名古屋	〃	109.9	87.3	△ 22.6	↘
都府県名	東京	88.6	123.0	＋ 34.4	↗
	大阪	77.6	71.9	△ 5.7	↘
	愛知	109.9	87.3	△ 22.6	↘
	京都	31.9	113.7	＋ 81.8	↗
	神奈川	109.1	80.8	△ 57.5	↘

「運輸と経済」29巻2号53ページより引用

第3表　主要都市の経済的中枢管理機能

都市名	経済的中枢管理機能 構成比	相対比
東京	442.3	100.0
大阪	175.8	39.7
名古屋	60.2	13.6
福岡	22.7	5.1
広島	16.8	3.8

注）1. 構成比は全国を1000とした%
2. 相対比は東京を100とした指数
月刊誌「経済企画」1967年4月号より抄

第4表　中国地方の輸送機関別貨物量構成比と伸長率

	輸送機関別構成（昭和42年） 計	鉄道	海運	自動車	37年を100とする42年指数 計	鉄道	海運	自動車
発送	100.0	13.2	66.4	20.4	149	99	162	160
到着	100.0	14.9	54.1	30.9	158	106	153	220

運輸調査局「地域間貨物流動調査」

れるであろう。これはある意味では，輸送の機会均等ともいうべき性質を示している。新幹線のような高速鉄道の役割が，管理中枢機能の高い各開発圏の中心都市間の交通を目標としている現状では，それが都市機能の少数都市への過集積をのみもたらすことをどう考えるべきかがむしろ今後の課題ではなかろうか。

上述のような課題の検討は後にゆずるとして，現実に山陽新幹線工事が着工されている背景は，九州・四国からの旅客の流れが，山陽本線に合流して今や限界輸送量を突破しつつあるという点にある。**第1表**にみられる通り普通急行の乗車効率はやや低下しているにもかかわらず，特別急行のそれはわずかであるが100％を突破し，それも44年（3月）より45年（3月）の方がやや上回っている事実がそれを示す。

大阪～博多間の山陽沿線の1府5県の人口は1,900万人，四国と九州全域および山陰2県分を加えると約3,700万人となる。これらの人口は全国総人口の約40％に当り，所得水準の上昇，経済活動の活発化に伴って各種の旅行目的による移動人口の増加は加速化されつつあり，近距離移動の多くがモータリゼーションによる自動車利用にとってかわられつつあるにせよ，長距離移動は大量高速輸送手段としての特別急行と航空機の利用に流れていることは明白である。つまり瀬戸内沿岸に形成されつつある山陽メガロポリスから北九州（福岡市）に至る間の工業都市群の展開と首都圏および近畿圏の集権性が山陽新幹線を必至のものとしている。だがこの山陽新幹線の必須条件がそのまま中国地方の開発の将来につながるか否かは別の問題である。

新幹線がもたらした効果の一つをすでに名古屋市にみることができる。日本開発銀行の佐貫利雄氏の試算するところによれば，東海道新幹線の開通によって大阪・愛知の管理機能が相対的に大幅の低下をきたしたということである。もちろん，今日の社会科学やシステム工学の発展段階では，新幹線だけの影響力を抽出することは不可能に近いというコメント付きではあるが**第2表**をごらんいただきたい。愛知または名古屋都市圏の管理機能の低下は覆うべくもない事実となって現われている。また，大阪のそれが低下しているにもかかわらず，京阪神都市圏の上昇との関係は，下欄にみるように，京都の上昇と，この表には数値として現われていないが，国際港湾機能として高い神戸をも含めてはじめて判明するところであろう。

山陽新幹線による中国地方への影響を考えるとき，この東海道新幹線のやや不完全な指標をそのまま当てはめて，直ちに中国地方の中枢都市としての広島市や副核心都市としての岡山市の機能低下を結論づけることも不可能ではない。しかし，それには，起点としての大阪と東京，終点としての大阪と博多（福岡）の類似点と相違点とが明白にされた上ででなければなるまい。詳細なデーターにもとづく論証の時間も紙面ないが，やや独断めいた結論だけを先回りしていうならば，東京と大阪との決定的な相違の第一は今日の経済体制において厳密な意味における中央政府の政治権力のもつ経済への影響が，地方出先機関の限定されたものとは質的に異なる点にある。したがっていずれも出先機関の所在地にすぎない大阪と福岡との時間距離の短縮のもつ影響は，東京を一方の極にもつ東海道新幹線が名古屋に対する影響とは質的に異なるものである。第二には，経済的中枢管理機能の比較を**第3表**でみれば，東京を100としたときの大阪の相対比は39.7を示すが，大阪を100としたときの福岡の相対比は〔大阪（39.7）で福岡（5.1）を除すとすれば〕12.8にとどまっている。

つまり，東京・大阪間の名古屋は，新幹線の経済上の影響を時間距離の短縮によって大きく受けたとみてよいのだが，大阪と福岡間の広島の受ける経済上の影響は大阪の誘引力の大きさに比較すれば，福岡の誘引力はきわめて小さく，名古屋が東京と大阪の両側から受けた影響に比較すれば，はるかに小さい影響を広島は受けるにすぎないとも見られるからである。これは（名古屋の構成比＝60.2）÷（東京＋大阪の構成比＝618.1）＝9.73と，（広島の構成比＝16.8）÷（大阪＋福岡の構成比＝198.5）＝8.46との比較によっても，広島の受ける影響が名古屋ほどではないということができるであろう。

むしろ，新幹線の直接の影響がもたらしうるものは，通信情報の飛躍的な影響に比較するならばきわめて小さいというべきであろう。鉄道がいかに高速であり人間の大量輸送が可能であるといっても，情報（映像と音声によるテレビをはじめ，色彩を含めた印刷物による伝達）を梃杆としての物資流動の迅速さと大量化のもつ影響の方がはるかに大きい。生産の分野における規格化・標準化された大量生産物は，通信情報の流れに従って流動し，必ずしも人口そのものの移動を必要としなくなるであろう。ここからむしろ，山陽新幹線の直接の影響は，停車駅都市の市街地再開発（東京・大阪なみの商店街形成のような）として表現されざるを得ないであろう。そしてこれはきわめて副次的な開発というべきであろう。だがこの点から，住民生活における中央大都市型への変化を順次農村部にいたるまで浸透させてゆくであろうと予想することは至難でない。山陽新幹線によって中国地方各都市にそれぞれ多少の機能変化を生じうるとはいえ，各都市の機能の根本的再編成・配置換えを簡単に予測する見解には筆者は組みしえない。

Ⅲ　中国縦貫道について

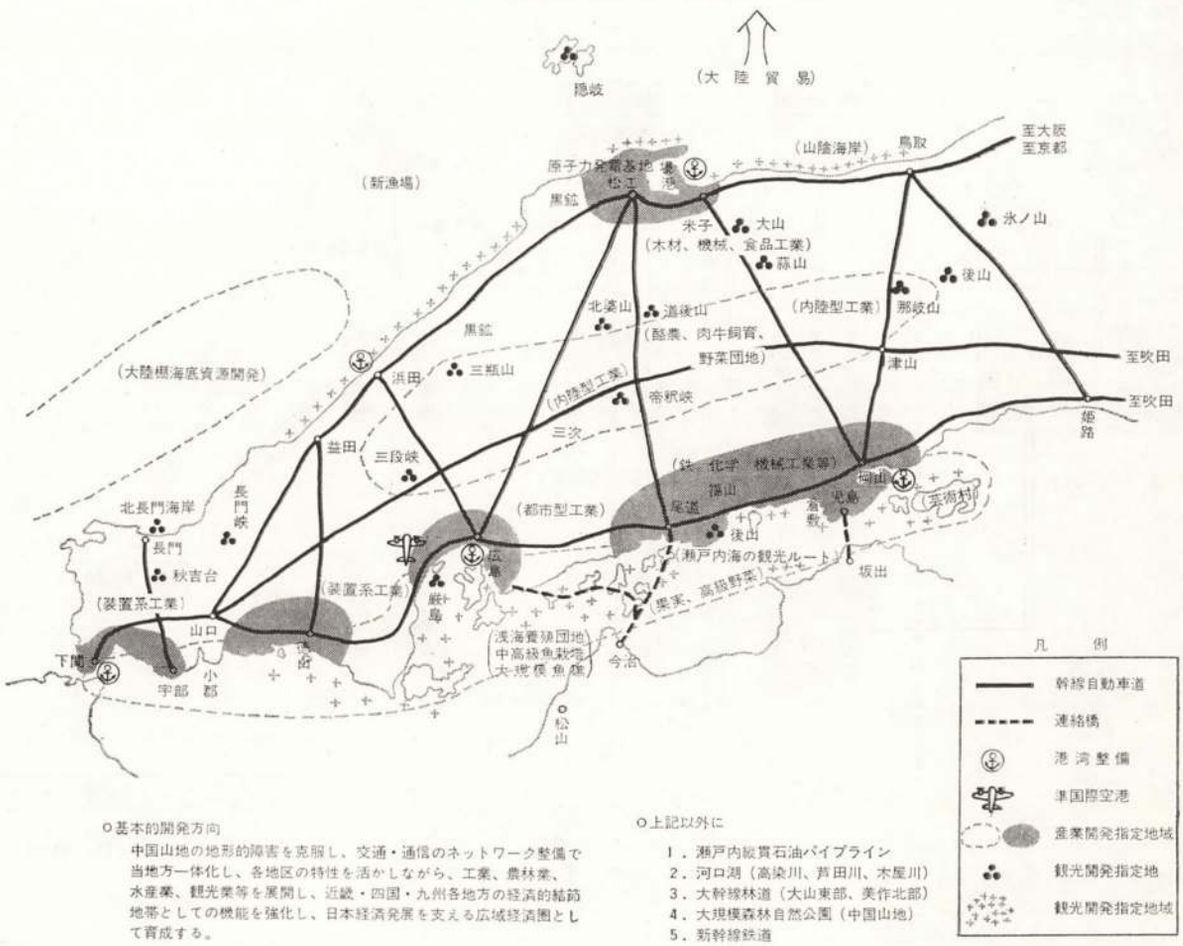
山陽新幹線にくらべて中国縦貫道にかける中国地方の行政当局や住民の期待は大きいということができる。新幹線が，既存の各種開発計画のあと始末的側面をもっているのに対して，中国縦貫道は中国山地を駆け抜けるという地理的特性から，開発にとりのこされた地域の開発への起動力たりうると見做されている。すでに冒頭にのべたように，新幹線と同じく東西交通路でありながら，多くのインターチェンジを要として，開発の線から面への展開を可能ならしめる点に新幹線との決定的な相違がみられるであろう。

第4表は周知のような貨物輸送における自動車のもつ役割とその発展の状況の一指標であるが，この数値以後2年有余の期間にはさらに飛躍的な自動輸送の量的増加がありえたことは予想に難くない。これに加えて昭和37年を100とした昭和42年の九州の貨物輸送総量中の自動車輸送の伸び率の393を併せ考慮するならば，山陽道の貨物輸送の増加の程度は予想可能である。

もちろん上記のような意味での大工業地域間の輸送路確保が第一次的目的であるから，途中沿線にとっては通過道路的性格を有することは否定できない。だが，名神・東名両高速道路での経験は，沿線土地の工業適地性を高めて沿線の工業開発を促したいくつかの事例があり，さらに流通上の時間距離を短縮することによって市場圏の変化をも発生させている状況も若干みられる。また，全国的にみられるモータリゼーションを背景として農村の都市化現象へ拍車をかける役割をも演じている。さらにレジャーブームと結びついて，観光旅行のパターンが長距離バス利用の周遊型，大型化へと変化しつつあるし，大都市住民の緑と太陽を求めるレクリエーションへの志向を充足する重要な手段ともなりつつある。

しかし具体的に中国縦貫道について，地域社会のうち経済分野に与える影響は，あたかも盾の両面のごとくに二つの面をもつといえる。その上で農林業と商工業との根本的差異をみとめる必要が生ずる。中国縦貫道沿線の農林業についてみれば，主として大市場としての京阪神地区の

第1図　中国地方の開発プロジェクト（中国地方経済連合会案）



○基本的開発方向
中国山地の地形的障害を克服し，交通・通信のネットワーク整備で当地方一体化し，各地区の特性を活かしながら，工業，農林業，水産業，観光業等を展開し，近畿・四国・九州各地方の経済的結節地帯としての機能を強化し，日本経済発展を支える広域経済圏として育成する。

○上記以外に
1．瀬戸内縦貫石油パイプライン
2．河口湖（高梁川，芦田川，木屋川）
3．大幹線林道（大山東部，美作北部）
4．大規模森林自然公園（中国山地）
5．新幹線鉄道

商工業とは分業関係に立ちうる。すなわち食料・原材料の供給と工業完成品の需要という地位にたっていたのではあるが，この両地域間の時間距離を短絡することによって，輸送コスト軽減の可能性を相互に与えうるということになるのがその一面であり，他の面は従来近距離なるがゆえに市場として確保し得ていた中国地方各都市の農産物市場に，遠距離輸送の旅物を流入させうる可能性をも縦貫道は併せもつということができる。いわば従来の市場で新たなる競争者をむかえざるを得ないという状況をも呈することになろう。

この点は商工業においても大量高速輸送が可能になるという点からは輸送費の軽減と流通時間の短縮という経済上の利益を享けることができるが，他方で中央の大手商工業の地方への直接進出の可能性をも与えるという二つの側面を併せもつものである。もし農林業や商工業を通じて，縦貫道の経済効果を中国地方であげようとするならば，共通していえることは生産性をあげる体制を整える以外にはないであろう。

そのための基盤の第一にあげられるものは，各インターチェンジを要（カナメ）とする道路網の整備である。その上での適地適産の体制を整える以外にはない。とりわけ，近時稲作の前途に対して若干の制限が生まれてきたことは，わが国土を通じての農産物の地域的特化が必要となってきていることを示すものであり，各地域の緯度による位置，標高差，地形から生ずる日照時間差，大気の温度および乾湿差や土壌の特性を科学的に利用した農産物の特殊な生産地帯形成の必要性と可能性とが考慮されるべき時期に至っているをも意味している。

かつての工業拠点都市開発が主として太平洋・瀬戸内海沿岸地帯におこなわれたが，縦貫道沿線には大工業地を展開するだけの平坦地はすくなく，岡山県津山市附近と広島県三次市周辺に内陸型工業の展開をみることができるが，新産都市型のような公害発生の可能性のないものに限定すべきであろう。もちろんこれには他の幾多の理由も存在する。兵庫県企画部の「中国縦貫自動車道沿線開発第一次報告」によれば，工場誘致による地域開発は地元の労働力不足と工場用地面の急上昇によって阻害されているとのべている。最も見込の多い分野は観光開発であろう。しかし再三識者によって指摘されているように，中央資本による観光施設投資のみによる開発は，多くのレジャー客を招来しうるにしても，したがって外見上観光開発がなされたごとくに見えるが，中国地方の地元には経済的にわずかの恩恵があればめっけものであるという場合が多い点が問題である。むしろ自然保護を第一次目的とした健康的な観光開発の方式（自然遊歩道を中軸とするような）を展開することが70年以降の方式として相応しいともいえるのではないであろうか。

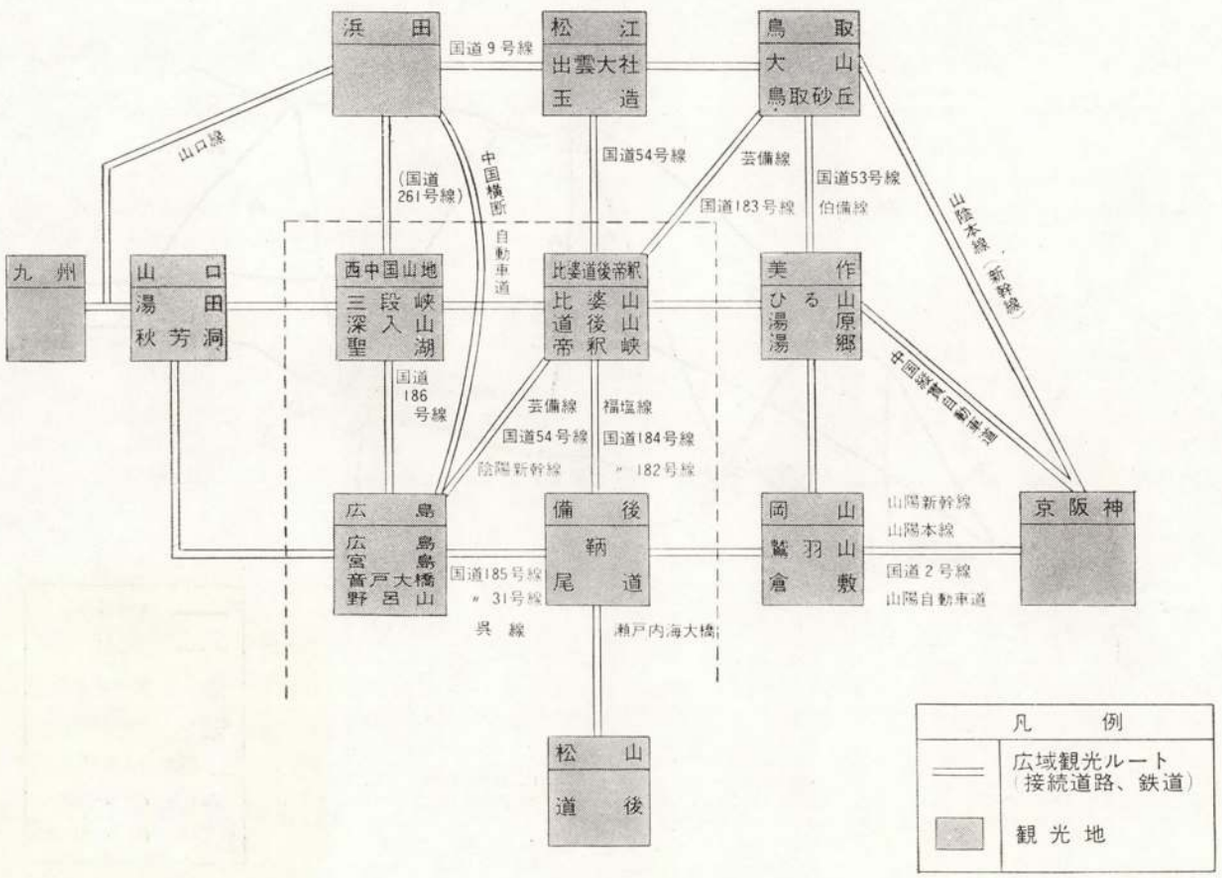
いずれにせよ，農産物（畜産を含む）地帯の形成も，従来のような米中心作に附随したような雑多作物生産から脱却するための個々農家の自覚を高める方策が有効に発揮しえないでは，新たな市場確保競争にはいっても成果をあげえないし，観光開発は地元資本なり住民なりの積極的参加方式をとらない限り，経済的成果のほとんどが中国地方以外に流出するという結果を招くであろう。

以下に，唯一の中国地方開発のプロジェクト案（中国地方経済連合会案）と，中国地方広域観光ルート図をかかげて御参考に供しておく。

（1970.10.20）

（もぎ　ろくろう　広島商科大学教授）

第2図　中国地方広域観光ルート図



モルタルポンプと吹き付け施工

越本昌弘
片口幸彦

1. モルタルポンプについて

近年，左官工事の合理化・機械化がとくに大きな課題となり，労務工数の低減・工期短縮・材料節約・熟練工の不要化・品質および精度の向上などの面から，モルタルポンプ（プラスターマシン）などの吹き付け機械を使ってモルタルやプラスターを仕上げる施工が急速に普及している。

このモルタルポンプは，モルタルやプラスターを，ホースによって所定の位置まで圧送し，ホースの先端にノズルを装置することにより空気圧を利用して壁や天井面などに吹き付け，在来のモルタル塗りやプラスター塗りと同様の作業を行なうことができる。

したがって，モルタルポンプを使用すれば，在来の左官作業に比較して，モルタル運搬の手間が省け，しかもモルタル塗りの作業も少人数で数倍の速さで施工できるなど多くの利点が生まれてくる。

モルタルポンプの利点といえるものは，

- ●モルタルの混練・搬送・吹き付け工程が同一化しているので作業工程が短縮できる。
- ●どんな場所にも圧送することができるので，左官用の荷上げ設備や雑工具類が不要となり，したがって荷揚げ用のダメ穴も不要となる。
- ●モルタル運搬に人手（手元）が不要となる。
- ●少数の人員で大量の仕事が速くできる。
- ●労務工数が減るので，工程管理および安全管理が行ないやすい。
- ●付け送りが少なくてすむ。（強圧のため一度の吹き付けで塗り面をそろえることができる。）
- ●強圧で吹き付けるので下地コンクリートに対する付着がよい。
- ●ノズルの径を換えると仕上げ吹きができる。

などであろう。欠点としては，

- ●吹き付け能率は，職長の現場管理能力に左右される。
- ●足場をよごす。（室内は少ない）
- ●砂の粒度により閉そくトラブルが生じる。
- ●役物が多い壁には仕上げ吹きは不適当である。
- ●上吹き（仕上げ吹き）の場合は，機械の稼動率が半減する。（半日はこて押え仕上げに要するため）

などであろう。

2. モルタルポンプの種類

モルタルポンプには，あらかじめ材料を空練りしてノズルまで圧さく空気で送り，そこで圧力水と混合して吹き付ける乾式のものと，練りあがったモルタルを送る湿式のものとがあるが，建築工事のモルタル塗りには，前者は使用されていないようなので，ここでは後者の湿式モルタルポンプについて記すことにする。

湿式のモルタルポンプは，材料を圧送するポンプの形式により，ピストン式ポンプ，スネーク式（ローター・ステーター式）ポンプおよびスクウィーズ式ポンプなどに分けられる。現在一番よく使用されているのはピストン式のものであり，スクウィーズ式のものはあまり使用されていない。

(1) ピストン式モルタルポンプ

ピストン式モルタルポンプは，図—1，2に示すようにピストンの往復運動で材料を圧送する機械で，ピストンの個数には，1個，2個，3個のものがあり，ピストンの個数が増すごとに圧送能力も増し，材料が送られるときの脈動が少なくなる。ピストンの個数が1個の場合には，特に脈動が大きくなるので，図—1，2に示すようなエアベッセル（空気圧力調整空気容器）を設けて調整している。

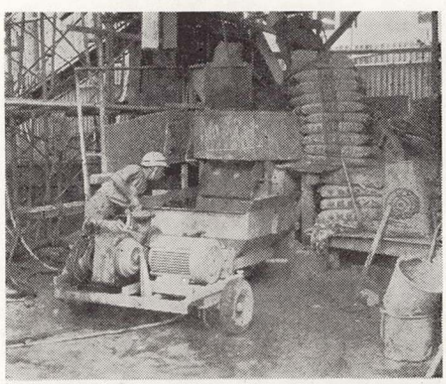
(2) スネーク式（ローター・ステーター式）モルタルポンプ

スネーク式モルタルポンプは，図—3に示すように，電動機によって回転する特殊ゴム製のラセン状の回転子（ローター）が，固定された逆むきのラセン状をした鉄製の管（ステーター）の中を回転することで生じる空間の移動によってモルタルを押し出す方式で，肉ひき機と同じ原理である。

ローターの大きさは，ラセン状のねじ山の数によって表わされ，ねじ山の数が多くなるほど材料の輸送距離は増大する。なお，このタイプのモルタルポンプは，ステーターとローターのかみ合せによって材料を送るため，ローターは摩耗するので取り替える必要がある。

(3) スクウィーズ式モルタルポンプ

スクウィーズ式モルタルポンプは，コンクリートポンプのチャレンジャーキングを小型にしたもので，図—4に示すごとく半円のホースガイドにそってポンプホースが取り付けられ，2つのローラーの回転によりモルタルを吸いこみ，しぼり出し，圧送する方式のものである。

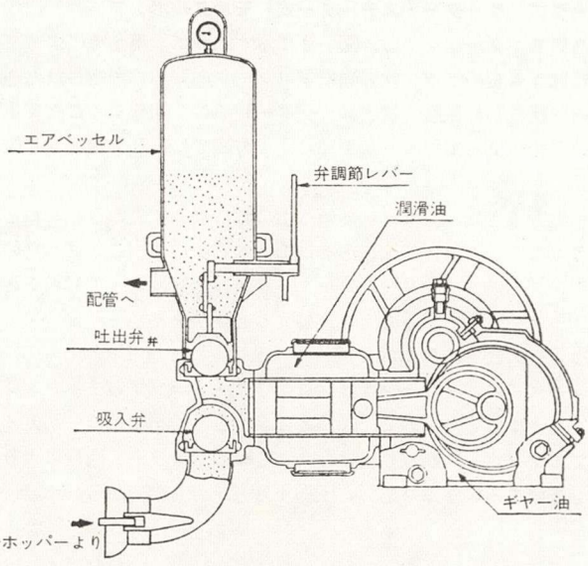


写真—1
モルタルポンプ
（新明和MM—100型）

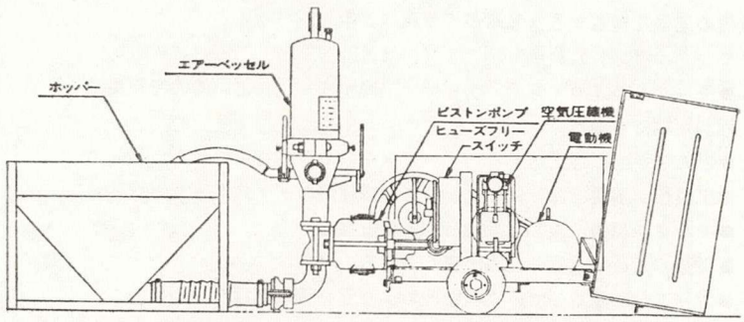
表—1　モルタルポンプ一覧表

機種	メーカー	ポンプ方式	機体寸法 (cm) 長さ	幅	高さ	機体重量 (kg)	吐出量 (m^3/hr)	搬送能力 (m) 水平	垂直	備考
新明和モルタル吹付機 MM—20	新明和工業	1ピストンポンプ エアベッセル	150	80	120	280	1.2	75	25	Putymeister社(西独) Puty boy
〃 MM-40	〃	〃	280	110	140	370	2.4	135	40	〃
〃 MM-100	〃	2ピストンポンプ	250	150	100	650	6.0	300	100	〃
Tommy Gun A—3	Thomson社 (米)	〃	218	117	102	720	6.7	75	—	
Essik PG—12	Essik社	〃	184	120	105	600	6.3	150	50	
〃 MG—9	〃	〃	195	70	95	477	4.5	70	45	
〃 TM—30	〃	3ピストンポンプ	172	139	113	1,207	13.0	500	100	
〃 FM—9	〃	スネークポンプ	184	120	105	600	3.6	100	25	
ビスコーモデル	産業技研	〃	170	98	102	320	1.0	100	25	
ビスコーポンプSM-402	植田エンジニアリング	〃	150	110	100	300	1.0	65	17	
〃 SM-403	〃	〃	150	110	100	320	1.0	100	25	
〃 TM-603	〃	〃	200	130	110	400	3.6	100	30	
フジスペル	富士精機	〃	100	52	80	150	1.5	100	20	
ミニ・クリート	極東開発機械工業	スクウィーズポンプ					6.0	200	50	

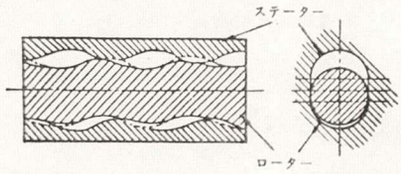
図—1　ピストン式ポンプの機構



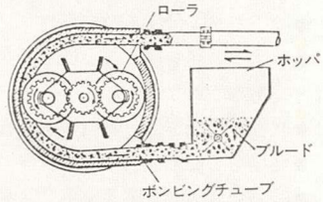
図—2　モルタルポンプ（新明和MM—40型）



図—3　スネーク式ポンプの機構



図—4　スクウィーズ式ポンプ



写真—2　モルタルの圧送と床仕上げ状況



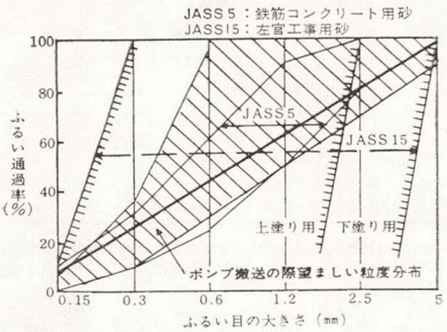
写真—3　外壁面上吹き作業中



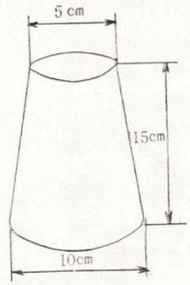
写真—4　内壁面下吹き作業中



図—5　砂の粒度分布



図—6　左官用小型スランプコーン



表—2　モルタルの軟度

	普通コンクリート下地	軽量コンクリート下地
床	スランプ50～75mm	55～80mm
壁下吹き	〃 75～90mm	80～100mm
壁中吹き	〃 60～80mm	60～80mm
壁上吹き	〃 75mm	75mm

なお，**表—1**は各種モルタルポンプの一覧表である。

3.　モルタルの圧送および吹き付け

(1)　材　　料

A　砂：モルタルをポンプで圧送する場合，砂の粒度が最も圧送に影響を及ぼす。そのほかにも，砂の粒径，比重，吸水量なども影響を持っている。モルタルに使用する砂の粒度については，JASS 15 で規定されているが，モルタルポンプで圧送する場合は，**図—5**に示す粒度分布の砂が適切である。0.15mm以下の細砂が5～15%程度必要であり，細砂の粒度分布が悪いと圧送不能の事故となるので，フライアッシュのような微粉末を適当に混和する必要がある。

山砂を用いる場合は，粒度が一定範囲にかたよるので水比が増加し，圧送が困難になる。また，粒径が角ばっており，機械の摩耗が激しいので使用をさけることが望ましい。

B　混和材料（混和材，混和剤）：混和材料は，砂の粒度分布が良好で富調合（1：2）のモルタルの場合には添加しなくてもよいが，通常，ポンパビリティ（ポンプ搬送の難易）の向上，保水性および作業性の向上，材料の分離防止などのために下記のような混和材料を，セメント量に対して下記のような割合で使用している。しかし，混和剤は，その添加量を多くするとモルタルの圧送量が減少するので，必要以上使用しないよう注意する必要がある。

- ●混和材……フライアッシュ　10%，消石灰およびドロマイトプラスター　10～20%
- ●混和剤……メチルセルロース（MC）およびポリビニルアルコール（PVA）　0.05～0.1%

(2)　調　　合

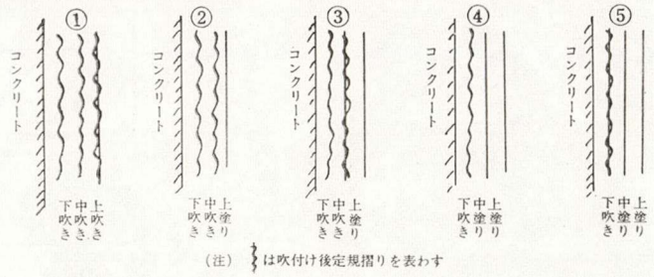
モルタルの調合は，施工後の浮き，ひびわれなどや施工軟度に大きく影響するので慎重な検討が必要であるが，モルタルの送りやすさからみれば，細かい砂の場合は，1：3，あらい砂の場合は1：2が適している。

(3)　軟　　度

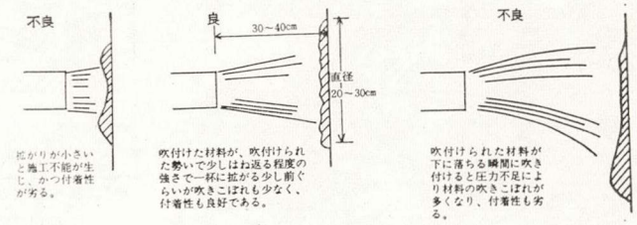
モルタルの軟度を大きくすると，モルタルの圧送量は増加するが，それだけ材料の分離も多くなるので，圧送不能の事故が起こりやすい。モルタルをポンプで吹き付ける場合，モルタルがある一定のかたさを維持していなければ，吹き付けを行なっても流れて下地に付着しない。

圧送に適するモルタルのやわらかさは，**図—6**に示すような小型スランプコーンで8～10cm程であるが，砂の粒度，モルタルの調合，ホースの状態，混和剤の混入程度などによって異なるので，十分な検討が必要である。

図—7　モルタルの仕上げ方法



図—8　モルタルの吹き付け要領⑦



参考までに実例をあげれば**表—2**のようになる。

(4)　混　　練

モルタルの混練が不十分な場合，砂とセメントが分離して圧送不能の事故となる。適正な混練時間は5～10分程度で，これより長時間ミキサーで混練したモルタルは，圧送することができても仕上げが困難となることが多い。

(5)　仕上げ方法

モルタルポンプで吹き付けを行なう場合の仕上げ方法は，下地の種類や仕上げ厚により種々異なるが，3回塗りの場合には，**図—7**のような仕上げ方法がある。

各種仕上げ方法のそれぞれの特徴は次のとおりである。

- ●①は，すぐれたノズルマンが要求され定規ずりによってロスが生ずるが，最もポンプによる吹き付け工法の利点を生かしたものである。
- ●②および③は，①よりも表面を平滑に仕上げやすいが，②の場合には中吹きのでこぼこが影響して上塗りの塗り厚が不均一になり，仕上げ面のきれつ発生の原因となるおそれがある。
- ●④および⑤は，3層のうち1層のみがポンプ吹き付け施工であるため，モルタルポンプ使用のメリットが半減する。⑤の場合には，コンクリート面への付着強さが低下する。（**図—10**参照）

(6)　圧送と吹き付け施工

A　モルタル圧送（搬送）：モルタルポンプをモルタル荷揚用機械として，太径の搬送用ホースによりモルタルを圧送する。（この場合はノズルを使用しない。）連続して大量のモルタルを圧送できることから，主として床仕上げ用モルタルの搬送に使用されており，その他，壁塗り用モルタルの搬送にも利用されている。

床モルタルの場合の調合および仕様例を**表—3**に示す。

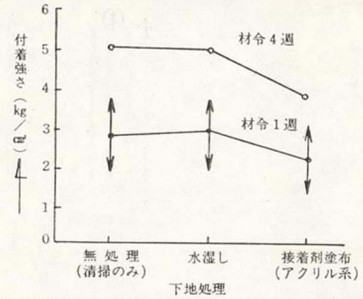
B　壁のモルタル吹き付け：モルタルポンプによる壁モルタルの吹き付けは，ホースの先端にノズルを取り付けて2.4kg/cm²程度の圧さく空気で行なう。モルタルを締め固め，下地によく密着させるためには，ノズルを吹き付け面と直角に，かつ吹き付け面までの間隔を30～40cm程度になるように吹き付けを行なうことが必要である。（**図—8**参照）

吹き付け前の下地コンクリートの水しめしは，普通コンクリートでは前日に行なうことが好ましい。軽量コンクリートの場合は，下地面の水洗いは行なわずに清掃だけを実施し，やや軟練りのモルタルを吹き付ける方が付着は良好である。

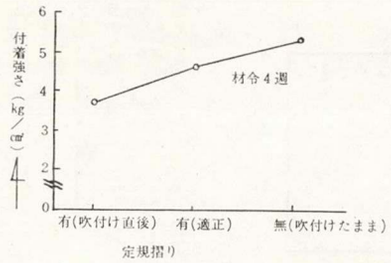
壁モルタルの場合の調合および仕様例を**表—4**に示す。

C　ラス面のモルタル吹き付け：メタルラス面にモルタルを吹き付ける場合には，ラス面と直角に吹き付けるとモルタルが付着しないので，ラス面の線が最も広く見える角度から吹き付けることが必要である。

図—9　下地処理と付着強さの関係 ③



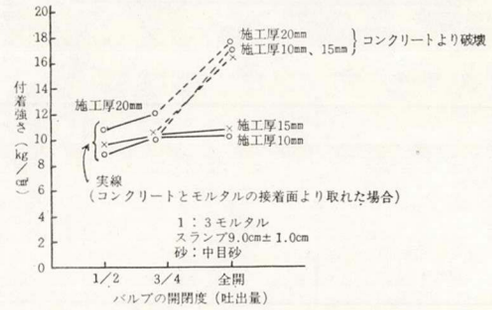
図—10　定規摺りと付着強さの関係 ③



表—5 ポンプによる吹き付けと手塗りの場合のモルタル強度（kg/cm²）②

モルタル	砂	方法	強度（乾燥養生） 7日 曲げ	7日 圧縮	28日 曲げ	28日 圧縮	備考
1	中目砂	吹付け	30.8	118	54.7	242	1：2
		手塗り	30.0	110	50.7	223	モルタル
2	粗砂7 細砂3	吹付け			55.0	259	1：2
		手塗り			49.7	227	モルタル
3	粗砂5 細砂5	呼付け			50.7	230	1：2
		手塗り			47.9	210	モルタル

図—11　バルブの開閉度とコンクリートに対するモルタルの付着強さ（合板型枠使用コンクリート面）②



(7)　圧送不能

次のような場合はモルタルの圧送が不能となる。

- ●カップリングなど各部に漏れがある場合
- ●砂の粒度が悪く，材料が分離した場合
- ●モルタル圧送中のポンプの運転を長時間中断した場合（15分程度の中断は別に支障をきたさないが，それ以上中断する場合はホース内のモルタルを完全に排出すること）
- ●急角度にホースを配管した場合
- ●混練が不十分な場合
- ●モルタルの調合が貧調合すぎた場合

4.　吹き付け施工したモルタルの性質（手塗りモルタルとの比較）

(1)　密　　度（容量）

表—3　床モルタルの調合および仕様例

塗層	塗厚	調合比 セメント	砂	混和剤	仕様
下塗（ノロ圧送）		1		セメント1袋に対しPVA 50g混入	塗付け直前にコンクリート面を清掃水洗いした後ノロこすりをおこない櫛木目を入れる。
上塗（モルタル圧送）	30mm	1	3		塗厚が40mm以上の場合は付け送りをするが，40mm以下の場合は当日上塗をおこない鏝押仕上をする。定規の貼付間隔は1.8m以内とする。

表—4　内・外壁モルタルの調合および仕様例

	塗層	塗厚(mm)	調合比 セメント	砂	混和剤	仕様
外壁仕上	下吹き	10	1	2	セメント1袋に対しPVA 50g混入	吹付け前に下地コンクリート面(合板型枠を使用)をワイヤーブラシで清掃し，水しめしをおこなってから吹付けをする。吹付け厚はドライアウトを生じない程度以上の厚さとする。
	中吹き	10	1	3		下吹きから約1週間後に中吹きをおこない，定規摺りをしながら平坦に仕上げる。
	上吹き	10	1	3		中吹き後約1週間ほど経過してから上吹きをおこない，細目刷毛引き仕上をする。
内壁仕上	下吹き	10	1	2	セメント1袋に対しPVA 50g混入	吹付け前に清掃・水しめしをおこなってから下吹きをする。
	上塗り	10	1	3	セメント1袋に対しプラスター50g混入	当該現場は，柱および梁型の出隅入隅部が役物仕上のため，上塗は在来の手塗り工法で鏝押仕上をおこなった。

注　モルタル圧送に先だって，ノロ（セメントペースト，この量はセメント½～1袋程度）をポンプで圧送するから，最初のモルタルは若干富調合となる。

手塗りに比べ，吹き付け施工したものの方が4～5%程度密度が高くなっており，空気圧による締め固めの効果は相当大きい。

(2)　曲げ・圧縮強度

手塗りで施工した場合と比較して，吹き付け施工したものの方が約10%程度強度がアップしている。（表—5参照）

(3)　吸 水 性

両者とも大差なく，この程度の締め固めでは吸水性は改善されない。

(4)　付着強さ

下地コンクリートに対するモルタルの付着強さは，種々の要因でその値が異なるが，一般的には手塗りに比べ，モルタルポンプで吹き付けたものの方が良好である。吹き付けの場合は，下地コンクリートにノロ刷きや接着剤の塗布処理を行なわなくても，モルタルは十分に付着するが，吹き付け直後に定規ずりを行なうと，定規ずりを行なわないときよりもかなり付着強さが低下するので，その施工時期を十分に検討することが必要である。（図—9，10参照）

また，モルタルの圧送量がモルタルとコンクリートの付着に相当大きく影響することが研究発表されているから，吹き付けに際してはバルブを全開にして圧送量を最大にして吹き付けることが望ましい。（図—11参照）

(5)　ひびわれ性

モルタルのひびわれは，ポンプで吹き付けを行なってもとくに減少するようなことはないが，下地コンクリートとモルタルとの付着は吹き付けを行なったものの方がはるかにすぐれているため，ひびわれが生じたものでもきれつが分散して，浮きわれやはく離はほとんどなかった。

引用ならびに参考文献

① 土岐高史・田中稲英・梶野　洋著：モルタルポンプ，建築技術　1967.12　1968.1　建築技術
② 土岐高史・田中稲英著：モルタルポンプについて，セメントコンクリート　1968.8　セメント協会
③ 仁平久信・牟田紀一郎著：左官用吹付機械による施工上の諸問題，建設資料　1967.12　建設総合資料社
④ 仁平久信・金子三郎：建築用吹き付け機械，建設資料　1967.12　建設総合資料社
⑤ 上村克郎：左官用モルタルおよび軽量コンクリートの最近の動向，昭和42年度建築研究所秋季講習会テキスト
⑥ 建築施工機材総覧編集会編：建築施工機材総覧，建設資材研究会
⑦ 青木正幸著：モルタル吹付機テキスト，新明和工業

（こしもとまさひろ，かたぐちさちひこ　㈱大林組本店工務部）

戦後の建築運動史

関西における25年の歩み

NAC建築運動史部会

5

Ⅳ　都市問題と建築運動

Ⅳ－1　NACの誕生

NAC（新建築家集団）は1960年に誕生した。それまでの新日本建築家集団（NAU）の大阪支部（NAUO），京都支部（NAUK），鳥取支部（NAUT）の3支部を基礎にして結成された。したがって，NAU3支部の一切の物質的精神的遺産をひきついでいる。しかも綱領をもった建築運動団体として再発足したものである。

それまでのNAUOとしては，NAU本部が1951年ごろ自然消滅の形をとってからも，建築運動団体として，全国的な組織ができれば，それに統合して，会名の名称も組織もそれにしたがうというようなことを真剣に考えていた。その間，東京では，前述したように，「建研連」以後の建築インターの活動，総評会館設計の運動を通じて「**建築会議**」の結成の動きもみられたが，東京と大阪とは緊密な連けいをとる体制にいたらず，統一化の動きは当分断念せざるを得なかった。そこで，NAUOとしては，1955年12月の総会で，本部なきあとのNAU再建問題の討議をはじめ，翌56年1月には，NAUO，NAUK，NAUTと3者で，とりあえずNAU連絡協議会を設けたのであった。

およそ，正式には本部のない支部とはおかしいわけでそのことが，それまで問題になりながら，しいてあらためなかったのは，統一の組織ができてからあらためるという態度をもっていたからにほかならなかった。

しかしながら，世の情勢は急速に変化していった。1960年には，安保闘争があり，会員の一部はそれぞれ個々に民主団体や労組といっしょに参加した。東京では「民主主義を守る建築会議」が結成され，安保反対ののろしをあげた。そうした安保闘争のさなかにあって，一方，「**都市問題**」が急速に，建築家，建築技術者の間にクローズアップされつつあった。コンビナート建設や都市建設が海に山に都市にこだまし，建築家は都市づいてきたといわれたりした。こうした一種のうかれた風潮が建築家の間にまんえんしはじめた。

しかしながら，この「都市問題」の激化は何を意味するか。それを本質的につかみ，うかれた都市づいた建築風潮ではなしに建築家・建築技術者として，その矛盾点をはっきり示し，建築大衆とともに，建築界ならびに住民と運動を進めなければならないと痛感しだした。もはや，東京との統一化の動きが，種々の事情でできぬにしても，安保の問題と並んで，都市問題――公害の静かなる進行も含めて――，環境悪化，生活空間の破壊と闘わなければだれがやるのかと，NAUOはじめ，**NAU連絡協議会**のメンバーは真剣に討議した。

そこで，NAUOが中心となって，NAU連絡協議会のNAUK，NAUTの会員を含めて，**新らしい組織の再発足のための準備委員会**をつくり，綱領草案，新組織のあり方などについて，数回にわたって協議した。準備担当委員には，上林博雄，田代正尚，松井昭光が選ばれ，それぞれ分担して，その作業にあたった。新らしい綱領文案についても，会員にアンケートしたりしてまとめていった。

そして，1960年11月20日，兵庫県宝塚の中山寺で新発足の**創立総会**を開くことになった。これは，いわば，NAU大阪支部，京都支部，鳥取支部の閉会式でもあり，かつ新建築家集団（NAC）としての創立でもあった。参加者は18名であったが，50人ぐらいの会合だったという人もあるぐらい，発言が活発になされた。会名も新建築家集団，新建築家クラブ，日本建築家集団，社会建築家集団，関西建築家集団，建築家集団など提案され，ずいぶんもめたが，結局，新建築家集団と決定された。

綱領は，第1回の総会では，わかりやすくするため，「**会の方針**」（資料Ⅳ－1参照）と呼んだが，**第2回総会**（1961年）において「**綱領**」とあらため，かつ，第1回総会での「**都市計画に関心をもち，あたらしい都市の姿をえがきだそう**」という綱領3の文案を，はげしい討議をへて，第2回総会において「**国土を荒廃から守り，住みよい国や都市の創造のために力をあわせよう**」とあらためられたのである。（資料Ⅳ－2参照）

「都市問題」の激化に対して，ある会員よりでた「都市計画とは，そもそも民主的進歩的なものであり，これをただしく堅持していけば，都市のあるべき姿は示せるはずだ」という意見に対し，「現下の都市計画の本質は独占資本のためのものであり，その都市計画の美名のもとに強行される開発は，住民の側からみれば，都市の環境破壊につながる。われわれはあたらしい生活空間をつくりだす役目がある。この際，都市問題の本質とその矛盾をつくべきだ」という意見がでて大討論になった。その結果，西山夘三会員の提案もあって，「国土を荒廃から守り，……」の**綱領3**が定着したのであった。

この綱領にもられたことは，四日市公害をはじめとする，その後の各地域の公害問題の顕在化，計画の歪曲化，自然の破壊，その他さまざまの姿と形をもって，地域住民の前にあらわれてきた。「日本列島の将来像」でなくて「公害列島」の現実化となってあらわれてきたことはいまや常識となった。この点，NACとしては，まだ一般にその本質がつかまれていなかった1960年の当初から，すでにこの「荒廃化」の問題と本質を指摘し，住みよい空間をつくるために運動を進めなければならないと力説し，これを綱領にうたったことは，建築運動団体として他にはない。こういう点からみても，綱領3は，先駆的意義をもつ綱領であるといえよう。

しかし，「国土を荒廃から守り，住みよい国や都市の創造のために力をあわせよう」というこの綱領3は，綱領1であるところの「**建築を社会の発展とつながりのなかでただしくつかもう**」という社会の発展法則（哲学）との連関のもとで生きてくるものである。さらに綱領2の「**国民の平和と幸福のための建築創造をつよめよう**」という，だれのために建築設計や建設をすすめるのかという創造のあり方（実践）と結びついている。このように，綱領1，2，3は互いに結びついているものである。

こうして，NACは**会則**（資料Ⅳ－3参照）も決め，綱領をもった建築運動団体として新発足した。

以下，NACとして，最初にとりくんだカンパニヤとして「**西山夘三中国帰朝報告会**」（1960年12月）と「**日中建築交流センター**」設立運動（1961年）があり，また，創造のあり方と結びついた「**労住研**」や「**労福研**」などの活動や，民族遺産の保存に関する運動など展開していくことになる。これらについては，後章でふれるとして，ここでは，都市問題と結びついた例会活動や部会活動について記してみよう。

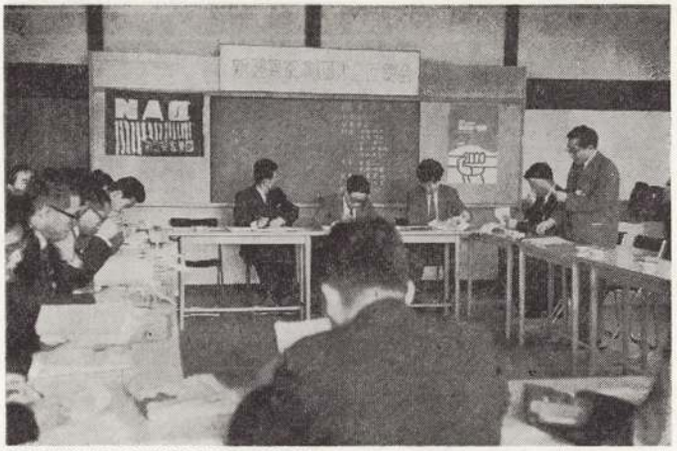
Ⅳ－2　例会活動および部会活動

都市問題は建築家・建築技術者にとって深い関心事であるばかりでない。単に建築の造型手法でもって都市を考える「都市づいた」技法に焦点があるのではない。国土の計画のにない手として，こんにちの激化する都市問題の矛盾点をあきらかにし，国土や都市空間の荒廃化の原因をつき，その上で，住民の立場にたった計画のあり方，生活と空間の原理を追求し深めていくことは，きわめて重要かつ必要になってきている。

1960年代はそういう時代であった。**高度成長政策**のかげでおろそかに



1961年5月　大阪のメーデー参加


第2回総会風景（1961年11月19日　於宇治）
この総会で歴史的な綱領「国土を荒廃から守り，住みよい国や都市の創造のために力をあわせよう」を採択した。

される生活空間，総合開発や都市計画・再開発の名で進行しつつある**「環境悪化」**，公害の慢性化などに対して，住民としても，計画者・技術者としても，どう対処していけばよいのか。これが何よりもNACにかけられた問題であった。NAUOの時代には，「都市および地方計画研究会」が，NAUOの友好団体としてつくられて活動してきたが，それはどちらかといえば，官製の都市計画を中心に論議してきたものであった。NACになってからは，視点を「計画と住民とのつながり」のなかに求めたということができる。

例会活動は，NAC活動の中心柱である。単に講師を呼んで話を聞くという実用的な勉強会的な意味のものでもない。講師は問題提供者・助言者という形できてもらい，ひとつのテーマについて皆でつっこんで討論して，問題点や矛盾点をえぐりだす方法をとりながら，会員および会員外の来会者の意識を高めるという点に，中心のポイントがおかれた。いわば，一種の**運動体**としての性格をもつものであった。これに対して**部会活動**は，必要に応じて編成され，ひとつの問題について，継続的につっこんで勉強していき，それを会員全員の例会なりニュースへ返していくという，いわば**学習体**としての性格をもつものであった。

NACは，この例会および部会活動を，毎月，必要に応じて開催してきた。もちろん，NAUO時代でも，「市民は建築家に何を望むか――民衆と建築家との関連について市民をまじえての討論会」，「オーディトリアムや公会堂の研究会」「都市再開発・住宅問題の討論会」，「将来の建築界の動向シンポジウム」等々の例会をもってきたが，1960年代のNAC時代になって，かなり，系統的に都市問題を中心にして，テーマの設定，講師の選定，討論のやり方に工夫をこらしてきた。60年代当初には，メーデーにも参加し，「独占本位の都市計画反対」，「都市計画は民主的に，国民のための都市建設を」というプラカードをかかげて行進したりした。

いま，年表から整理して，1961年から64年までの例会をタイプ別にみると，つぎのとおりである。

1. 労働者住宅の未来像
2. 諸外国の都市問題と住宅問題
3. 都市再開発と民族遺産
4. 地域開発と住宅問題
5. 公害問題
6. 福祉施設（市民ホール・教育施設）問題

「労働者住宅の未来像」は，部会の一種でもある「労住研」の結成にともなって討論され，総評の文化部で結成されている関西国民文化会議とNACとの合同で，「労働者住宅・新都市建設の未来像について」（61年9月）討論された。

「諸外国の都市問題と住宅問題」についてはソ連，イタリア，東欧，オランダ，イスラエル，キューバ等々の実例について理解を深めた。

「都市再開発と民族遺産」については，平城京跡，難波宮跡などについて，あるいは「日本破壊の共犯者としての建築家」などで討論した。そして，62年の第3回総会の決議にしたがい，記者会見をして，**「平城京跡，難波宮跡を守り，奈良公園の環境破壊に反対する」**声明書を新聞紙上に発表した（1962年12月）。あるいは，例会討論と見学ののち，京都の都市景観悪化に反対して**「京都タワーについて」**の反対声明を各方面に発送した（1964年8月）。

「地域開発と住宅問題」では，堺臨海工業地帯造成にともなう後背地の住宅問題や，「百万都市」についての批判，阪神都市圏の問題等々，政府や自治体の地域開発の本質について批判的に討論している。堺のコンビナートの建設現場を総評と一緒にランチにのって海から見学したりしたことも含めて，NACとしてこの問題について数回にわたって討論したが，この堺のコンビナートは，地形・風向からみて必ずや，背景地に公害問題を生ぜしめるであろうと警告したりしたものであった。事態はまさにその通りになった。

「公害問題」の部では，岩波書店からだされた"恐るべき公害"をテキストにして，建築技術者なりに，建築とのかかわりのなかで，会員が自らチューター・レポーターとなって報告し討論した（1964年）。

「福祉施設問題」については，当時，労音・労演などが中心となって**「大阪府市民の会館建設を進める会」**がつくられた運動に，NACとして参加し，そのなかで「大阪の公共ホールの問題」，あるいは「大阪市の社会福祉施設」について討論したものである（1963年）。

この期間に，部会として，「地域開発・都市計画部会」と「建設産業・プレハブ部会」の二つが結成された。**「地域開発・都市計画部会」**（部長：中村綱）では，当時，小畑忠良大阪府知事選革新統一候補のテキストであった「大阪のあすを築く」を中心に，大阪の都市計画について将来像を討論したものである。**「建設産業・プレハブ部会」**（部長：松井昭光）では，森脇久嘉が，中心となって「建設市場における企業進出」の実態をあきらかにした。これは，建設産業プレハブ市場へのプレハブメーカー，商社などのニューエントリーの問題として，先駆的な資料ともいえよう。「平和展部会」は不幸にして結実しなかった。

つぎに，1965年から69年までの例会や部会活動をみてみよう。
タイプ別にわけると例会活動はつぎのとおりである。

1. 民主化シリーズ
2. 国土利用論
3. 開発と破壊（地域開発と公害問題）
4. 万博問題

このうち「民主化シリーズ」と「万博問題」は次章に廻すとして「国土利用論」と「開発と破壊」の年間テーマをめぐっての討論にふれる。

1965年の「奈良計画」「千里ニュータウン近隣施設」の検討をへて，1966年の年間テーマを**「国土利用論」**にすることにきめた第6回総会の



NAC発行の新建ニュースと総会議案書

決議にしたがって「オランダの地域開発」からはじまり，西山研究室の「国土における生活空間の構想」を検討し，つづいて丹下健三著の「日本列島の将来像」の検討を行なった。両構想はそれぞれ対照的であり，建築技術者として国土開発の焦点をはっきりさせる上で収穫多い例会であった。これは1966年末に「**国土利用ヴィジョン論**」をめぐって総括され，そのメモは新建ニュースにのせられたが，総まとめは発表するにいたらなかった。また，これと前後して会員によって「ヴィジョン論の社会的背景――プランニングの二つの型」（国際建築66年8月号）として発表されたりした。

67年から68年にかけて，年間テーマを「**開発と破壊**」にしぼり，「再開発の区分所有問題」「都市不良住宅地区の再開発」「都市化に伴う災厄の予測」「大都市内部の居住地と居住者の地域評価」「民間分譲住宅建設の特徴」「公害をもたらすものは何か」「わが国における地域開発のパターンとその展開」というテーマで討論してきた。講師たちも熱心に話題を提供された。とくに社会科学の学者である宮本憲一助教授や，儀我壮一郎教授の話には教えられるところが多かった。これらの討論議事内容は，NACの「**新建ニュース**」に収録されているが，その一節を引用すれば，つぎのとおりである。

「公害の定義を私たちは，およそ次のように考えています。それは資本主義生産に附随して発生する社会的災害ということです。（中略）公害に対して，①単に技術の問題あるいは都市化の問題としてみる立場，②資本主義の生産関係とむすびつける立場とがある。およそふたつの見方があるように思います。私がお話ししようとする立場は後者であることはもちろんです。たとえば，企業が単に技術だけの問題ではないということは，資本が公害防止に対する投資はできるだけ節約しようとすることからもわかります。自動車の排気ガスの研究をはじめる動機がアメリカの排出基準がきびしくなったというきわめて資本の利潤とむすびついた動機です。またWHOの資料によって全世界の大気汚染の技術や調査の活動数の変化をみると，大気汚染の研究は，戦争や経済恐慌に大きく影響をうけている。つまり，大気汚染あるいは公害の研究は，好況期はやるが，不況になるとやめるといった，余裕のあるときだけおこなう研究すなわち『**限界研究―Marginal Activity**』というわけです。こうして公害防止技術のおくれにも資本の性格があらわれています」（宮本憲一の話）

ここで「**限界研究**」ということの意味を教えられたり，また，**古い公害と新らしい公害との二重性**，あるいは**公害の私害化**，**公害の国際性**なども教えられたものである。「地域開発」や「公害問題」における「**三島・沼津型」の住民運動の役割**や，**労働組合の役割**にも教えられた。「コンビナートの労働組合が企業内に封じこめられており，住民とは逆の立場をとりやすいことである。労働組合が地域住民や民主団体と手をむすんで運動することがぜひ必要でしょう」（儀我壮一郎）という話にも教えられるところがあった。

このほか，例会活動として，建築技術者の実態調査や「計画と住民」のテーマで開催されている。

つぎにこの期間における部会活動としては，「建築運動史作成部会」と「社会と建築特別部会」がある。1967年に「**建築運動史作成部会**」を設置して3カ年にわたって，年表の作成，資料の整理蒐集，先輩たちの聞きとり，原稿の作成などの作業をこんにちまで続けてきたことは特筆に値いしよう。この部会の成果は折にふれて，例会で会員に報告し，意見を求めたりしてきた。（本原稿はその成果の一部である）

同じく67年初頭に，「**社会と建築特別部会**」をつくって，NAC綱領である「建築を社会の発展とつながりのなかでただしくつかもう」という主張の内容を，この際，会員で討論して原稿にまとめようとしたものであった。くわしくは後章にゆずる。

なお，総会は毎年開催し，1970年までに10回の総会を開催し，会則にのっとって委員役員を選出し，運動方針を決めてきたが，新建NACのひとつの名物として，**前夜祭**（総会の前夜で泊り込みの討論会形式）などをつぎのテーマで開催してきたことは特徴的であった。

- 第2回総会前夜祭（61年11月18日）……日本の建設産業構造の諸問題
- 第3回総会前夜祭（62年11月22日）……労働者福祉施設のあり方
- 第4回総会アトラクション（63年11月24日）…ラスベガスの空港とメキシコの住宅
- 第5回総会前夜祭（64年11月28日）……北京科学シンポジウムと日中建築の交流
- 第6回総会前夜祭（65年11月20日）……ヨーロッパ：風土，住宅，街
- 第7回総会前夜祭（66年11月26日）……ヨーロッパの都市とびあるき
- 第8回総会特別議題（67年11月26日）……万博問題
- 第9回総会前夜祭（68年11月30日）……建築運動の全国組織をめざして
- 第10回総会前夜祭（70年1月24日）……建築界の70年代を考える

●資料Ⅳ―1

新建築家集団「会の方針」（1960年11月20日）

1. 建築を社会の発展とつながりのなかでただしくつかもう。
2. 国民の平和と幸福のための建築創造をつよめよう。
3. 都市計画に関心をもち，あたらしい都市の姿をえがきだそう。

●Ⅳ資料―2

新建築家集団（NAC）

わが国における第2次大戦後の民主化運動のなかで，建築界においては，1946年6月新日本建築家集団（NAU）が結成され，建築界の民主化をはかるとともに，新しい建築文化の樹立を目ざして精力的な活動をおこなった。

しかし，1950年ごろから，NAUは内部矛盾と社会情勢の変化によってその本部活動をほとんど停止するに至った。

一方，関西でNAU支部は地域の建築界の民主勢力としての諸活動を継続し組織を維持してきた。

1960年11月わたしたちはNAUの伝統をまもってきた近畿3支部を基礎とし，改めて新建築家集団（NAC）を創立した。以後1カ年の活動と状勢分析を通じ，次の新しい綱領をかかげて叡智と気力ある建築技術者に呼びかける。（1961年11月19日）

綱　領

1　建築を社会の発展とつながりのなかでただしくつかもう。
2　国民の平和と幸福のための建築創造をつよめよう。
3　国土を荒廃から守り，住みよい国や都市の創造のために力をあわせよう。

●資料Ⅳ―3

新建築家集団

会　則　（1960.11.20　創立総会）

1	名　称	この会を新建築家集団とよぶ（略称　新建NAC―New Architects Circle―）
2	会　員	この会は綱領に賛同する正会員および賛助会員で構成する。 入会希望者は委員会の承諾を得て入会することができる。 脱会希望者は会に届け出て脱会することができる。（い）（は）
3	事務所	会の事務所を大阪市内におく。
4	会　計	会の会計は会費，寄付金と会の事業収益をあてる。 会計監査は，会員の中から総会で1名以上選び出す。
5	会　費	会費は正会員年間1,000円（学生年間800円） 賛助会員年間1口5,000円とする。 正会員の入会金は100円とする。（ろ）（は）
6	委員会	会に若干名の委員をおく。委員は委員会を組織して，会の綱領会則および総会での決議にしたがって会務を執行する。 委員は会員の中から総会で選び出す。
7	委員長	委員長は，総会で委員の中から選びだす。 委員長は会を代表する。
8	総　会	総会は年に一回ひらく。ただし正会員の3分の1以上または委員会の要請があれば臨時にひらくことができる。総会は出席者の過半数の決によって決議することができる。ただし賛助会員は議決権をもたない。（は）
9	委員会	委員会は毎月1回以上ひらき，委員総員の過半数の出席がなければ流会にする。 委員会は出席者の過半数によって，決議することができる。 委員会での小数意見は尊重する。
10	部　会	会の綱領にしたがって，部会をおくことができる。
11	会則の変更	会則は総会の決議によって変更することができる。

1961年11月19日改正（い）　1963年11月24日改正（ろ）
1964年11月29日改正（は）

1960年（昭和35年） 年表

東京のうごきは主要なもののみ。

関西のうごき ●大阪（NAC・その他）	東京のうごき	関連事項
● 1. 1960年代を迎えての新春座談会（石谷清幹・中谷利兵衛）		● 1. 民社党発足
● 4. 住宅需要について討論会（西山夘三ほか） ● 4. 新建新組織結成大会準備はじまる	● 4. メタボリズム第1宣言	
	● 6. 五期会活動停止 ● 6. 民主々義を守る建築会議	● 6. 安保阻止国民会議 新安保条約自然成立 ● 7. 池田内閣成立
● 9. ソ連の現代建築について（浦辺鎮太郎）		
●11. 新建築家集団（NAC）設立総会（中山寺） ●12. 西山夘三氏中国帰朝報告会		●12. 第2次池田内閣 国民所得倍増計画

1961年（昭和36年）

（例）は例会。東京のうごきは不明のため一応空欄。

関西のうごき ●大阪（NAC・その他）◀日中建築交流センター	東京のうごき	関連事項
● 1.（例） ル・コルビュジェについての討論会（西沢文隆） ● 2. 労働者住宅問題研究会（労住研） ● 2.（例） 住宅量産化をめぐる諸問題についての討論会 ● 3.（例） 阪神都市圏と住宅問題をめぐる討論会（西山夘三） ● 4. 新建事務所連絡会発会 ● 5. メーデー参加 ● 5.（例） 今井兼次先生を囲む懇談会 ● 5.「加古川労働者住宅団地第1次建築計画案」（労住研） ● 6.（例） 女性建築家との懇親会 ● 8.（例） 建築学生会議との懇談会 ● 9.（例） 労働者住宅新都市建設の未来像について （関西国民文化会議と新建との討論会） ◀11. 日中建築交流センター設立総会（近畿建築会館） （記念講演「新中国における建築芸術論」西山夘三） ●11. 第2回総会（日本レイヨン労連会館） 同前夜祭：日本の建設産業構造の諸問題（松井昭光） ●12.「城陽団地建設計画リポート・1962」（労住研）		● 4. ソ連，人間衛星第1号

1962年（昭和37年）

（例）は例会

関西のうごき ●大阪（NAC・その他）	東京のうごき	関連事項
● 1.（例） あたらしい住居学の課題をめぐる討論会（上林博雄・扇田信） ● 2.（例） 堺臨海工業地帯造成に伴う後背地の住宅地整備について（泉貢一郎） ● 3. 労働者福祉施設研究所準備はじまる ● 3.（例） 堺臨海工業地帯造成にともなう旧市街地再開発の諸問題（絹谷祐規ほか） ● 4. 講演会・ソ連の建築の新傾向について（中村登一） ● 5. メーデー参加 ● 5.（例） 団地設計技術上の諸問題（寺内信・角橋徹也） ● 5. 香里団地と京都会館見学会懇親会（新建事務所連絡会） ● 6.（例） ソ連建築家とのこんだん会（ビリンキン・ホムトフ） ● 6. 建設労働研究会（北摂山荘・関西建設労組懇談会） ● 7.（例） オランダの都市建設と住宅建設（三輪雅久） ● 9. 労働者福祉施設研究所（労福研）正式発会 ● 9.（例） イスラエルの村落計画とその生活（山根常男） ●10.（例） 枚方既製服団地計画討論会（水谷穎介） ●11. 第3回総会（大阪市健保宝塚寮） 同前夜祭：労働者福祉施設のあり方パネルディスカッション 地域開発都市計画部会，建設産業プレハブ部会決まる ●12. 記者会見 平城京跡，難波宮跡を守り，奈良公園の環境破壊に反対する声明書発表 ●12. 中国建築工会代表歓迎レセプション（関西建設労組懇談会） ●12.（例） 都市開発と民族遺産について（沢村仁・直木）		●10. キューバ危機

1963年（昭和38年）

（例）は例会

関西のうごき ●大阪（NAC・その他）◀日中建築交流センター	東京のうごき	関連事項
● 1.（例） 日本破壊の共犯者としての建築家討論会 ● 2.（例） 欧州の住宅政策と都市計画―イタリヤのイナカサ計画―（小野義彦） ● 3.（例） いわゆる文化住宅と「アパート」をめぐる問題（黒田，岸本，水島，中沢） ● 4.（例） 百万都市についての問題点（儀我荘一郎） ◀ 4. 第2回総会 同講演会「最近の中国建築界について」 （向井正也，石原正雄，西山夘三） ● 5. メーデー参加 ● 5.（例） ライトのタリアセンについて（天野太郎） ● 6.（例） 大阪の公共ホールについて（大門昌博） ● 7.（例） 大阪市の社会教育施設（西宮 侃） ● 8.（例） ハイウェーを走る会―近江八幡国民休暇村見学（夏期レクリエーション） ● 9.（例） 建設市場における企業進出について（森脇久嘉） ◀ 9. 日中建築交流センターニュース第1号発行 ◀ 9.（例） 最近の中国のホール建築について（黄進興） ●10.（例） ソ連と東欧の建築について（三輪泰司） ●11. 第4回総会（中央公会堂） 同アトラクション：ラスベガスの空港とメキシコの住宅（今西茂雄） ●12.（例） 大阪市の再開発（上村正人）		● 8. 部分核停条約調印（米英ソ） ●12. 第3回池田内閣

■ マチヤの論理

歴史を通じて人間社会は生産、流通、消費のサイクルをスパイラルに発展させてきた。生産の場、流通の場、消費の場という3つの大きな空間のカテゴリーが、われわれの社会的空間の中にうきだす。生産や流通の場は消費の場（生活空間）を支える基礎構造であり、この3者は根、茎、花にもたとえられよう。生活空間はそれゆえ「文化」という花を咲かせる場でなければならない。このような一連の関係は社会系という有機体であり、自然系の中に発展的なネットワークをはりめぐらし、成長していく。

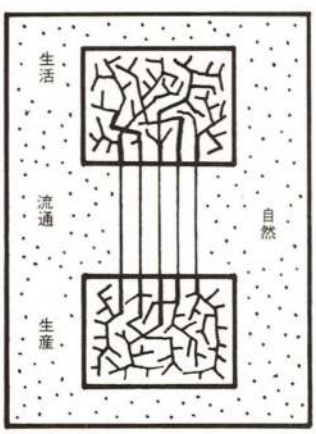
生活空間の中に、居住空間という一群の住宅の集積する場がある。そしてこの居住空間は社会的空間の中でもっとも広範なエリアを占め、またこの空間の質（文化度）がとりもなおさず社会発展の指標である。マチヤ群はそのような質をもつ貴重な存在であり、たとえばローヂウラ長屋は老朽化、不衛生から単純にこれを不良住宅としてかたずけられないものをもっているのである。

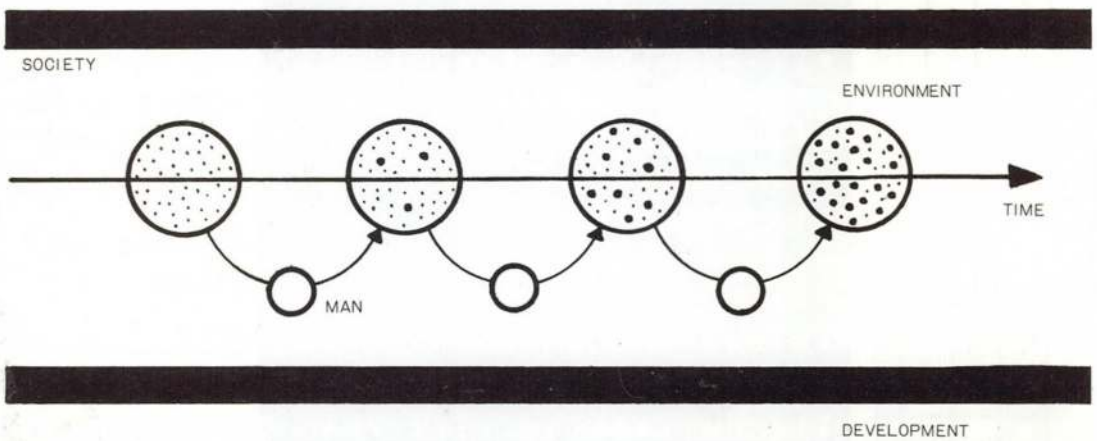
われわれのサーベイは空間的（マチヤ及びその群構成）、社会的（生活実態）、意識的（生活意識）の3つのアングルを当初において設定していたが、空間的現象群は**キューブ論**とその**組合せ論**に、生活実態の現象群は**モザイク論**と**伝統論**に、生活意識の現象群は**ベーシック・コミュニケーション論**に要約されよう。これらは人と人、人と自然という根元的な関係の日常的豊かさを保障する条件であり、参加社会のさけばれている今日、サブ・システムとしての居住空間の容態、とくに高密度な居住空間のシステムを考えるうえで必要とされる条件として評価されねばならない。上の各現象群は当初サーベイによって形象的に、感覚的に、数量的にとらえられたが、これらの具体像は当然抽象化されねばならなかった。すなわち感性的なものから概念的なものへ移行し、豊かな現実・現象群を支えるシステムを抽出する作業になった。システムは何らかの意味において整序作用をもつものであり、規制力をもつものである。このような整序作用・規制力をわれわれは一つの「規定」と考えた。現実的な対象からえられた「規定」は当然イデアルなものであり、このイデアルな「規定」(**イデアル・システム**)は、サーベイの認識結果(結論)であると同時に、**イデアル・プラン**の方法論になっている。イデアル・システムはたとえていえば、数学の公式であり、その図面的表現がイデアル・プランである。これらは現実の条件・与件が与えられたときに演算がはじまり、現実的な解となりうるものである。われわれはこの解へのヒントとして「規定」（グリッド規定、ブロック規定、ユニット規定）に多少の説明を加えた、これはあくまでヒントであり、現実の条件はさらに多くあるだろう。つまりモデル・プランの一歩手前である。

■ デザイン・サーベイの意味

デザイン・サーベイはおよそ4つの意味をもっていよう。すなわち**形成論**、**様式論**、**価値論**、**運動論**である。ある環境の形成期、萌芽期に視点をあてて、その成立要因や萌芽的なデザインのあり方、その方向性をサーベイするもの（形成論）、環境の成熟期、安定期にはフイジカル・サイドでも定式化・様式化があらわれ、典型的なパターンが確立し、生活様式等も含めて様式をサーベイするもの(様式論)、様式的環境はやがて他の新しい環境形成のために次第に衰退の方向をたどり、様式的な環境の破壊がすすむと同時に、その様式に内包される要素が新しい環境の中に移植されていく。この過程で様式の再評価がおこなわれ、その価値を抽出するもの（価値論）、そして最後に、以上の認識論的段階は何らかの形態で運動につながるものである。保存の要請、(再)開発手法への応用等を含めて、ひろく環境づくりに対する政策的、構築的な発展系に組み込まれるであろう。これが運動論である。われわれの作業は、あきらかに価値論に属するものであった。先にもふれたように、大きく変動する現代社会、管理社会から参加社会へといわれる現代にあって、ビッグプロジェクトがすすめられる過程で、サブ・システム論からのアプローチ、その重要な一環として近隣居住空間のシステムを考えること、またこれの実現への努力の必要性はますますたかまっている。

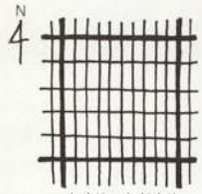
〔謝辞〕
おわりに、このデザイン・サーベイにこころよく協力された夷町町内会の方々、および町家の実測にあたってこれを快諾された所有者・木村幸一郎氏、ならびに実測に便宜をはかられた管理者・小林泰造氏と家族の方々にUDO一同、心から感謝いたします。



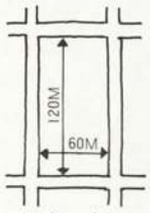


UDO：島村　昇・鈴鹿幸雄・中田雅資・塚本正司・村田光平・城戸健一郎・（日本住宅公団勤務）

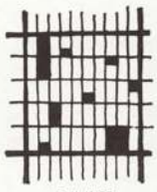
GRID規定



トオリ、大ドオリ



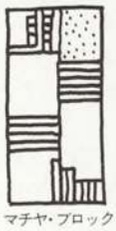
ブロック

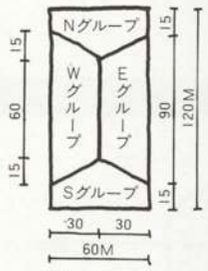

公共施設


通り抜けローヂ、コージ

規定項目	説明
●1Mの基準格子が全体を支配する	●基準格子はマチ全体を支配する寸法モヂュールであり群構成の場合の空間利用の合理性、整合性を実現する
●トオリで格子状ネットが組まれる	●トオリはペデストリアン・ウェイを原則とし、自転車単車までをゆるし、店舗や公共施設へのアプローチになる
●格子状ネットは方位と一致する	
●トオリは幅員6Mである	
●南北方向5スパン、東西方向10スパン程度に大ドオリが通る	●大ドオリはマチレベルのマストランスポーテーション・ネットワークであり、バス、電車、車、地下鉄などのサーキュレーション・システムであり、車のサービスを必要とする公共施設がこれに面する
●トオリとトオリの補間通路としてコージが通る	
●コージは幅員2.5Mか3.0Mである	●コージや通り抜けローヂは、トオリとトオリの補間通路であり、ショートカット、避難路を目的とするが、コンパクトな店舗空間、にぎわいの場にもなる。
●コージとコージの補間通路として、通り抜けローヂが通る	
●通り抜けローヂは幅員1.5Mか2.0Mである	●1ブロックは60M×120M＝7,200M²である。
●トオリ、大ドオリで区切られたブロックは東西方向120M、南北方向60Mの長方形をなす	●2ブロック合体は南北方向2ブロック合体と東西方向2ブロック合体があり、前者は14,760M²、後者は15,120M²である
●ブロックは部分的に、また1ブロックあるいは2ブロック合体利用される場合がある	●大ドオリで区切られる標準的なスーパー・ブロックの面積は約41haである
●2ブロック合体利用の場合トオリは切断されるが、大ドオリは切断されない	●スーパー・ブロックは1つのコミュニテイ・ユニットと考えられる

BLOCK規定

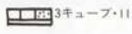
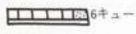

マチヤ・ブロック

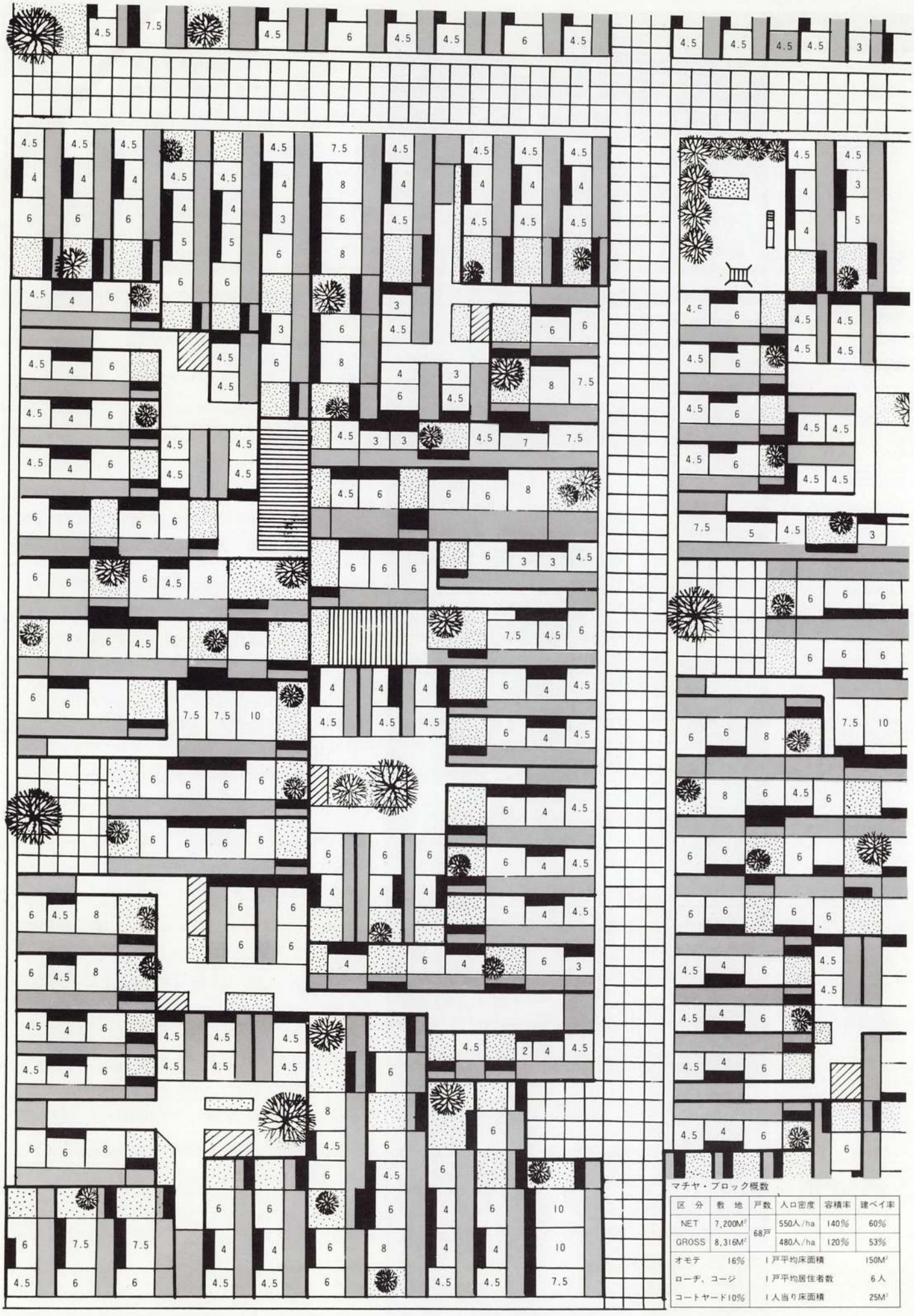


マチヤ・グループ


町内

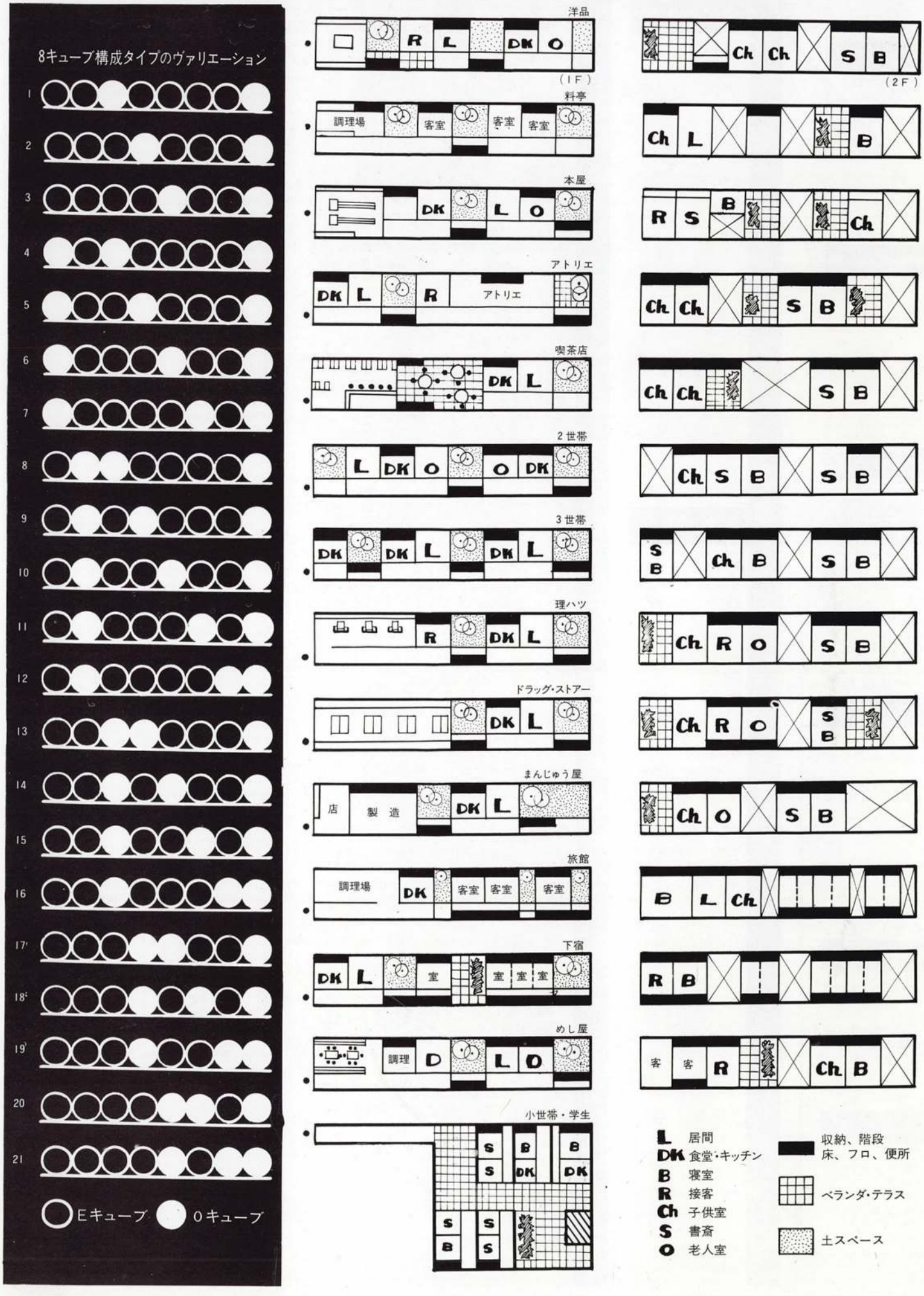
規定項目	説明
●ブロックは公共施設かマチヤ・ユニットによって構成される	●公共施設は部分ブロック、1ブロック、2ブロックを使用し、その他はマチヤは使用される
●マチヤ・ブロックは部分ブロックか1ブロックである	
●マチヤ・ユニットは大半トオリに面するが、引き込みローヂでブロック内部へ組み込まれることがある	●部分ブロックは公園、その他はマチヤといった1ブロックができる
●通り抜けローヂ、コージにマチヤ・ユニットがぶらさがる場合もある	●ブロックの大半はマチヤ・ブロックとして居住スペースに使用され、高密度近隣居住空間が実現する
●大ドオリに面するマチヤ・ユニットはクッション・スペースをとる	●トオリに面するマチヤはトオリに向ってミセを開けトオリににぎわいを与える
●1ブロックはE、W、S、Nグループの4つのマチヤグループによって構成される	
●トオリを挟んで、対面するグループがペアー構成をとり町内を組織する（N・Sグループ町内は2つ連続して1つの町内をつくる場合がある）	●町内は20～40戸程度の近隣単位でこの中に2～3の組をつくり行事（季節ごとのレクリエーション）、情報伝達、相互扶助をおこなう
●Eグループの最大奥行とWグループのそれは等しい（30M）	●標準的なE・Wグループペアーの町内の面積は 5,040M²である
●N・Sグループの中央部最大奥行は30Mである	
●各グループの端部奥行は原則的には15Mである	●トオリとファサードの間は公私のクッション・スペースであり、両者のなじみ合う場である。鉢植、立話し、ミセの延長、日常生活の流出部分である
●トオリに面するマチヤ・ユニットは必ず1Mはセットバックする	
●トオリに面するマチヤ・ユニットを2M以上セットバックしたオモテ・アルコーブを1町内に1ケ所はつくる	●オモテ・アルコーブはポスト、掲示板、植樹、共同花壇、水たまり、子守り、陽なたぼっこ、幼児の遊び場、たまり場等につかわれるスペースである

UNIT規定	規定項目	説明
 ダクト＋キューブ	●マチヤ・ユニットはトオリニワ・ダクトと1列のキューブ連続体からなる	●トオリニワ・ダクトは内外のサーキュレーション、上下水道、電気、ガス等の配管、ウオーターセクション（風呂、便所、洗タクなど）のスペースである
	●ダクトはEダクト、Oダクト、キューブはEキューブOキューブから構成される	●キューブ連続体はオイエとニワであり、Eキューブはヘヤ、Oキューブはニワである
	●Eは上方閉鎖、Oは上方開放とする	●Eキューブは私室、家族室などのマ、連続してオイエとなり行事をおこなったりする
	●トオリニワ・ダクトはマチヤ・ユニットの全奥行を貫通する	●Oキューブは上方(空)との交流を可能にし、風、陽、雨、鳥、虫をとりいれる（センザイ、ナカツボ、ニワサキ）
 2キューブ・7M（奥行）	●トオリニワ・ダクトの間口は1.5M、2.0M、2.5M、3.0Mの4種類とする	●OダクトはOキューブの機能と干物、ベンチレーションなどのサービス系をうけもつ（ロジ、ナカニワ、ウラニワ）
 3キューブ・11M	●Eキューブの間口方向は必ず開口とする	●Eキューブはトリオニワ・ダクトと反対側に幅1Mのアルコーブ状スペースをもち、収納、階段、床などにする
 4キューブ・14or15M	●1つのマチヤ・ユニットを構成するキューブの間口はひとしい	●Eダクトはキッチン、ユーティリティ、階段室、収納、吹抜け部分は採光、換気、物品の上下動につかう
 6キューブ・20M	●キューブの間口は3M、4M、5M、6Mの4種類とする	●2、3、4、6、8キューブ構成タイプは家族構成、職業等に対応する
 8キューブ・29M	●キューブの奥行は2M、3M、4M、5M、6Mの5種類とする（Oキューブのみ1Mの場合を許す）	●間口とキューブ数によって住宅平面の大きさのヴァリエーションをもつ
キューブ構成タイプ	●キューブの高さは一定とする（ダクトはこれに準ずる）	●Oキューブのはいり方によって種々のタイプをつくることができる。たとえば8キューブ構成タイプのユニットの場合は21種類あり、1ユニット2世帯用、3世帯用、各種の職業に適応することができる
ユニットのフロンテージ （ダクト×キューブ） 1.5M / 2.0M / 2.5M / 3.0M 3.0M: 4.5 / 5.0 / 5.5 / 6.0 4.0: 5.5 / 6.0 / 6.5 / 7.0 5.0: 6.5 / 7.0 / 7.5 / 8.0 6.0: 7.5 / 8.0 / 8.5 / 9.0	●マチヤ・ユニットは2、3、4、6、8キューブ構成の5タイプとする	●ローヂ型は引きこまれた静かな環境を生かして学生下宿や老人のすまい、思索を必要とする職種に向く
	●3キューブ構成以上のタイプのマチヤ・ユニットは必ず最奥にOキューブをもつ	●コートヤードは共同のニワであり、共同便所、フロ、物置、植栽スペースをもつ
	●キューブ連続体においてEキューブは5コ以上連続してはならない	●トオリニワ、ダクトやOキューブには側接、背接ユニットとの非常用連絡口をもつ
キューブ平面の大きさ （巾口×奥行） 3M / 4M / 5M / 6M 2M: 6M² / 8M² / 10M² / 12M² 3: 9 / 12 / 15 / 18 4: 12 / 16 / 20 / 24 5: 15 / 20 / 25 / 30 6: 18 / 24 / 30 / 36	●ローヂ、コージによって引きこまれたマチヤ・ユニットは2、3キューブ構成タイプとする（ただし1軒ローヂの場合は4キューブ構成タイプのみとする）	●トオリに面するマチヤ・ユニットは3、4、6、8キューブ構成タイプとする
	●トオリに面するマチヤ・ユニットは3、4、6、8キューブ構成タイプとする	●トオリに面する3、4、6キューブ構成タイプのユニットの背後にはローヂやコージで引き込んだ2、3キューブ構成タイプのユニットや側接ユニットの作業場等が組み込まれ高密利用される
	●2戸以上ぶら下るローヂ、コージは必ずコート・ヤードをもち、2、3キューブ構成タイプのユニットとする	●6、8キューブ構成タイプの前4キューブをのぞくキューブ及びダクトは作業場等につかわれることがある
ユニットの敷地面積 MIN. 31.5M² MAX. 270.0M² （コートヤードをのぞく）	●3、4キューブ構成タイプは1コの、6キューブ構成タイプは2コの、8キューブ構成タイプは2コか3コのOキューブをもつ	●2Fレベルにバルコニー、RFに屋上を設け、陽をできるだけ受けて、草花づくり、日光浴、また外気に接するようにする
	●2キューブ構成タイプのユニット全奥行は7M、3キューブのそれは11M、4キューブのそれは14Mか15M 6キューブのそれは20M、8キューブのそれは29Mとする	●空間の有効利用と、トンネル状結界によって空間の質転換をする
	●ダクトとキューブの間は適宣、連続あるいは遮断される	●トオリに連続的景観を与え、連けい意識に作用する
	●マチヤ・ユニットは2Fを原則とするが、部分的に1F、3Fを使用する（ローヂ、コージ引き込みタイプは1Fを原則とし部分的に2F）	
	●ローヂ、コージ、トオリニワには部分的に2F・Eキューブがのる	
	●トオリに面するローヂ、トオリニワには必ず2F・Eキューブがのる	



マチヤ・ブロック概数

区　分	敷　地	戸数	人口密度	容積率	建ベイ率
NET	7,200M²	68戸	550人/ha	140%	60%
GROSS	8,316M²		480人/ha	120%	53%
オモテ　16%			1戸平均床面積		150M²
ローヂ、コージ			1戸平均居住者数		6人
コートヤード10%			1人当り床面積		25M²


8キューブ構成タイプのヴァリエーション
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
Eキューブ
0キューブ
洋品
R L DK O
(1F)
Ch Ch S B
(2F)
料亭
調理場 客室 客室 客室
Ch L B
本屋
DK L O
R S B Ch
アトリエ
DK L R アトリエ
Ch Ch S B
喫茶店
DK L
Ch Ch S B
2世帯
L DK O O DK
Ch S B S B
3世帯
DK DK L DK L
S B Ch B S B
理ハツ
R DK L
Ch R O S B
ドラッグ・ストアー
DK L
Ch R O S B
まんじゅう屋
店 製造 DK L
Ch O S B
旅館
調理場 DK 客室 客室 客室
B L Ch
下宿
DK L 室 室 室 室
R B
めし屋
調理 D L D
客 客 R Ch B
小世帯・学生
S B B
S DK DK
S S
B S
L 居間
DK 食堂・キッチン
B 寝室
R 接客
Ch 子供室
S 書斎
O 老人室
収納、階段
床、フロ、便所
ベランダ・テラス
土スペース

問題意識

高密居住

高密居住空間
と
コミュニティ
仕事・人・グリーン
コミュニケーション

方法手段

デザイン・サーベイの必要性

開発居住宅空間の
貧困さ
遺産の再評価

方　向

アプローチ

実例検討
高密性
都市性
歴史性
構成原理の明確さ
作業のやり易さ

対象設定

京の町内

中京区夷町
及びその周辺

視　点

ビューポイント

フィジカルなもの－
　－空間構成
リーシャルなもの－
　－生活実態
意識的なもの－
　－生活感情

作　業

サーベイ

ヒアリング
観察・写真写影
スケッチ
資料蒐集
参考史料
実　測

全体像

空間と密度

空間構成
ベース・マップ
オモテ・オープン
スペース　(569M²)
ウチ・エンクローズド
スペース　(4,805M²)
ユカ・ドマ・アキ
格子状フレーム
空間格子
空間ユニット
空間価値
容積率　N 114.4%
　　G 102.2%
低　層　2F
人口密度
　N. 320人／ha
　G. 287人／ha
マチヤ平均SITE
　133.5M²
建ペイ率　64.6%
居住部分平均延床面積
　131.6M²
平均間口　5M
平均最大奥行　30M

生活と濃度

住宅戸数　34戸
総世帯数　38世帯
居住者総人口　159人
（M.75人　F.84人）
家族数　33家族
平均家族員数　5.3人
家族型
核－37%. 欠損－3%
拡大－41%. 単身等9%
有業者人口40人(25%)
職業型
小経営主　10%
自営業　40%
サラリーマン　50%
職業の世襲　26%
専用住宅　47%
併用住宅　53%
居住年限
明治から　27.4%
大正から　12.1%
戦前より　21.1%
戦後から　39.4%
平均居住年限　39年
年令構成
0－　40%
24～　2%
29～　34%
54～　19%
69－84　5%
平均年令　33.6才
所有形態
持家62%. 借家38%
町内会
3つの組、町内会費
回らん板、地蔵盆
リエクリエーション
学校区・夜店
裏長屋

トオリ

構成
グリッド、フレーム
格子状ネットワーク
均質的構成
ブロック

都市機能：
マチヤ群と公共施設
マチと施設
大トオリー基幹脈絡
　ネットワーク
トオリーサブネットワーク
自動車保有率　24%(戸)
一方通行、サーキュレーション

流通機能：
交通系統、
水利系統、
エネルギー
　系統
情報系統、

北から南へ1/150.1/200
下り勾配
町名－領域概念
町角－サイン、結界
位置概念「上ル、下ル」
トオリ座標軸
クロスポイント

景観
連続性、軒庇線
統一性、変化
格子、ファサード、スダレ
アクセント、白い土蔵
塀越しの木、軒下の鉢植
ヒューマンスケール
セットバック軒下
デザインメソッド

オモテ

日常的生活
行為の流出
オモテ：ウチ

ウチのエプロン
町内共用空間
軒下スペース

遊び、陽なたぼっこ、往来、夜のランブル、草花づくり、小動物、ドンドン夕涼み、軒下会議、青年の集い、往来風景、雨やどり、ゴミ処理、物置場、荷解、梱包、衛生掃除、掃除、火の用心、仕事場、買物空間、装置空間

オチョウナイ

仕事、サービス、リビング、
日常生・多面性・多発性・持続性

オモテ・共同的・
多目的空間への生
活行為の顕在化

「目撃・約束・会釈・会話・共催」「隣人の生活像の理解社会的教育の場」「共感・メインテナンス」「基礎的コミュニケーション」「日常的具体像としてのおチョウナイ」

ローヂ

大トオリ
トオリW＝6～7M
コージW＝2～3M
ロージW＝1～2M

通り抜けロージ・
引き込みローヂ・
コージ・ロージの
クラスターマチヤ

1軒ロージ・ロジ的・進路・植栽
長屋ロージ・ローヂウラ・コットヤード
共同便所・炊事場・物置・花壇
ドメスティック・スケール・幼児遊び場

引き込み空間
トンネル
別世界

マチヤブロック

トオリ・ブロック、
イエ集合体
標準マチヤブロック、
60M×120M

方位軸との一致
E·W·S·Nグループ
マチヤユニットの
組合せ

接面関係：
「対面」「隣接」
「側面」「背側接」
「側接」「背接」「背面接」

整合性、稠密性
集合的内部空間
コミュニケーション空間
共存・依存関係

京の町家

歴史：
室町～江戸中期・町人文化の抬頭・
都市経済の上昇、マチづくり
京文化・町家・都市住宅・集住。

タタミ・モデュール・
内法制・京間・
部材の規格・量産化
合理的空間利用

平面・構造・材料・意匠の類似性
統一的景観
高密都市居住空間

マチヤ・ユニット

ユニット性：
2キューブ構成タイプ
　（ローヂ長屋）
4キューブ構成タイプ
6キューブ構成タイプ
8キューブ構成タイプ

純町家風22戸の中

		平均間口	平均奥行
4キューブ	45%	5.3M	14.3M
6キューブ	23%	5.2M	20.4M
8キューブ	32%	7.3M	27.8M

キューブ
Eキューブ（ヘヤ）
Oキューブ（センザイ／ナカツボ／ニワサキ）
ダクト
Eダクト（ゲンカン／トオリニワ／ダイドコ）
Oダクト（ロジ／ナカニワ／ウラニワ）

発展的構成システム
タタミモデュール
ヘヤ・ニワキューブ
トオリニワダクト
マチヤユニット
マチヤグループ
マチヤブロック
マチグリッド

トオリニワ

イエ空間の軸
引き込み空間.
内外の連絡機能.
キューブとの連絡.
立式・腰掛行為
ハキモノスペース.

部分機能：
（ロジ）ゲンカン
（ナカニワ）ハシリモト
ウラニワ・キッチン
サニタリー・サービス
コーティリティ・収納

パーティション
ノレン・サルド・大戸・
クグリド・ツイタテ・
置き戸棚・置き水屋・
流し・井戸・クド

天窓・換気・採光
側窓
電気・ガス・上下水
露出・埋設配管

オイエ

1列のEキューブ連続体
2キューブ連続
3キューブ連続
4キューブ連続

オモテノマ（ミセノマ）
ナカノマ
ダイドコ
オクノマ（ザシキ）
ハナレ

シタ、ニカイ
エンガワ
間仕切、キューブ性
私室、部分機能

キューブ連続
オイエタクト（通風・行事）

座式行為＋腰掛行為

ニワ

Oキューブ　センザイ
　ナカツボ
　ニワサキ
Oダクト　ローヂ、ロジ
　ナカニワ
　ウラニワ

リビング／サービス

自然の受容器
光・雨・風
植物
小動物
虫、土、石、水
オキモン

自生
増殖
既存
記念
観賞
利用
育生

観賞と行為
感覚領域
行為領域

ウチ

引き込み、進路
心理転換
来客と進入度
プライバシイ
安定性、一定の殻

日常会話のウチ：
私・家族・家風
配偶者・家計
家屋・商売
家族に属するもの

ウチ意識　仏ダン：肉親
　床ノマ：文化
日常的　カ　ベ：精神
家族的　天　窓：あこがれ
接　触　ニ　ワ：自然

財産・仕事・居住性の複雑な相関性。
マチヤは平面または立面でとらえられる

実測

マチヤの破カイ・寿命・細工（材料）・寸法・装置（とくに間仕切）・空間感覚
平面・　立面・　断面・

マチ

等質性：
文化の伝達
集成材の論理
モザイク的・時間的
集積としてのマチ文化

ウチとマチの
連続的等質性
オチョウナイの集り
マチのツッカケスペース
領域感

生活行為のネットワーク
コミュニケーション・チャンネルのネットワーク
ハイデンシテイ・コミュニケーション

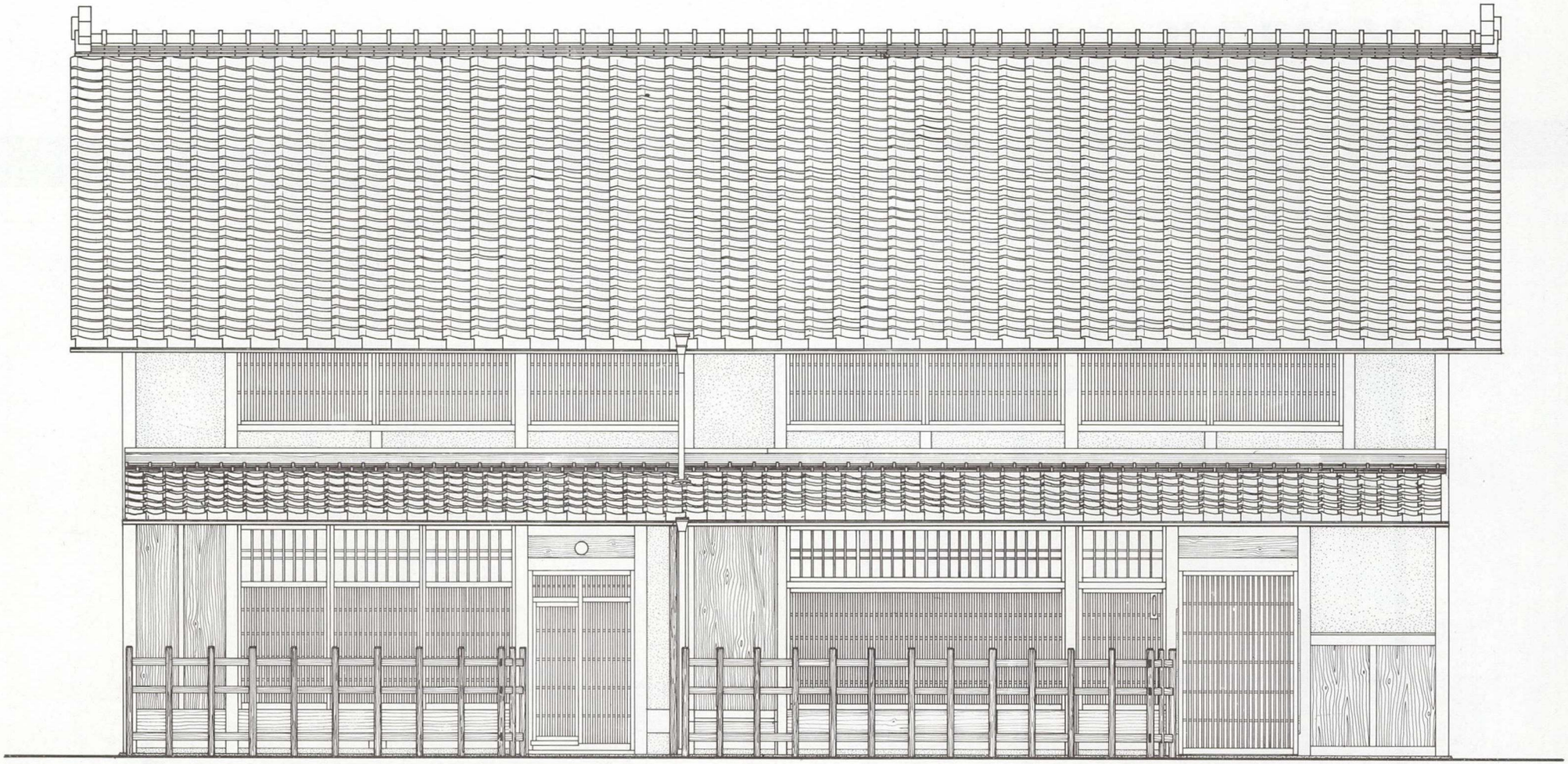
マチナカ・マチヤ＋公共施設
マチ週辺、文化財・自然
変　化　小ビル・セットバック
　ピロティ
　セットサイド

構成：マ・オイエ・イエ・クミ・チョウナイ・ガック・マチナカ・マチ・キョウ・キョウト

論理

イデアル・システム
イデアル・プラン

サブシステムとしての　MACHIYA HOUSING UNIT.
CHONAI-NEIGHBOURHOOD UNIT.　MACHIYAGROUNS-BLOCK UNIT.
GAKKU-COMMUNITY UNIT.　SUPER BLOCK COMMUNITY UNIT.



W-ELEV.



SECT. A-A'

日本万国博跡地開発計画

TEAM BARK

12

TEAM BARK

プランナー　奥保多聞
　　小北博一
デザイナー　植田昌吾
　　清水正俊
リサーチャー　木内俊明
　　中東達男
　　中村守保

第4章　建設プログラム

4－1　EXPO損益決算書

現今、万国博のもたらしたものが、賛否両論、世論の中で、検討されている。それは、2兆2500億円の経済効果の総決算から、EXPO労組の反乱体験記、はたまたある建設部長の今だから話そうまで、枚挙にいとまがない。この間も、梅田地下街でヘルメットをかぶった全共闘スタイルの阪大生から、跡地に関するビラを受けとった。それには、「万国博跡地を公園に」とあった。建築家・都市計画家の一部を除いて、体制側、反体制側が全く異なった推論の結果として、跡地の内容を公園と決定することについては不思議に意見の一致をみている。もう一つの論点、道州制実現については、完全な意見のくいちがいをみているのではあるが…。ただし、それが、全域公園であるのか、公園の中に諸施設が分散しているのか、公園と都市的施設が並存しているのか…。量的な変化は質的な性格を決定するだろう。

マクロにみて、公園が本当に適当であろうか。万国博建設期間中、大屋根リフトアップの最中にスタディを始めた私達は、もう一度、建設の手順を考える前に、各界から出された損益決算書に目を通すことも無意味ではなかろう。

大阪圏の状況はどうであろうか。万国博の直接需要1兆3500億のうち関連公共事業は6500億といわれている。そのうち投資額の90%までが交通網整備といわれている。近畿で新設、あるいは改良された道路網は、高速道路が13路線延べ157キロ、国道などの幹線道路が43路線延べ260キロ、地下鉄は32.25キロ建設し、路線延長は2倍となった。しかし大阪は一層都市の過密化と公害化に悩まされるだろうといわれている。[注①]

一方大阪圏における住宅建設の状況を調べてみると、都市周辺部での地価は高騰を続け、宅地は外周部へと拡散を続けている。住宅公団での調査[注②]によると、昭和38年度600円/m²～700円/m²であった用地取得価格は昭和43年度1500円/m²程度に上昇している。これは昭和30年度住宅地価を100とするとき、その地価指数は昭和38年度542、昭和44年度750に照応している。それは年平均2000haに及ぶ宅地開発を行なっている公団の開発立地条件が年々遠隔化していることに結果となって現われている。昭和30年10km圏内であったのが、35km中心から40km、50km圏に拡がっている。

では、大阪圏の流入人口がどれ位になるか、大阪圏の都市の性格はどうなるか、それは全国総合開発計画を中心に検討しよう。

まず、大阪圏のホワイトカラーの人口は、昭和40年度149万人に対し、2.08倍の311万人に増加するものとみる。

この情報活動の担い手たるホワイトカラーの人口増は、大都市の情報機能の長期にわたる集中的傾向を巨視的にみて方向づけている。それは日本列島の総合開発にとって、情報ネットワークの形成を目標にしている。では大阪圏の市街地人口はどの位になるだろうか。大阪圏昭和35年度790万人、昭和40年度961万人、昭和60年度1530万人と予測されている。昭和40年度に対し、1.6倍の増加である。市街地人口のうちホワイトカラーの割合は昭和40年度16%に対し、昭和60年度は20%に達する。これは、就業構造のホワイトカラー化、情報化の進展にともない、人々の流動性をますます増大させる。これは第一にビジネスセンターの拡大を予想させる。第二に前節の住宅公団の調査より既成市街地の住宅再開発によるが、市街地の外延的スプロールが進む。第三にそれは通勤者のトリップの遠隔化とそれにともなう交通需要の増加をうむ。簡単に考えれば現在の倍の大量交通機関を必要とする。東京とともに情報の集中管理センターとしての大阪圏に属し、日本列島の動脈の中枢に位置を占め、この大阪高層住宅都市に隣接するEXPOは、日本庭園を含む緑地の中に高密度の情報センターとするのが最も適当ではなかろうか。

4－2 組織と計画の流れ

開発計画の規模とおよぼす影響範囲は大きい。また、変化の激しい時代の長期間にわたるプロジェクトの整合性を保つこと、柔軟なフィード・バック性を有すること、強力で集中的体制を取りうる戦略性を持つことを開発計画の組織は必要不可欠とする。それは一元的なプロジェクトチームを事業主体とすべきである。

その組織は事業のフローを考える時、企画調整・調査研究・基本計画の計画期、基本設計・実施設計・建設の建設期、運営・保守管理の管理期の三つに大別されるだろう。そのプロジェクトチーム自体も各フローの相互に新陳代謝を行ない、メンバーの離合集散をくりかえしながらも、首尾一貫した計画と事業、工程管理を行なうべきであろう。

建設の流れ

その建設計画は、開かれた都市として、**附図**にみられるように、計画と建設と運営が、同時期に行なわれるだろう。X軸・Y軸・Z軸の空間軸は、時間軸に置換されうる。X軸がブロックごとの基本時間軸とすると、Y軸・Z軸は、空間量の変化量と代謝する性質を表わしている。シンボルゾーンはEXPO－CITYの原点T_0としてあり、X軸方向にそって左右両翼に向かって、ループ道路・駐車場・デッキを基幹施設としながら建設される。

組織について

本計画は、大阪圏の業務・情報センターとして、地方計画の中に位置するべきものであり、高度利用計画等の行政措置を必要とし、さらに、中央環状鉄道の建設等の公共投資、関連都市との調整を必要とする。さらに、6000万人の体験した世論と住民の生活環境の向上とも密接に関連がある。さらに国土空間の利用計画が上位計画にある時、計画主体としては、公共団体を含む強力なプロジェクトチームを編成しなければならない。

この計画の事業主体は民間企業の資金力と、弾力的、効率的な事業経営と、創造的な技術開発力にまつところが大きい。

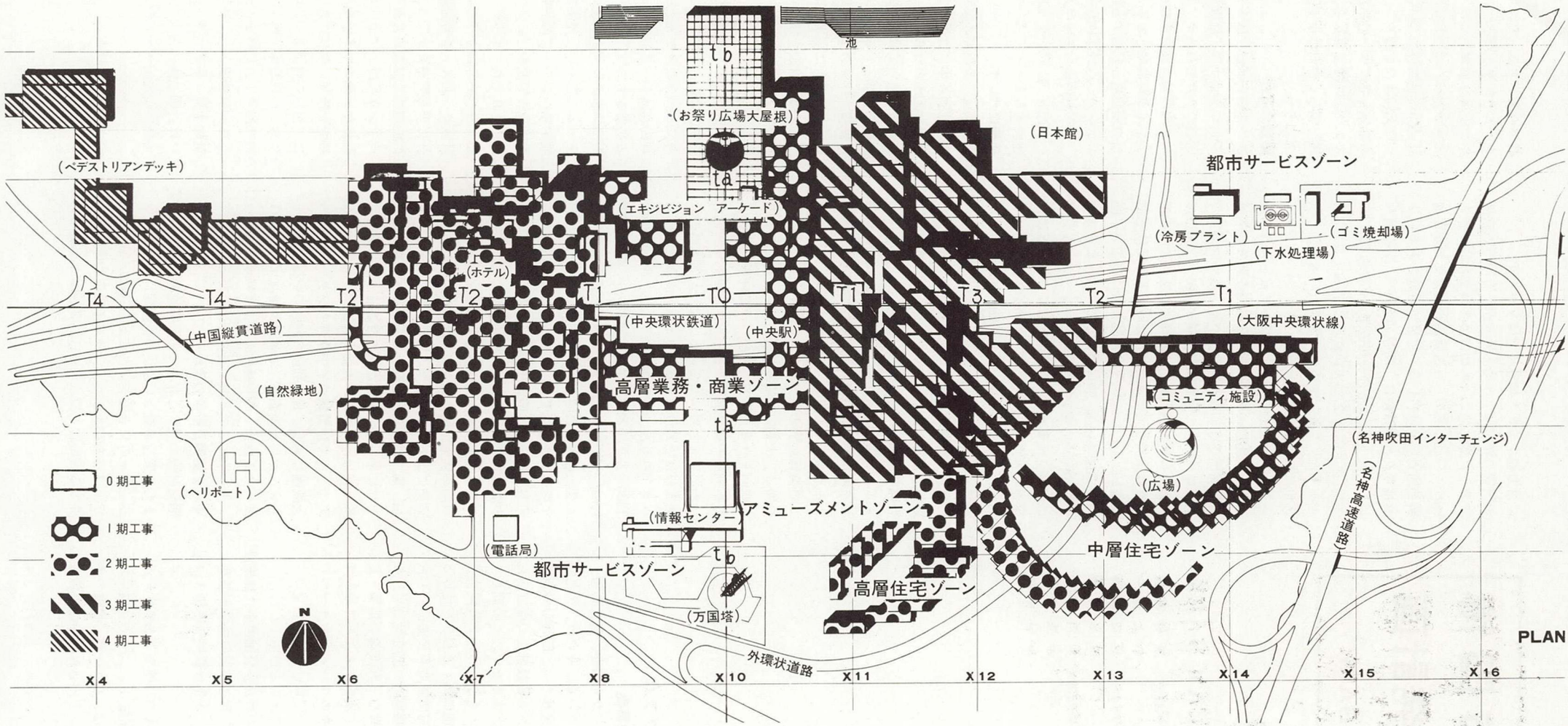
官民合同の一元的プロジェクトチームを編成する必要があろう。

万国博建設期間中にできあがったプロジェクトチームも数多い。建築家・映画監督・音響工学者・展示家のグループの活動も珍しくはない。万国博の建設期間中でいえば、1964年から70年の間に、それぞれ、オーバーラップしながら、計画18カ月、設計18カ月、建設18カ月の間に、基本計画時、30人、基幹施設の基本設計から実施設計に至る間25人から 100人、お祭り広場建物群の監理時に35人の人が、大学・建築事務所・デザイン事務所・アトリエの枠を離れて集まり、柔軟な組織の中で創造活動を行なった。個人の技能と経験の蓄積にのみ支えられた筆法の世界に、複数の対話と、合理的な筋に支えられ、たて割りの建築家・彫刻家のアイデアと、横割りの共同チームの作業がマトリックスをなして、立体的に構成され、機能した。

計画主体・事業主体・運営主体の一体化、あるいは計画主体の調整のもとに、事業主体・運営主体の一元的チーム編成が考えられよう。

注①9月9日朝日新聞
注②本誌昭和45年10月号、西田隆雄「公的ディベロッパーの問題点」

建設段階計画図


池
tb
(お祭り広場大屋根)
ta
(日本館)
(ペデストリアンデッキ)
(エキジビジョン アーケード)
都市サービスゾーン
(冷房プラント)
(ゴミ焼却場)
(下水処理場)
(ホテル)
T4
T4
T2
T2
T1
TO
T1
T3
T2
T1
(中国縦貫道路)
(中央環状鉄道)
(中央駅)
(大阪中央環状線)
高層業務・商業ゾーン
(自然緑地)
(コミュニティ施設)
(名神吹田インターチェンジ)
(広場)
(名神高速道路)
(ヘリポート)
(情報センター)
アミューズメントゾーン
(電話局)
都市サービスゾーン
中層住宅ゾーン
高層住宅ゾーン
(万国塔)
外環状道路
0期工事
1期工事
2期工事
3期工事
4期工事
N
X4
X5
X6
X7
X8
X10
X11
X12
X13
X14
X15
X16
PLAN

日本建築協会 月間の動き

□ 昭和45年10月分 □

理　事　会

22日　4時～5時　於会館集会室
出席者　東畑，塚本，横尾正副会長ほか6名
議事(1)忘年懇親会開催の件
(2)建築6団体新年交礼会開催の件
(3)事務局職員停年延長の件
(4)建築基準法政令第1次案（集団規定）に対する意見書提出の件
(5)定時評議員会の件
(6)入退会者承認の件
(7)報告事項

事　業　委　員　会

見学会小委員会
1日　6時～7時半　於会館3階会議室
出席者　山野副委員長，金子幹事ほか4名
議事(1)9月に実施した見学会についての報告
(2)11月以降の見学会企画について
(3)そのほか

各種説明会小委員会
2日　6時～7時半　於会館3階会議室
出席者　近藤副委員長，三宅幹事ほか2名
議事(1)本年度説明会の具体案について
(2)説明会の開催日について
(3)そのほか

委　員　会
8日　6時～7時半　於会館集会室
出席者　北垣委員長，岡本，大橋，三品，山野副委員長，木原，三宅幹事ほか5名
議事(1)各小員会の事業報告
(2)11～12月の事業企画について
(3)本年度の事業企画について
(4)そのほか

忘年懇親会小委員会
13日　6時～8時　於会館集会室
出席者　大橋副委員長ほか6名
議事(1)忘年懇親会の全体計画について
(2)予算案について
(3)事業内容の分掌について
(4)小委員会の運営について
(5)そのほか

忘年懇親会受付会場分科会
19日　6時～8時　於太閤園
出席者　内野幹事ほか5名
議事(1)受付業務内容について
(2)料理・飲み物・会場配置などについて
(3)そのほか

忘年懇親会進行抽せん分科会
26日　6時～8時　於会館3階会議室
出席者　林野幹事ほか2名
議事(1)抽せん内容について
(2)余興内容について
(3)そのほか

忘年懇親会小委員会
28日　6時～8時　於会館集会室
出席者　大橋副委員長ほか8名
議事(1)各分科会の報告
(2)会費の値上げについて
(3)寄贈品の依頼先について
(4)賛助会費の依頼先について
(5)そのほか

出　版　委　員　会

委　員　会
2日　5時半～7時　於会館集会室
出席者　石崎委員長ほか7名
議事(1)委員長，副委員長，幹事の選出について
(2)各部会の構成員について
(3)前年度よりの企画図書について
(4)本年度の出版企画について
(5)そのほか

建築基礎工法幹事会
21日　6時～8時　於会館集会室
出席者　山肩委員長，山口幹事
議事(1)図書案内について
(2)出版工程について

編　集　委　員　会

1月号特集幹事会
6日　6時～8時　於会館集会室
出席者　田中恒子特別幹事ほか6名
議事　「住宅―60年代の総括と70年代の展望」特集企画

委　員　会
12日　4時～8時　於会館集会室
出席者　鳥田委員長ほか9名
議事(1)11月号＝「第17回青年技術者」特集報告
(2)12月号＝「山陽・山陰からの報告」特集経過報告
(3)1月号＝「住宅―60年代の総括と70年代の展望」特集幹事会報告
(4)2月号＝設備特集号の幹事会の件
(5)シリーズもの
(6)正月号よりの建築の眼，海外写真の新執筆者の件

作品作風小委員会
19日　6時～9時半　於会館集会室
出席者　近藤主査ほか6名
議事　山陽・山陰の新建築の報告および掲載作品の選定

2月号「無公害化」特集編集幹事会
26日　3時～6時　於会館集会室
出席者　田中良太郎特別幹事ほか4名
議事　都市エネルギーと無公害化ビル特集の企画

法規委員会（三会合同）

委　員　会
7日　2時半～5時　於会館集会室
出席者　福田委員長ほか21委員
議事(1)建築基準法政令第1次試案（集団規定）の説明と討議
(2)建蔽率緩和に関する件
(3)建築確認申請書の不適合部分の訂正処理について

委員長会議
12日　正午～2時　於清交クラブ
出席者　福田協会法規委員長
清水士会法規委員長ほか2名
議事　建築基準法政令第1次試案（集団規定）に対する意見書作成について

教　育　委　員　会

工高生デザインコンクール打合会
13日　4時～5時半　於会館集会室
出席者　篠原幹事ほか3名
議事　応募作品の募集規程による検討

工高生デザインコンクール審査会
19日　正午～5時　於会館集会室
出席者　上林委員長ほか8審査員
篠原幹事ほか2名
応募作品の審査

住　宅　委　員　会

幹　事　会
20日　5時半～8時　於会館集会室
出席者　黒谷，野々村副委員長ほか7名
議事(1)住宅委員会の人事について
(2)小委員会の編成について
(3)そのほか

建築データシート編集委員会

委　員　会
30日　6時～8時　於会館集会室
出席者　中原・松村正副委員長ほか7名
議事(1)合本シートの編集作業について
(2)今後の編集委員会運営について
(3)第1回～31回収支概算報告書について
(4)次回編集委員会について

建材委員会

委員会

23日　1時半～5時

於日本建築総合試験所

出席者　堀内委員長ほか10名

議事　耐火試験の見学と質疑応答

見学会

N氏邸並びにO氏邸新築工事見学会

9日　3時～5時

参加者　25名

設計・施工　㈱大林組住宅部

純木家具の大丸木工株式会社寝屋川工場見学会

16日　2時50分～4時半

参加者　31名

妙喜庵並びに水無瀬神宮の茶室見学の会

24日　1時半～4時

参加者　29名

案内者　帝塚山学院大学教授　工学博士　岡田孝男氏

大阪城公園と重文奥田・吉村両家住宅見学会

31日　12時半～5時半

参加者　30名

案内者　近畿大学理工学部建築学科助教授　工学博士　林野全孝氏

講習会

鉄骨構造設計講習会

8日　午前10時～午後5時

於福岡市民会館ホール

聴講者　251名

9日　午前9時半～午後5時

於大分市朝日生命ホール7階大ホール

聴講者　149名

鉄骨構造の考え方

工学博士　鷲尾健三氏（大阪大学）

構造計画　木田幸夫氏（大林組）

構造設計　長田正雄氏(大阪建築事務所)

断面算定　宮川達郎氏（泉設計事務所）

鋼管構造と溶接設計

若林嘉津雄氏（日建設計）

関西都市・住宅会議

テーマ「地価の安定策を探る」

20日　1時～5時　於朝日生命ホール

参加者　200名

パネルディスカッション

講師

住友信託銀行不動産部長　芝川　敦氏

建設省計画局宅地政策課長補佐（司会）　城　宏明氏

朝日新聞大阪本社論説副主幹　浜崎　則雄氏

建設省建築研究所住宅計画研究室長　早川　和男氏

京都大学助教授　三村　浩史氏

共催

大阪建設業協会，大阪市街地再開発促進協議会，大阪住宅建設促進協議会，大阪府建築士会，日本建築協会，日本建築材料協会，日本建築家協会関西支部，日本建築学会近畿支部

建築業務基準委員会

23日　1時半～5時　於日本建築学会

本会より福田委員出席

3会事業委員長打合会

23日　正午～2時

於日本建築学会近畿支部

出席者　矢野士会，上林学会事業委員長ほか4名

議事　1月開催の3会共催見学会その他について打合せ

10月の入会者（敬称略）

〔団体会員　1社〕

パーマストン日本㈱

〔個人会員　31名〕

新居勝彦	加藤顕正	福吉　覚
井上良久	小林辰夫	藤原一秀
井関和生	佐竹次男	古垣隆幸
池田健二	高井健治	前沢好和
石見丈三	伝馬正明	松田尊雄
今西　修	中田光雄	八津川栄造
今元康彦	長尾輝治	安田洋行
岩尾時夫	能瀬雅司	幸　圀夫
上野孝一	野村太郎	吉井征四
植松正英	箱田衛厚	
大貫克彦	橋詰一雄	

〔准会員　59名〕（氏名省略）

昭和45年10月19日

建設省住宅局長　大都留　温　殿

社団法人　日本建築協会

会長　東畑謙三

法規委員長　福田朝生

「建築基準法政令第一次案（集団規定）」について

今般，建設省よりだされました「建築基準法政令第一次試案（集団規定）」について，本会法規委員会で審議しましたところ，この案について下記のような要望と意見がでましたので申しのべます。よろしくお取りはからい下さいますようお願いいたします。

記

1. 全般的に，基準法をも含めて，この政令案についてお願いしたいことは，できるだけ早い時期に建築家ならびに建築技術者向きの図解入りの法令解説書を作成してほしいことであります。また他関係法令との整合をチェックするための早見表的ガイドブックをも作成されることを希望します。
2. 法令内容の単純化をはかるため，細部の基準は法からはずして学会等で定める技術基準（仮称）によるものとされたい。基準の運用から生ずるトラブルの処理については民法その他にゆだねるような考え方を考慮されたい。
3. この法令第一次案（集団規定）各条案に対する意見はつぎのとおりであります。

（面積・高さ等の算定方式）

1　第二条第一項第四号中延べ面積の算入について特定街区についての扱いは如何。

2　1種住専及び高度地区内の塔屋等の高さ制限3mは5mとされたい。

（指定道路に関する基準）

1　「車両の回転に支障がないもの」「自動車専用回転広場」の定義を明確にされたい。

2　道路の幅員の押え方については府県によって必ずしも統一されていない。これについて法の解釈を明らかにされたい。

（北側の隣地等との関係についての建築物の各部分の高さの制限の緩和）

1　「水面線路敷その他これらに類するもの」とは何か。
例えば高速道路，高架線路敷，駅前広場等の取扱いを明確にされたい。

2　地盤面の高低差による緩和では1m以上を省いて当該高低差の½だけの緩和とされたい。

（第1種住専地域内で建築できる兼用住宅）

「地方公共団体の……会館その他これらに類するもののうち，地方公共団体が設置するもの」の中には自治会の建設する会館を含めるべきであろう。

（用途地域等関係）

「増築後の床面積の合計は，基準時におけるその部分の床面積の合計の1.2倍をこえない」とあるのを1.5倍とされたい。

以　上

本意見はつぎの方に送付しました。

建設省　建築指導課長　前川喜寛　殿

同　市街地建築課長　高瀬三郎　殿

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備 設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区芝浜松町2－7　電話(434)6171(大代)
大阪支社　大阪市東淀川区加島町375　電話(302)2271(代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

冷暖房　給排水、衛生水道　電気　厨房
各種サッシ　環境衛生施設　荷役運搬機械　化学鉱山機械

三機工業 株式会社 大阪支店

取締役社長　大前玉男
取締役支店長　樋口勝栄
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪(202)代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山
出張所　横浜、金沢、静岡、高松

電気・空調・給排水・衛生設備・設計施工

大阪電気暖房株式会社

取締役社長　菅谷知巳
本店　大阪市西区江戸堀1－60　電話(441)8231大代
支店　東京・名古屋・福岡
営業所　札幌・仙台・金沢・神戸・広島
出帳所　京都・岡山・高松・熊本・横浜
新潟・富山・福井・豊田

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市都島区都島本通4－10－30　電話(922)6251(代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話(667)3431(大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

給排水・衛生
暖冷房・換気 設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平
大阪市北区高垣町一・電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4945(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸34局 5892

空気調和・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃商会

本社　大阪市北区富田町16番地　電話(363)大代表1371
支店　東京都千代田区神田小川町2丁目1番地　電話(292)代表7751
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話(47)代表4535
福岡市大名1丁目8番12号　電話(76)代表3795
出張所　名古屋・富山・福井・京都・神戸・松江

営業種目 ●空気調和設備 ●給排水衛生設備 ●塗装設備
●蒸気噴射式冷凍機／設計・製作・施工

空気調和のケンザイ 株式会社 建材社

本社・東京支店＝東京都中央区銀座6－6－7　㊡(572)7411代
大阪支店＝大阪市北区中之島2－22　㊡(203)3721代
名古屋支店＝名古屋市中区錦2－2－13　㊡(211)1535代
出張所＝札幌・仙台・豊田・金沢・神戸
広島・松山・福岡・バンコック

須賀工業株式会社

空気調和 衛生設備

大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話 441－5171
支店－東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所－広島　出張所－北九州

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町11番地
電話 大阪(443)5041～5番
東京本社　東京都千代田区大手町2の8番地(日本ビル)
電話 東京(270)7411番(代表)
札幌営業所　札幌市南大通西4丁目1札幌道銀ビル　電話 札幌22)5756
金沢営業所　金沢市高岡町2番16号　電話 金沢21)2074
福井出張所　福井市御幸2の1　電話 福井24)2436
高松出張所　高松市2番丁9　電話 高松㉑)5195
岡山出張所　岡山市大供380の1　電話 岡山24)5486

空気調和　地盤凍結　冷凍冷蔵

精研冷機株式会社

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地
(オートセンタービル2階)　郵便番号542
電話 大阪(06)761(代)1141～8番(直通)
東京営業所　東京都千代田区九段南2丁目2番5号
(九段ビル8階)　郵便番号102
電話 東京(03)262－3241～4番

創業 大正二年
暖冷房・換気・温湿度空気調和 設計
病院諸設備・給排水衛生・水族館設備 施工

株式会社 斎藤省三商店

東京店　東京都千代田区丸の内2の2　丸ビル676号　電話212(代)3751
大阪店　大阪市西区土佐堀通1の1　大同ビル616号　電話443代 3361
札幌店　札幌市北十条西18丁目36番地　電話 61(代)4371
名古屋店　名古屋市中区栄3の5番29号　千代田ビル514号　電話261(代)0641
京都店　京都市南区西九条春日町48番地　電話 681(代)1781

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並二施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30　電話 (361)5177(代) (364)0977(代)
本　社　東京都千代田区丸ノ内3－2(新東京ビル)
電話 (211)8511・8561(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話 (21)4449
名古屋支店　名古屋市東区東門前町3－6
電話 (971)3621

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事 専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話　大阪364代表 0206～9

室谷

内装資材専門店

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　(英和ビル)
直通電話　神戸 (33) 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル5階 502号室)
直通電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5 (電話㉒2923)

OKUYAMA KAKOGYO WATER PROOF OAM

陸屋根防水には 奥山式 特許 絶縁工法 を

カッパー防水帯

コーパータイト

新工法！
プレノテクト吹付工法

8対2の防水(冷工法)　デラタイト

特許　奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

奥山化工業株式會社

本　社　東京都中央区銀座8－4－11　電話(571)2703～4・2370・4064・0264
大阪出張所　大阪市都島区都島中通り2-3-1　電話(921)2497・(922)7280
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　電話(811) 3660・3104
札幌出張所　札幌市北三条東四丁目　電話(231) 7　5　1　1

特許　岩元式ベンチレーター
(電動式並固定型各種)

岩元式ベンチレーター　A型・B型・固定型
岩元式連塔換気装置（コンチニヤス・ベンチレーター）
新型　換気塔 NSライン　（強　制　換　気　扇　付）
新型　換気塔 SFスーパー　(特殊装置による風量増幅 / 換気扇の能力を倍増する)
最新型　採光排気塔(風光)スーパーライン特殊増幅装置付
スカイライト工事・通風ルーパー
スチール及アルミサッシュドアー・各種シャッター製作施工
其の他　曲加工一式



(カタログ進呈)

岩元工業株式会社

大阪市東成区大今里2丁目5番22号
電　話 (981)0615 ～ 0618

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区北同心町1丁目57
電話 (351) (代表) 2808
本社 東京都文京区本郷1丁目12－5
電話 (814) (代表) 5151
支店出張所 名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

㊀ **平山工業株式会社**

衛生・空気調和設備 ・ 設計・施工

TEL (441)㈹ 1994.(443) ㈹0331 大阪市西区江戸堀通2の2

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

髙砂熱学

大阪支店 大阪市北区梅田8番地(新阪急ビル8階)
電話 大阪(312) 4521 (代表)
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和・恒温恒湿・冷凍・冷蔵
給排水衛生 設備 設計施工

不二熱學工業株式會社

本店 大阪市南区順慶町2－50 電話 261－2436㈹
東京支店 東京都大田区西馬込1－2－1 電話 773－1231㈹
営業所 銀座・浜松・京都・神戸・福岡

Carrier
空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工

東洋キヤリア工業株式会社 大阪支店

大阪市北区堂島浜通1－25 (新大ビル)
電話 大阪(344) 1512 (大代)
本社 東京都中央区日本橋本石町4－2 (三井第二別館)
支店東京・名古屋 出張所 九州
工場 埼玉県北足立郡・東京都足立区

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社 大阪市西区京町堀1丁目62 電話(443) 代表8161～9
支店 名古屋市中村区水主町1の12 電話(541)0966(551)1655
出張所 東京都港区赤坂2丁目3～12
赤坂ピークビル5階 電話 (583) 1467
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1 電話 (34) 1778・4386

MODAIR
空気調和設備 設計施工
換気・除塵設備

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区京町堀4丁目 TEL(443) 8071
本社 東京都中央区京橋2丁目9 TEL(562) 1351
支店 名古屋・福岡

空気調和装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪支店 大阪市東区高麗橋5－45 (興銀ビル別館)
電 大阪 代 (202) 7745番
本社・工場 東京都北区神谷3の10の8
電 東京 代 (901) 3191番
空調事業部 東京都港区西麻布4-15-23(第5興和ビル)
電 東京 代 (409) 0151番
支店 名古屋・仙台

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役 市川繁雄

本社 京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪営業所 大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話 (352) 3501～3
四日市営業所 四日市市浜田西末広町 電話㊸7431～3
大津出張所 大津市打出浜13－15 電話 0775 ㉒9738
津営業所 津市栄町2－111 電話⑧3610

Carrier
冷暖房は CARRIER キャリア

東洋キヤリア工業(株)製品販売店・特約工事店

日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所 大阪市西区土佐堀通1－16(石川ビル)
電話大阪 (443) 3661～5

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

㈱西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11 電話大阪(458)3531番
出張所＝京都・福岡

エレベータ・リフト・カーリフト
設計・製作

日本エレベータ工業株式会社

代表取締役 長尾正大

本社 大阪市大淀区天神橋筋六(天六阪急ビル) (351) 4927代
大阪営業所 (351) 4927代 サービス事業所 (328) 0364代
東京営業所 (822) 0995代 工場 (328) 0363代

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

本　社　大阪市北区老松町ノ丁目22
電話大阪(362)8701
東京支社　東京都港区赤坂1丁目5番7号
電話(481)8621代表
支　店　名古屋・札幌・福岡
営業所　旭川・横浜・浜松・姫路・高松

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本博三

本　社　大阪市北区中之島3の3　朝日ビルディング
TEL　代表　(448)1361
営業所　大阪市西区土佐堀通り4の8
TEL　代表　(448)1361
営業所　京都市右京区西京極郡三反田町11の5
TEL　代表　(311)1185

電気工事設計施工

太陽工藤工事株式会社

取締役会長　西村庄市
取締役社長　小林四郎
本　社　大阪市福島区上福島北1－2
TEL(06)452－1151(代)
電力工事本部　大阪市此花区恩貴南之町73
TEL(06)462－1301(代)

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社 大阪支社

支社長　姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪(202)0325～9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番地5号
支　社　札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所　旭川・白河・横浜・静岡・富山

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区高垣町16番地(東阪急ビル)
電話　大阪(313)1101(大代)
支店　東京・名古屋・舞鶴・大阪南・神戸・広島・九州

電気工事 中 設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本　社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪(931)代表7341～5
0388・2193
資材倉庫　大阪市城東区野江東之町三丁目一一　電話大阪(931)7004
奈良営業所　奈良県御所市御国通り360　電話御所(2)2607・4259

電気工事設計施工

株式会社 三興社

代表取締役　林　敏夫

本　社　大阪市北区絹笠町50(堂ビル7階)
電話(361)3671(代)
支　店　東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話(661)1478(代)
出張所　川崎・相模原・堺・福山

各種電気工事設計施工・制御盤製作

野里電気工業株式会社

取締役社長　池内文夫

本　社　大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電話大阪(472)代表1101～7
支　店　東京都品川区西五反田6丁目25番11号(福島ビル)
電話東京(491)1746(492)0182・0350
営業所　北九州市小倉区鋳物師町23番地
電話小倉(56)5665・5818
出張所　群馬・千葉・和歌山・名古屋

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納伝三

本　社　大阪市北区絹笠町五〇(堂ビル三階)
電話(364)1471(代)
支　社　東京都中央区明石町6－23(辻孝ビル)
電話(542)5641
営業所　名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話(991)5131～3
出張所　神戸市・堺市・高槻市・姫路市

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長　田中実

本　社　大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪(541)0564～7・7148～9
営業所　東京・名古屋・広島・福岡

電気工事・計装工事・設計施工

中央電気工業株式会社

取締役会長　今村　騰
取締役社長　立石行男
本　社　大阪市北区梅ケ枝町56番地
電話　大阪　大代表(312)8881
支　店　東京・名古屋・四日市・神戸・和歌山
営業所　松山・京都・草津・静岡・水島・福岡

各種電気工事設計施工

株式会社 ヤマト電気商会

取締役社長　山本永造

本　社　大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(364)代3056
東京支店　東京都港区新橋5－34－6　相馬ビル5階
電話　東京(434)3848・(431)8435
出張所　大阪南・札幌・名古屋・四日市・松山・徳山

奉仕感謝の店

タイル工事施工

特許申請中・完全滑止タイル

SSS（サンエス） タイル 新発売

（カタログ進呈）

株式会社 川岸窯業商店

大阪市西区靱本町２丁目９８　靱本町電停前

電話　大阪（532）０４６１～４番

窓掛、緞帳、日際、壁紙 室内装飾 絨毯、舗床材一般

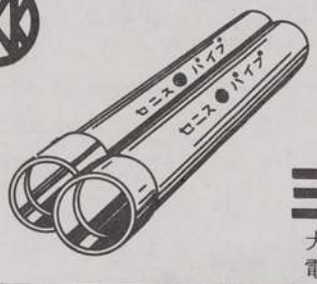
東洋リノリュームの 東リカーペット 発売元

亀井株式會社

大阪市東区南久宝寺町四丁目（心斎橋筋）

電話　大阪（251）1353（代）～ 6・9996

営業所　名古屋・福岡



トラフ・ヒューム管

ベンチレーター・マンホール

株式会社 三幸商會

大阪市北区与力町一ノ一〇

電話　大阪（358）４０３１

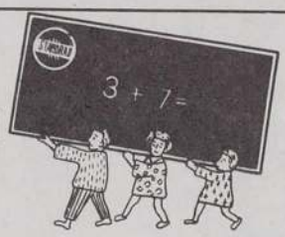
営業品目

● ルネボウ ゴーレックス防水
●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
●樹脂砂壁エバーサンド吹付
●樹脂蛭石エバテックス吹付

合同特許建材工業株式会社

本社営業所・大阪市東住吉区駒川町３－54　電話（702）代7814～6

特約代理店・東京・名古屋・金沢・広島・今治・福岡



Standard Board&Slate

フタバ黒板

大阪市東住吉区桑津町三丁目１０１番地　電話大阪（717）4561～2

KANDAN

●空気調和設備　●給排水衛生設備

●各種送排風機　設計施工

関西煖房工業株式会社

本　社　大阪市住吉区万代東六丁目三番地　電話 大阪（672）大代表1281

出張所　名古屋・広島・福岡　　工　場　和泉・名古屋

特許　内外式　意匠登録

電動ベンチレーター

屋上強制換気装置製作のパイオニア

50年の豊富な経験と技術、研究により

1．最高の換気率　4．価格の低廉

2．スマートな外観　5．直傭工による施工の完璧

3．雨仕舞の完全　6．行届いたアフターサービス

近畿コカコーラボトリング美原工場

NK型口径 900m/m（モートル 3HP）40基

内外建材株式会社

本　社　大阪市西区江戸堀北通1－25（相生ビル）　TEL（441）3983～4・4396

工　場　大阪市城東区天王田町1の141　TEL（962）1149

内外式コンチニアスベンチレーター

筒型ベンチレーター

内外式ガラス屋根

内外式連続採光換気装置

設計施工

製造発売元・責任施工

特許ニッポン防水液
ニッポン防水液B号
ニッポン急結液壱号
ニッポン耐寒剤
ニッポン防水目地材
ビルコート

標準セメント防水剤

国立大阪工業試験所御創案 ○強度増加 ○絶対防水 ○硬化促進
特許 ニッポン セメント防水剤

黒川化学のセメント防水

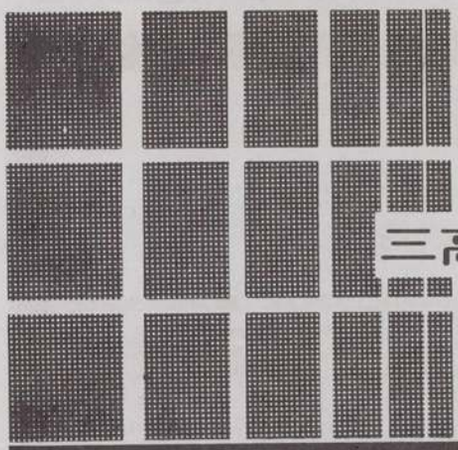
有限会社 黒川化学工業所
本店 工場 神戸市東灘区住吉東町2丁目5−15 TEL(852723

内外

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト（樹脂）
モルタル工事

N.G.C.式
米国パブコ・アスファルトコンパウンド
米国バイヤーライト・アスファルトコンパウンド
} 販売
各種シート防工事 責任施工
新防水材リベットルーフ 責任施工

内外工業株式会社
本社 大阪市阿倍野区旭町1丁目1番地30号 電話(641)3434〜6
(631)0810(夜間)
工場 大阪市東住吉区桑津町3丁目16番地



スチール
アルミ
ステンレス
サッシ・ドアー
カーテンウオール
シヤッター
三高式オペレーター・ドアーハンガー

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所
本社・工場 尼崎市神崎五反田280番地
電話大阪(499) 8151代表

近代建築の要求する

＊特許 小俣式 ステンレス・アルミニウム 防火シャッター

設計
製作
施工

小俣シャッター工業株式会社大阪支店
大阪支店 大阪市北区若松町30 電話大阪(364)9004・9016・4825
本社工場 東京都北区田端町1138 電話東京(893)5211〜5

コーキングパテ

ウヅラ印



柏原瀝青株式会社

本社工場　大阪市西淀川区御幣島東２ノ５　電話大阪(471)1493～4・8267
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西３ノ99　電話大阪(471)　０４２６

パテタイル

全国で好評の……新興の内装壁材を！

新しい時代の新らしい壁
ヒル石基材の燃えぬ壁材



ダイシンコート

（特長）

・塗付　・吹付　・保温　・防音　・耐アルカリ　・耐水　・耐火

革新塗料現る

①ソフトな感覚、優雅な味
②ペイント塗料に優る
③塗りかえ自由
④安価で塗りよい
⑤吹付施工も自由
⑥洗いも下地も自由

繊維塗料の
シンコゾール

全国有名建材店又は当社へ

繊維壁材（通称）わたかべ

耐水、耐アルカリ性時代来る

（特長）
漆喰差支なし
ドロマイドプラスター
セメントモルタル下地
落ちない
塗り良く
塗面が強く
水に強く

・すゝき　・すゞか　・新いすゞ　・四香　・七宝　・錦紋　・王座

●カタログお送りします



（株）新興建材工業所
大阪市西区南堀江通６丁目39番地　TEL 大阪(538)2951～5・(541)5757～9
営業所　東京・高槻・明石・姫路・四国・中国

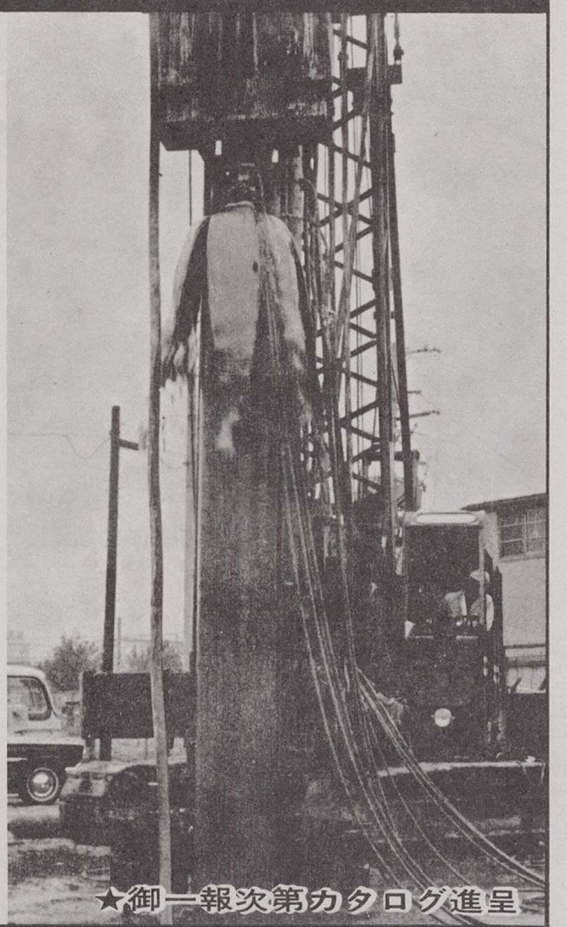
発売元

新興壁材工業（株）
大阪市住吉区粉浜本町４丁目２６番地　TEL 大阪（672）１６６１～３

（株）九州新興建材工業所
福岡市上牟田八田町２６の１　TEL 福岡（41）５２２５～６

タイプ
TAIP工法
にはハンマー不要です
〈完全無音無振動既製杭工法〉

従来の既製杭を利用して杭打施工時の
振動・騒音を完全に追放しました!!



■主な特長

1.ネジ込力を杭押込力に変えるので完全無振動無騒音です。
2.根入長さが長く安定した支持杭が施工出来ます。
3.スライムの沈積はありません。
4.完全に支持層に岩着させるので大きな支持力が期待出来ます。
5.何米でもヤトイ杭で納められ地下室のある建築に最適です。

TAKECHI 株式会社 武智工務所

■本　　社　大阪市東区高麗橋２の20(高麗新ビル)　ＴＥＬ大阪(202)3233(代)
■名古屋支店　名古屋市中区錦１－３－２(殖産ビル)
■福岡支店　福岡市赤坂１－15－33(第二菊陽ビル)
■営業所　東京・静岡・富山・広島・熊本・鹿児島　■工場　大阪・名古屋・鹿児島

特許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料
オリエンタルメタル

燃えない
われない
腐らない

長尺物・色彩自由・責任施工

品種　オリエンタルメタル(O.P.M)
　　オリエンタルスーパーメタル(S.P.M)
　　オリエンタルカラードメタル(C.P.M)
　　カラースーパーオリエンタルメタル(C.S.P.M)

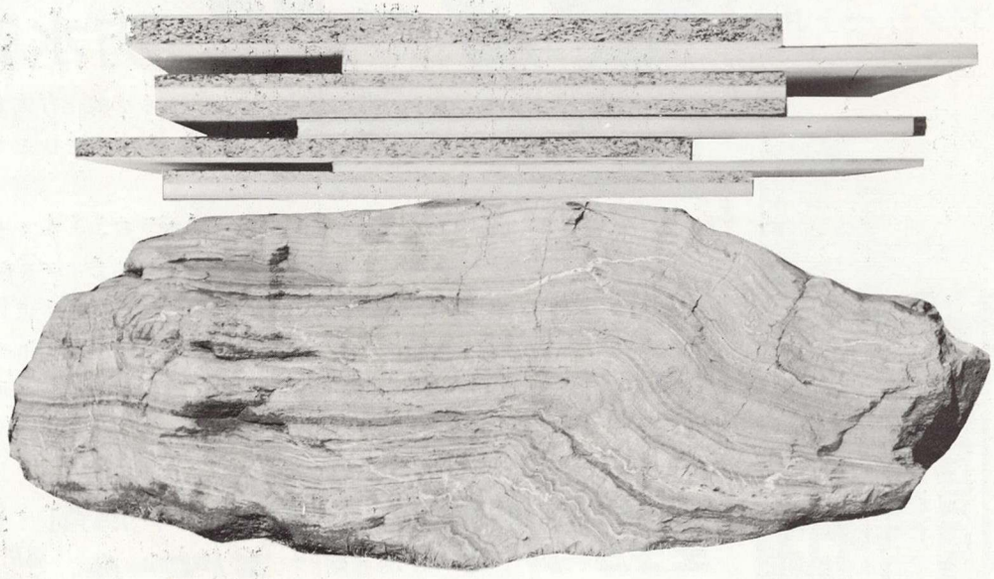
波板規格　S小波　S大波　V波　ボックス波　Wジャンボ波

用途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
　　通風器・排気ダクト・モニター

オリエンタルメタル製造株式会社

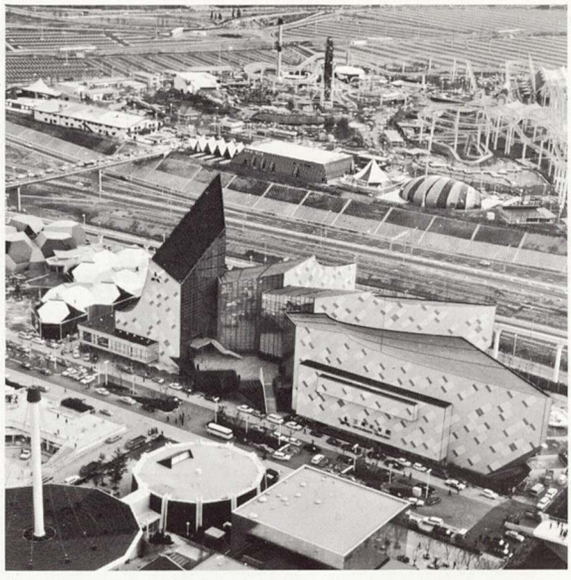
本　　社　兵庫県尼崎市昭和南通り3－26松本ビル　電話　大阪(412) 5131代表
東京支社及工場　埼玉県蕨市塚越５丁目６番３２号　電話　蕨　(42) 3115～８
大阪支社及工場　兵庫県尼崎市長洲稲川新田４４　電話　大阪(488) 1081代表
九州支店及工場　福岡県遠賀郡水巻町頃末　電話　八幡(69) 2831～４
名古屋支店及工場　名古屋市中村区泥江町1の24第2中経ビル　電話　名古屋(581)2781～4

カタログ御請求下さい。



石の上にも30年

一口に30年といっても、サンドイッチパネルについて色々の変遷がありました。どんなに時代が変っても私たちは常に最良の品質をお届けすることを心がけています。
一年一年の実績は石にきざまれた年輪の如く着実に伸長を示しており、各方面から「旭化工板のサンドイッチパネル」とご指定いたゞいております。



万博三菱未来館
（ユニオンボードS型使用）

ユニオンボード ——— 耐火断熱板
●耐火認定60分Wn1021　30分Wn0027・Wn028
●防火構造認定 第55号 第99号

カルトン ——— 軽量断熱板
●実用新案 第731329号

アコニオン ——— 防火吸音大型板

KCパネル ——— 色彩耐火板
●耐火認定（30分Wn0019）

ベニオン ——— 化粧断熱板
●特許申請中

ポーライト ——— 六面プレス高級木毛セメント板
●準不燃材認定 第2031号

カネライトパネル ——— 軽量断熱板

JIS表示許可工場（第1076号）

旭化工板製造株式会社

本社・工場　尼崎市下坂部久々知前235
TEL　大阪(06)491－6781（代）
東京営業所　東京都台東区駒形2－3－5（駒形武蔵野ビル）
倉庫　TEL　東京(03)842－9251（代）
名古屋出張所　名古屋市中区丸ノ内3－18－12（大興ビル）
TEL　名古屋(052)961－5940
福山出張所　福山市松浜町1－1－4（福山不動産ビル）
TEL　福山(0849)23－1491
鈴鹿工場　鈴鹿市三日市町1859
TEL　鈴鹿(05938)8－1165～6

モルタル・コンクリート用

マノール 防水剤



＊マノール防水剤はセメントの加水分解生成物である水酸化石灰と化学的に結合し、硬化機構を妨げることなくセメント粒子に撥水性を与えて毛細管の表面張力を低下させ、吸水性を減少させます。

＊ＡＥ効果により適量の空気を連行し、気孔を閉塞することなくセメント・プラスター及び砂の粒子に対し分散性を与えワーカビリティーを向上させます。また特有な粘着性によって材料分離、レイタンスの発生を防止します。

＊セメントと結合した生成物は永久不変質の物質で、水や空気中の塩類、酸類も作用せず、セメントの中性化を防ぎ、鋼材、木材等の腐蝕・腐朽を防止して構造物の耐久性を高め、その防水・防湿効力は恒久的です。

その他マノール製品

急結剤・接着剤・剥離剤・早強剤・防凍剤

エスコート（セメント起泡剤）・**エアコール**（場所打ち杭工法添加剤）

ご一報次第
カタログ進呈します

セメント混和剤・助材綜合メーカー

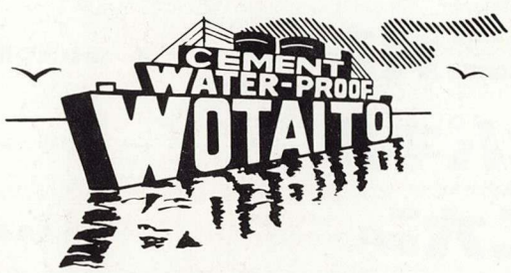
株式会社 油脂化工社

東京都品川区大井１－15－１　☎ 東京 (774) 4111代表

関東営業所	茨城県土浦市大町１２１３	☎ 土浦 (21) ５１８９
東北営業所	福島県福島市下野寺字遠原	☎ 福島 (34) ７１１１
盛岡営業所	岩手県盛岡市南大通３－12－50	☎ 盛岡 (24) ０２１３
大阪営業所	大阪市東成区東中本２－17－26	☎ 大阪 (971) ４７６５

日本建築協会優良証明

セメント硬化促進増強防水剤



ウォータイトB号

合成樹脂系防水剤　スーパーウオータイト

合成ゴム系防水剤（クロロプレン系）　ウオータイトＫ

合成ゴム系防水剤（ポリウレタン系）　ウオータイトＵ

JIS合格品

御一報次第型録並仕様書進呈

ウォータイト式防水工事代行店

安藤工事	ＴＥＬ福　岡（28）5207
川添商店	ＴＥＬ鹿児島（51）0001
大三工業	ＴＥＬ高　松（51）6811
伊東工業	ＴＥＬ徳　島（52）6880
豊永建材	ＴＥＬ広　島（61）6371
東邦防水	ＴＥＬ札　幌（82）3133

株式会社 日本セメント防水剤製造所

大阪事務所	ＴＥＬ大　阪（941）２６２６・２６２８
宝塚市高台	ＴＥＬ宝　塚（86）２　１　５　３
名古屋出張所	ＴＥＬ名古屋（331）１　５　３　１
仙台出張所	ＴＥＬ仙　台（23）０　７　２　１
東京出張所	ＴＥＬ東　京（431）８　６　４　８



全く新しい床タイルです

三星ピサロンは、従来のビニールタイルとは製法原料配合が全く違います。塩ビの他に最近開発された新しい共重合体の特殊樹脂を用いた画期的な新製品です。軟質プレスタイプの床タイルに比べ仕上り安定性がよく、カレンダー方式の流れ模様とは対照的な静止した現代模様。ピサロンの持つエラスチックで高級な質感、すぐれた歩行感は、床タイルの新しい世界を開きました。

協同組合員が責任をもって施工いたします

三星ピサロンは、材料だけの販売はいたしません。責任施工の出来る協組員が入念な仕上げをします。

これからはピサロンの時代です

三星ピサロンの新しい色調、パターンは、現代のインテリアデザインに要求される個性的な床造りには欠かせません。東京浜松町の超高層世界貿易センタービルの４F以上の各階エレベーターホールにも、使用されております。〝三星ピサロン〟はその模様がフランスの画家ピサロのタッチに似ていることから、名付けられたものです。

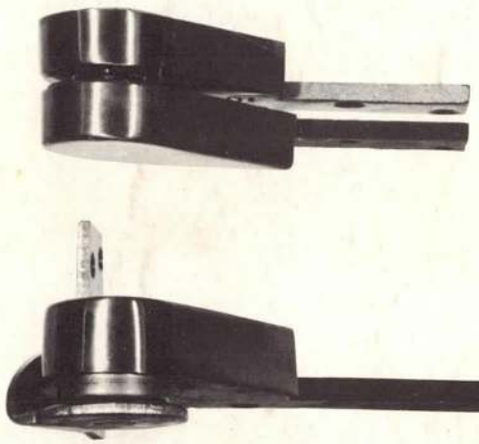
東日本床工事事業協同組合
西日本床工事事業協同組合
〈専用品〉

三星タイル
ピサロン
製造元＝田島応用化工株式会社

★規格＝333.3　×333.3　×２㎜　９枚／m²
　　333.3　×333.3　×３㎜　９枚／m²
★色数＝18色
★価格＝２㎜厚品　1,200円／m²（300m²以上）
　　３㎜厚品　1,800円／m²（300m²以上）
　　小部屋割増・階段40％高

建築と社会 “ARCHITECTURE AND SOCIETY” 第51輯第12号
■昭和45年12月25日発行(毎月1回25日発行)・昭和24年3月19日第3種郵便物認可

サンエイ
●回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久品
立枠付 ピボットヒンジ

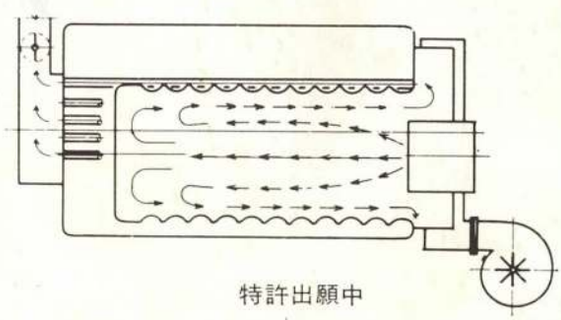


■本品は特に各部品の材料を吟味し、表面が錆びないようボンデライジング加工を施した上に**防錆塗装**をしております。
■焼付塗装仕上製品の他に、他の持出し吊の腕部（吊込後扉から露出する部分）にSUS27(18.8)**ステンレス製ヘアーライン仕上**の化粧カバーを付けてあります。
■回転部分にナイロンベアリング及びスラストベアリングを嵌入してあります。
■別製の設計製作をも歓迎致します。

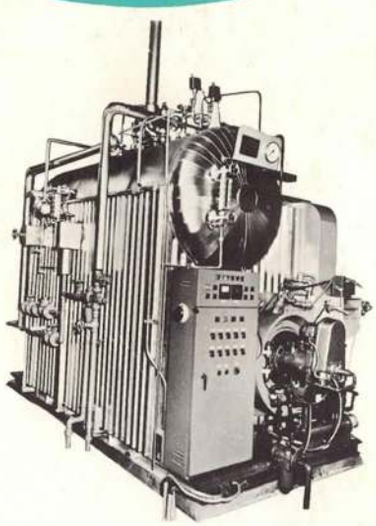
■弊社製立枠付ピボットヒンジは……
実用新案登録第517316号の立枠には何んら低触致しておりません。

三榮建材工業株式会社 555
本社 大阪市生野区巽矢柄町151 ☎(06)751－3653～5／東京出張所 東京都墨田区本所2－11－11 ☎(03)623－7677

わが国初の戻り燃焼方式!!
MPボイラ 800型



特許出願中



特 長
●ボイラ効率90～88％
●すす吹きはワンタッチ
●構造簡単・小形軽量
●スチームアップが早い

〈その他の営業品目〉
用廃水処理装置

株式会社 平川鉄工所
本社・工場 大阪市大淀区大淀町北1丁目11番地 電話(06) 458－8681(代)
東京支店 東京都中央区八重洲6の7城辺橋ビル 電話(03) 272－2721(代)
名古屋営業所 名古屋市中区新栄町1の6中日ビル 電話(052)262－2451(代)
札幌26－8018 福岡76－3146 滋賀工場(07758) 7－1450

WTP水管ボイラ
●25T/Hまでトレーラで輸送できます

■ご入会のお申込は・社団法人 日本建築協会 〒541 大阪市東区北浜3 37 電話大阪(06)231-9648・9649・9640 振替口座大阪39975番

定価 300円(送料共)